

第七十四回帝國議會
衆議院

軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
軍馬資源保護法案(政府提出)
種馬統制法案(政府提出)
競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案
(政府提出)

會議

昭和十四年二月十八日(土曜日)午前十時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤謙之輔君 理事河野 一郎君

理事中野 寅吉君 理事大石 倫治君

飯田 助夫君 森田重次郎君

松尾 三藏君 遠山 房吉君

小串 清一君 泉 國三郎君

小笠原八十美君 池田七郎兵衛君

服部 岩吉君 永田 良吉君

陣 軍吉君 山崎 常吉君

野溝 勝君 富吉 榮二君

三木 武夫君 小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 林 讓治君

農林省畜産局長 岸 良一君

馬政局長官 荷見 安君

馬政局事務官 伊藤莊之助君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍騎兵大佐 栗林 忠道君

農林書記官 中尾桂一郎君

馬政局技師 佐々田伴久君

馬政局事務官 佐々木 登君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍馬資源保護法案(政府提出)

種馬統制法案(政府提出)

競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

○大石委員長代理 委員長遲刻ノ通知ガアリマスカラ、代ツテ開會スルコトニ致シマス——松尾三藏君

○松尾委員 私ガ御尋スルコトニ付キマシテハ、他ノ方ト多少重複シタコトガアルカモ分リマセヌケレドモ、重複シタ所ハ簡單ニ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス、十六日

ノ委員會デアツタト思ヒマスガ、大石サンカラ御尋ニナリマシタ際ニ、現狀ノ通りノ

地方競馬ハ十四年一パイニ終ルト云フ御答辯デアツタト思ヒマスガ、モウ一度御尋致

シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 現在ノ地方競馬ハ鍛鍊馬

競走ノ施行ニ伴ツテ、之ヲ廢止致シタイト

云フ見込ヲ持ツテ居リマス、而シテ地方競

馬ノ廢止ニ關スル軍馬資源保護法ノ第三十

三條ノ規定ハ、昭和十五年ノ一月カラ施行

ノ見込デゴザイマスノデ、地方競馬ノ方ハ

昭和十四年一パイ施行ヲ認メルト云フコト

ニ致シタイト考ヘマス

○松尾委員 今マデ三箇所アリマシタ所ノ

競馬場ニ對シマシテ、無論縣外ニマデモ出

馬ヲ許可サレテ居リマシタノデ、之ヲ一ツ

ノ營業ト云フヤウナ意味カラ、澤山ナ馬ヲ

飼ヒマシテ、ソレニ依ツテ生活シテ居リマ

シタ者ガ、一箇所ト云フヤウナコトニナリ

マス、早速生活ノ不安ヲ來スト云フヤウ

ナコトニナリハセヌカト思ヒマス、此ノ競

馬場ト云フモノガ、鍛鍊馬競走ト云フコト

ニナリマシテ、其ノ競馬場ハ名前ハ變リマ

セヌガ、昭和十五年ノ一月カラ行ハレルモ

ノトスルナラバ、之ヲヤハリ名前ヲ變ヘマ

シテ、今カラ三箇年程延期ヲ致シテ戴クコ

トガ出來マスレバ、其ノ三箇年ノ内ニハ鍛

鍊馬トシテ資格ノナイ馬ハ、大概處分セラ

レルヤウナコトニナリハセヌカト思ヒマス

シ、其ノ間ニハ此ノ法案ノ如ク本年度ニ於

キマシテ種付ケタ馬モ三箇年後ニハ明ケ四

歳ニナリマシテ、鍛鍊馬トシテノ資格ガ出

來ルヤウナコトニモナリマスノデ、ソレヲ

延バスコトガ出來マスレバ、現在ノ馬主モ

大變生活ノ不安ヲ抱カズ非常ニ宜イコトト

思ヒマスシ、政府ニ於キマシテモ、今ノ種付

馬ガ明ケ四歳ニナリマシテ三年後ニハ相當

役ニ立ツヤウニナリマスカラ、雙方トモ宜

イヤウニナリハシナイカト思ヒマスガ、此

ノ點ニ付テ政府ハ御延期ヲシテ戴クヤウナ

御考ヲ御持ニナツテ居リマセウカ、御尋致

シマス

○荷見政府委員 鍛鍊馬競走ハ軍用保護馬

ノ整理サヘ付ケバ出來ルノデアリマシテ、

本年中ニモ急イデ其ノ認定ヲ致シマスレバ

施行ノ出來ルヤウニナルモノガ多イト思ヒ

マス、而シテ現在只今御話ノ地方競馬ニ出

走致シテ居リマスヤウナ馬デモ、資格ノ良

好ナモノハ軍用候補馬トシテ認メラレルヤ

ウニナルコトハ、先般モ申上ゲタ通りデア

リマス、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、ソチ

ヲノ方デ整理ノ付クモノモアルト思ヒマス

ガ、尙ホ優等馬票ヲ發行致サナイ鍛鍊競技ヲ執行スル方ニ付キマシテハ、幾ラカノ賞金ハ出スト云フコトニナリマスカラ、サウ云フ方面デ緩和サレルコトニナリハシナイカト思ヒマス

○松尾委員 サウ致シマス現在ノ馬主ノ生活不安ヲ幾分デモ安定サセテヤリタイト云フコトヲ考ヘマス時ニハ、今縣内ダケデ、他ニ出馬ガ出來ズ、鍛鍊馬トナル資格ノナイヤウナ馬ヲ鍛鍊競走ニ出ス爲ニ一年間飼ツテ居ツテモ、馬ガ多イ爲ニ、結局一年只二回八日間シカ出セナカツタト云フコトニナリマスレバ、尙更生活ノ不安ヲ高メルヤウナコトニナリマスノデ、然ラバ其ノ馬ヲ賣ツテモ宜イデハナイカト云フヤウナオ思召モアルカモ知レマセヌガ、此ノ法案ガ通リマスレバ、サウ云フ鍛鍊馬ニナライヤウナ馬ヲ買フ人モナイト思ヒマスノデ、出來レバ此ノ三箇所ガ許サレナイコトニナリマシテ、一箇所ト云フコトニナツテ、今度ノ法案ニ書イテアリマスヤウニ、四日間トアリマス期間ヲ六日間ニシテ戴クコトガ出來マスレバ、年ニ十二日ダケハ出セルコトニナリマスノデ、使ヘナイ馬ガ使ヘルト云フコトニナルノデ、其ノ點ニ付テ馬主ガ安心スルダラウト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマスカラ、此

ノ八日間ヲ十二日間ニ御改メヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○荷見政府委員 御話ノ點ニ付キマシテハ、現在ノ地方競馬場規則ニ依リマシテモ、縣内ニ四箇月以上使用シタモノナルコトガ條件ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ今ノ規則ノ履行ト云フ點ニ於テ、餘程看過サレテ居ル點デ、御話ノヤウナ結果ヲ生ジテ居ルト思フノデアリマス、只今ノ規則デモ之ヲ履行致シマスレバ、ヤハリ昨日資源課長ノ方カラ申上ゲマシタヤウナ程度ノ條件ヨリハ、相當重イモノニナルト思フノデアリマス、ソレカラ本年一年ハ現在ノ通りノ地方競馬ヲ認メテ行ク譯デゴザイマスカラ、隨テ日數ヲ本年ハ制限致シマセヌノデ、御話ノ通りノ日數ダケ十四年ハ馬ガ走レルコトニナルト思ヒマス

○松尾委員 縣々デ幾分カ事情ガ違フト思ヒマスガ、畜産組合ニ於キマシテハ専任技術員ト云フモノヲ、到ル處置イテ居ルト思ヒマスガ、今回ノ軍馬資源保護法案ニ依リマシテハ、馬事施設費ガ中央會ノ方カラ出ルヤウニ伺ツテ居リマスガ、今マデノ技術員ニ對シマシテハ、専任技術員トシテ畜産組合ニ派遣シテ居ルモノハ、縣ノ聯合會カラ競馬ノ收入ニ依ツテ給料及ビ手當ヲ出シ

テ居ツタノデゴザイマスガ、今回ハサウ云フコトニナリマス、専任技術員ノ給料手當ト云フヤウナモノハ、ヤハリ中央會ノ方カラ出シテ戴ケルヤウナコトニナルノデゴザイマスカ

○荷見政府委員 是マデ地方競馬ノ方ノ専任技術員トナツテ居リマシタモノハ、是ハ大部分ハ今回ノ施設救済ガ出來ルト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ外ニ馬事施設費ノ方モ、是モ地方ノ迷惑ニナルヤウニ急激ニ整理ヲ致シタイトハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ漸次出來得ル限リ困難ヲ少カラシメテ、整理致シタイ、斯ウ云フ風ナ考ヲ以テ色々ナ計畫ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス

○松尾委員 ソレカラ地方競馬ガ各縣三箇所ゴザイマシテ、是モ所ニ依ツテ多少違ツタ所ガアルダラウト思ヒマスガ、他ノ所ヲ知リマセヌノデ、私共ノ縣ノコトヲ一寸御話申上ゲタイト思ヒマスガ、福岡縣ニハ三箇所ゴザイマシテ、競馬ヲ畜産組合ノ方デヤルコトニナツテ居リマシタノヲ、畜産組合ガ直接ヤリマセズニ、其ノ外ノ者ニ下請ヲサセテ居ツタノデアリマス、所ガ其ノ下請ガイカスト云フ農林省ノ達ニ依リマシテ、昭和十一年ニ縣ノ聯合會ガ下請人カラ之ヲ買上ゲマシテ、サウシテ直營トスルコ

トニ致シタノデゴザイマスガ、聯合會トシテ別ニ買上ゲルダケノ金ガアリマセヌノデ、縣ノ消防協會ノ金ヤ、信用組合ノ金ヲ借款致シマシテ、サウシテ其ノ三箇所ノ競馬場ヲ買上ゲテ、今日聯合會ノ直營トシテヤツテ居ル譯デアリマスガ、愈、ソレガ今回ノヤウニ一箇所ニ限定セラレマス、マダ借款致シマシタル金モ支拂ツテ居リマセヌノデ、相當斯ウ云フ借款シテ居ル金ガ殘ルト思ヒマスガ、斯ウ云フ金ニ付キマシテ、政府ノ方カラ御拂替ニデモナルト云フ御意向ガゴザイマスカ、御伺ヒ致シマス

○荷見政府委員 ソレ等ノ整理ニ付キマシテハ、地方競馬整理委員會ヲ設ケマシテ、ソコニ諮問致シマシテ、嚴正公平ナル審議ニ基イテ處置ヲ致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ委員會等ニ於テ決定致サレマスレバ、ソレニ依ツテ整理致スコトニナツテ居リマス

○松尾委員 今御答ニ與リマシタ其ノ整理ト仰シヤルノハ、一般土地トカ建物トカ云フヤウナモノヲ整理致シマシテ、其ノ金額ニ滿タザルモノハ中央會ノ方カラデモ、出シテ戴ケルト云フ意味デアリマセウカ

○荷見政府委員 土地建物等ヲ整理致シマシテ、ソレデモ不足ノヤウナ場合ニハ、相當

考慮スルコトニナルト思ヒマス

○松尾委員 サウシマス此ノ馬事施設費
トカ競馬場ノ廢止ニ關スル整理金トカ云フ
モノノ見積ハ、ドノ位ニナツテ居リマセウ
カ

○荷見政府委員 ソレハ先般御手許ニ差上
ダマシタ資料ニ記載シマシタ程度以外ニハ
マダ分ツテ居リマセヌ

○大石委員長代理 松尾君宜シウゴザイマ
スカ

○松尾委員 宜シウゴザイマス

○大石委員長代理 ソレハ野溝君

○野溝委員 私ハ大體過日ノ本會議ニ於ケ
ル質問ノ内容ニ付テ、少シク質疑ヲ交シタ
イト思フノデアリマス、大體私ガ此ノ委員

會ニ於テ質疑ヲ試ミタイト思ヒマスル要件
ヲ先ヅ申上ゲマス、第一點ハ馬ノ増産ニ件
フ生産飼育者農家ノ生活安定ニ付テデア
リマス、第二點ハ馬政計畫ト牧野ニ付テノ

關係デアリマス、第三點ハ日滿支蒙ヲ貫ク
大陸馬政計畫ニ付テデアリマス、第四點ハ
馬産ノ公布調整ト指導網ノ確立ニ付テデア
リマス、質疑ニ入ル前ニ政府ノ所見ヲ特ニ

質シテ置キタイト思フノデアリマス、言フ
マデモナク馬ハ重要ナル兵器デアリマシテ、
此ノ重要ナル兵器ニ付テ、即チ馬政ハ兵力

ノ増強ト共ニ並行シテ計畫化サレテ行クコ
トハ、論ヲ俟タナイト思フノデアリマス、
併シ馬ハ他ノ兵力トハ違ヒマシテ、即時利
用出來ル兵力トハ異ルト思フノデアリマス、
他ノ兵力ハ機械ニ依ツテ直グソレガ生産サ
レ、應用サレルノデアリマス、即時間ニ合
フ兵力デアリマスガ、馬ハ何ト云ヒマシテ
モ實際ノ兵力トシ、或ハ産業馬トシテ間ニ
合フヤウニナルニハ、四年乃至五年ノ日月
ヲ要スルノデアリマス、故ニ此ノ馬政計畫
ノ遂行ニ當リマシテモ、政府ニ於キマシテ
ハ昭和十四年度カラ向フ七箇年、大體馬ノ
兵力トシテ應用出來ル期間ダケヲ心得テ計
畫サレテアリマス、私ハ此ノ點カラ見マシ
テモ、今回ノ馬政計畫ガ平時戰時同時計畫
ノ上ニ立ツテ、計畫サレタモノト思フノデ
アリマス、デアリマスカラ私ガ是カラ質疑
ヲ試ミルニ當リマシモ、平時戰時兩方面カ
ラノ質疑ヲ試ミルノデアリマスカラ、私ノ
質疑ニ對シマシテモ左様ナ御配慮ノ下ニ、
御回答ヲ願ヒタイト存ズル次第デアリマス
第一點、馬ノ増産ニ件フ生産飼育、農家ノ
生活安定ニ付キマシテ、是ハ同僚各位カラ
特ニ大石君或ハ森田君カラ縷々申サレタノ
デアリマスガ、私ハソレニ重複スル點ハ避
ケマシテ、私ノ主觀的角度カラ二三内容ニ

互ツテ質問シタイト思ヒマス、勿論馬ノ増
産ニ件フ所ノ生産飼育者ノ生活安定ニ付キ
マシテハ、色々ナ事由モ數ヘ上ゲレバアル
ト思フノデアリマス、併シ生産飼育者ノ生
活安定ト云フコトニナル主ナル事由ト致シ
マシテハ、左ノ四點ヲ擧ゲルコトガ出來ル
ノデハナイカト心得ル次第デアリマス、第
一ハ生産費ヲ基準トスル所ノ價格公正化、
第二ハ飼料ノ廉價配給、第三ハ馬匹購入資
金ノ簡易融通、第四ハ牧野開放、此ノ四ツガ
主ニ擧ゲラレルノデハナイカト、私ハ考ヘ
テ居ル者デアリマス、ソコデ先日來問題ニ
ナツタノデアリマスガ、此ノ生産費ヲ基準
トスル價格公正ト云フ點ニ付テハ、決シテ
他ノ物價ガ値上リヲシテ行クノニ對シテ、
此ノ馬ノ價格ヲ引下ゲト云フノデハナイ
ノデアリマス、私ノ馬匹ノ購入價格ヲ下ゲ
ト云フコトハ、有畜農業トノ關聯ト國防
馬政計畫達成ノ見地ニ立ツテノ意見デアリ
マス、ソレハドウ云フ譯カト云フナラバ、今
回ノ馬政計畫ハ七千五百頭カラノ種牡馬計
畫國內保有百萬頭カラノ計畫デアリマシテ、
此ノ計畫ヲ貫徹スルニハ並大抵ナラザル次
第デアリマス、故ニ今マデデサヘモ——明
治三十九年以來三十箇年間ノ第一次計畫、
或ハ中途ニ挫折致シマシタ第二次計畫、兎

ニ角此ノ馬政計畫遂行ノ過程ニ於キマシテ、
吾々ガ政府カラ與ヘラレタ資料ニ依ツテ見
マスルト、決シテ其ノ計畫通り旨ク達成サ
レテ居ラナイノデアリマス、其ノ點ハ後デ
詳細ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス
ガ、左様ナ譯デアリマスカラ、其ノ過去ノ
蹉跌ヲ繰返サナイヤウニヤツテ貫ハナケ
レバナラスト云フ念願カラデアリマス、
ソレニハ馬ヲ多クノ農家ニ飼育サセル、即
チ五百五十九萬戸、約六百萬戸近クノ農家
ノ戸數ガアルニ拘ラズ、馬ノ生産飼育戸數
ト云フモノハ百七萬戸近クノ狀態ニアツタ
ノデハ、國內保有百萬頭ナドト云フコトハ、
恐ラク得テ望ミ得ナイコトデアルト思フ、
デアリマスカラ、サウ云フ點ヲ深ク考慮致
シマス、ドウシテモ全農家戸數五百五十
九萬戸ノ大部分ノ農家ニ、馬ノ飼育ガ普遍
化サレラユウニシナケレバナラスト私ハ要
望スルノデアリマス、ソレニハ今日ノ如ク
三百圓乃至四百圓モスルヤウナ馬ヲ買ヒ得
ル負擔力ハ、到底今日ノ農家ニハナイ、御
承知ノ通り全國ノ農村ノ借金ガ四十二億有
餘萬圓、長野縣ノ如キニ於キマシテハ二億何
千萬圓ト云フヤウナ借金デ、借金ノ親方デ
アリマス、東北方面ニ於キマシテモ御承知
ノ通り農家一戸平均一千圓以上ノ借金ヲ持

ツテ居ルト云フ状態デアリマス、斯クノ如キ貧弱ノ財政關係ニアル百姓ニ對シマシテ、三百圓モ四百圓モスルヤウナ馬ヲ買ヘト言ツテモ、決シテ買ヘマセヌ、政府ハ言ヒマス、今度ハ三十七圓ナニガシノ助成金ヲ出ス、勿論種牡馬ニ對シテハ民有國營デアリマスカラ、政府ガ之ヲ負擔スル、種牡馬ニ對シマシテモソレ相當ニ助成スルト言ツテ居リマスケレドモ、三十圓ヤ三十七圓位ノモノヲ助成サレタノデハ、今日ノ物價指數ノ關係カラ見マシテモ、到底百姓ガ馬ヲ買ツテ、樂々ト飼育シテ行ケルコトニハナラナイ、左様ノ點ヲ十分私ハ認識考慮ヲ致シテ居ルダケニ、今回ノ馬政計畫ヲシテ矛盾ニ陥ラナイヤウニ、間違ヒヲ起サナイヤウニ旨クヤツテ、此ノ重大ナル國防馬政計畫ヲ達成サセタイト云フ觀點ニ立ツテ主張シタノデス、ソレニハドウカシテ馬ヲ安ク農家ニ飼育サセルコトガ出來ナイモノカト云フヤウナ氣持カラ、私ハ馬ニ對シマシテハ餘リ大シタ値上リヲスルコトナク生産費ヲ切下ゲテ、サウシテ安ク一般ノ農家ニ飼育サセテ、此ノ國防計畫ノ完璧ヲ期スルヤウニシタイ、茲ニ私ノ馬價格公正化根據ガアルノデス、以上ノ意味デ過般本會議ニ於テモ質問ヲシタノデアリマシテ、ソレニハ先

ヅ飼育費ノ大部分ヲ占メマス飼料ヲ廉價ニ配給スルト云フコト、牧野ノ開放ヲシテ貰フト云フコト、ソレカラ馬ノ購入資金ニ對シマシテモ、簡易融通スルヤウナ方法ハナイカト云フヤウナ點ヲ力説シタノデアリマス、大體私ノ言ハントスル價格ニ對スル點ノ理由ト云フモノハ以上デアリマス、ソコデ私ハ此ノ點ニ關スル質問ノ結論ヲ申上ゲルノデアリマスガ、以上ノ點デ特ニ畜産經濟ニ離ルベカラザル關係ヲ持ツテ居ルノハ、飼料ノ配給デアリマス、之ニ付キマシテハ、前七十三議會ニ於キマシテモ私ハ質問ヲ發シタ次第デアリマス、此ノ飼料配給統制法ニ對スル質問デアリマスルガ、飼料配給統制法ト云フモノハ、飼料ノ價格ノ公正ト、需給ノ圓滑ヲ期スルト云フコトガ目標デアリマシテ、私ハ雙手ヲ舉ゲテ之ニ大賛成ヲシタノデアリマス、此ノ飼料配給統制法ノ第一條ヲ見マシテモ、「政府ハ飼料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ適當ト認ムル者ニ對シ飼料ノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマス、私ハ右法案ガ最モ時局ニ適應セル法案デア

ル見地カラ、贊成演説ト同時ニ希望ヲ申述ベテ置イタ譯デアリマス、然ルニ折角ノ圓滑ヲ期スベキ所ノ此ノ飼料統制法ガ生レテ以來、益以テ飼料ガ値上リヲシテ來ル、成程一二ノ飼料ニ於キマシテハ、價格ノ公正上抑ヘタノモアリマセウ、或ハ當局ハ言フカモ知レマセヌ、野澤君ハサウ言ハレルケレドモ、併シ若シ此ノ飼料配給統制法ガ生レナカツタナラバ、今日以上ノ暴騰ヲ來シタノデアラウト云フコトヲ言ハレルカモ知レマセヌ、併シ若シサウ仰シヤルトスルナラバ、私ハ尙ホ一層質問ヲシナケレバナラヌノデアリマス、折角ノ統制法ガ生レタニモ拘ラズ、昨日來河野一郎君ノ話デハナイケレドモ、益以テ聽捨ナラスヤウナ、飼料ニ對スル値上リノ噂サヘ傳ヘラレテ居ル、是ハ私甚ダ憂慮スベキコトデアルト思フ、一方ニ於テハ未ダ會テ見ザル革命的立法デアリマス重要馬政計畫ノ法案ガ實施サレントスル際、畜産經濟ニ離ルコトノ出來ナイ飼料ガ、五割カラ六割ノ値上リヲスルト云フコトニ至ツテハ、折角ノ此ノ計畫ガ私ハ水泡ニ歸シハセヌカラ案ズル者デアリマス、私ハ諄ク申上ゲマセヌ、併シ飼料ノ中デモ麴ノ如キハ五割、三種配合飼料ト致シマシテ玉蜀黍七〇、高粱二五、大豆粕五ト云フヤウナ關係ニアル家畜經濟ニ重要ナ三種配

合飼料ニ至ツテハ、六割カラノ暴騰ヲ示シテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、ソレバカリデハナイ、完全飼料ニ於キマシテモ著シク暴騰ヲシテ居ル、是ハ甚ダ憂慮スベキコトデアルト思ヒマス、ソコデ政府當局、特ニ畜産局長カラノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、飼料配給統制法ガ生レテ以來、政府ハ飼料ニ對シマシテ如何ナル努力ヲ拂ハレテ來タカ、又今日如何ナル功績ヲ舉ゲテ居ルカラ御伺ヲシタイノデアリマス

○岸政府委員 只今御尋ノ點ハ、此ノ馬產新計畫ヲ遂行スルヤウナ重大時期ニ、飼料配給統制法ガ實施サレテ居ルニ拘ラズ、飼料ノ値ガ上ツテ來ルノハ甚ダ宜シクナイコトデアル、之ニ對シテ從來ドウ云フコトヲシテ居ツタカト云フ、御質問デアラウト思フノデアリマス、昨年飼料配給統制法ヲ御協賛ヲ願ヒマシテ、四月ノ十六日ニ飼料配給會社ガ成立致シマシタガ、勅令其ノ他ノ關係デ之ヲ法律上指定スルト云フマデニハ、至ラナカツタノデアリマスガ、大體此ノ飼料配給會社ヲシテ其ノ仕事ヲヤラセルト云フ心組デアリマシタノデ、此ノ會社ニ先ヅ第一ニ輸入飼料ヲ全部一手ニ輸入サシテ、サウシテ之ヲ從來ノ保稅工場、是ハ生産者

團體ノ全購聯ノ工場ヲ含ミマスガ、之ヲ含メテ基本的ノ配給ヲスルト云フコトヲヤラセテ來タノデアリマス、是ハ秋勅令ノ公布ト共ニ正式ニ其ノ事業ヲヤラシテ參リマシタガ、サウ云フ風ニ致シマシタ所以ノモノハ、第三國カラ入レル飼料及ビ滿洲國カラ入ツテ來ル飼料ニ付キマシテハ、季節的ニ其ノ數量ニ非常ニ差ガ生ズル、或ハ値段ニ差ガ生ズル、尙ホ第三國其ノ他ノ購入ニ付キマシテモ、之ヲ安ク得ルト云フコトニ付テハ、餘程秘密ニ行動シナケレバナラスト云フノデ、爲替ノ許可ヲ此ノ會社一手ニ許シテ貰ヒマシテ、サウシテ購入ヲ致シテ居ツタノデアリマス、私共ト致シマシテハ、從來ノ實績ニ徴シマシテ、第三國カラノ飼料ノ購入ハ從來ニ比シテ極メテ好成绩、即チ廉價ニ是ガ購入出來テ居ルト考ヘテ居リマス、唯御承知ノヤウニ物資動員ノ關係上、從來第三國カラ輸入シテ居リマシタ所ノ玉蜀黍等ハ、大部分ヲ滿洲國ニ振向ケルト云フ關係デ、第三國カラ入レル數量ガ十分デナカツタト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナカツタコト思フノデアリマス、隨ヒマシテ滿洲國ノ購入ニ付キマシテモ、既ニ出盛期ヲ過ギテ居リマシタケレドモ、最善ノ手配ヲ致シマシテ、サウシテ之ヲ輸入シテ配付

シテ居リマシタ、ソレデ大體ノ計畫ト致シマシテハ、十月マデハ第三國ノ方ノ飼料ノ供給ヲ以テ補ツテ、第三外國ガ出盛期ヲ過ギタ十月以降ハ滿洲國ガ新穀出廻期ニナルノデ、其ノ最盛期ニ滿洲ノモノヲドント入レル——サウシテ從來ノ結果カラ見マス、其ノ時期ニ於テ、安イ飼料ヲ國內ニ澤山入レルト云フ計畫デ進ンデ居ツタノデアリマスガ、ソレガ過日來申上ゲマシタ通り、多少辯解ガマシクナリマスガ、更ニ努力スレバ宜イデヤナイカト云フ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、滿洲ニ於ケル貨車配給ノ關係、或ハ氣候ノ關係デ、割合ニ天候ガ暖ク、サウシテ出荷ガ順調ニ行ツテ居ナカツタト云フ關係デ、出遅レテ居ツタノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ出盛期ニ於ケル配給ガ、十分ニ行カナカツタト云フ點ハ洵ニ残念デアリマスガ、サウ云フ實情ニアツタノデアリマス、併シ之ニ對シマシテハ私共ト致シマシテハ、陸軍關係ノ日本ノ出先官憲及ビ滿洲國ニ於ケル滿鐵會社ヲモ督勵シテ、貨車ヲ非常ナ無理ヲシテ割イテ貰ヒ、マシテ、サウシテ輸送ヲヤツテ貰ツタ結果、此ノ二月以後ニ於テハ相當ノ多數ノ數量ガ、配給出來ルト云フコトニナツテ居ル狀況デアリマス、是ハ今ノ物資輸送ノ關

係カラ、其ノ間ニ於テ飼料ヲ調達スルコトニ苦心ヲシテ居ルノデアリマスガ、是等ノコトモヤハリ斯ウ云フ纏ツテ一手ニ入レ得ルト云フヤウナ機關ガアツタレバこそ、私は是ガ出來タノダト思ツテ居リマス、尙ホ馬ノ方ニ關係ノアルコトニ付キマシテハ、先日坪山委員カラ御質問ガアリマシテ御答致シマシタ通りニ、當時ニ於テハ自然ノ潮流ニ委シテ置クト云フ積リデ居ツタノデアリマスガ、ヤハリ秋以來、國內ノ生産、滿洲國ニ於ケル生産、ソレカラ北支、中支ニ於ケル圓爲替ノ關係デ、需給ハ不圓滑トナリ、市價ハ御話ノヤウニ昔ニ較ベテ五割六割モ暴騰シテ來ルト云フヤウナ狀況デアリマシタノデ、此ノ點モ統制品目ニ入レマシテ、第三外國ノ輸入ヲ此ノ會社ニ取扱ハセテ、比較的安イ値段ヲ以テ入レタモノト、高イモノトノ値段ヲ平衡資金ニ依ツテ埋合ハセ、サウシテ配給スルヤウニ、骨折ツテ居ルノデアリマス、恐ラク最近ニ於ケル所ノ變ノ値段ト云フモノハ、從來ノ値段カラ較ベマスト、六七十錢ハ下ツテ居ルト思ヒマス、ソレハ會社ガ配給シテ居ル値段ガ安イノト、内地ノ製粉業者ノ各位モ、現在ノ飼料暴騰ノ點ニ鑑ミラレマシテ、サウシテ建值ヲ引下グレテ居ルノデアリマス、内

地穀ノ値ノ下リト云フモノハ、外國ヨリ輸入シタモノヨリモ少ナ過ルヤウニ思ヒマスガ、從來六圓四十錢程ノモノガ六圓近クニ下ゲテ、配給スルヤウニナツテ居リマス、斯ウ云フ點ニ付テ各方面モ努力ヲ續ケテ居ルノデアリマス、サリナガラ遺憾ナコトハ、飼料資源全體ヲ通ジテ餘リ十分デナイト云フコトハ、言ヒ得ルト思ヒマス、是ハ色々ナ關係ガアルト思ヒマス、或ハ一部ノモノガ工業原料ニ使フト云フヤウナコトモアルガラウト思ヒマスガ、サウ云フ風ノ關係デ、飼料資源ノ調達或ハ涵養ト云フコトニ付テハ、今後トモ吾々ハ努力シナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ私共ノ方ノ取扱ツテ居ルモノハ、直接馬ノ經濟ノ方ニ參ラヌカモ知レマセヌガ、例ヘテ見マスレバ、現在アリマス所ノ粗飼料資源デアリマシテモ、「エンシレージ」等ノ方法ニ依リマシテ貯藏致シマスルナラバ、其ノ營養價值ヲ高メルトニ依ツテ、濃厚飼料ガ少クテモ家畜ノ飼育ガ出來ル、例ヘバ是等ハ農馬ノ如キニハ利用ガ出來ルノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ他或ハ青刈ノ栽培デアルトカ云フヤウナ方面ニ付キマシテモ、寸尺ノ地積ヲ利用シテ良質ノ粗飼料ノ増産ヲ圖ルト云フコトガ出來マ

スルナラバ、恐ラク濃厚飼料モ節約シテ保ツテ行クコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、以上大様御答シテ次第デアリマス

○野澤委員 率直ニシテ且ツ誠意アル御答辯ヲ得マシテ満足致シマシタ、大體ニ付キマシテモ統制品目ニ加ヘラレルト云フコトヲ言明セラレマシテ、非常ニ心嬉シク感じマス、ソレカラ、工業原料ノ調達ノ爲ニ飼料ノ配給ニ付キマシテ、遺憾ノ點ガアルト云フコトヲ露骨ニ申サレタ、此ノ點ニ對シテモ私ハ満足スル者デアリマス、ソコデ一ツ粟林陸軍馬政課長ニ、關聯シテ質問シテ置キタイノデアリマス、畜産經濟上必要ナ此ノ飼料ニ對シマシテ、畜産局長ガ只今工業原料ノ調達ニ依ツテ、最も困ツテ居ルト云フコトヲ言明サレタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ馬政計畫遂行上支障ヲ來タシハシナイカト思ヒマスガ、此ノ關係ヲドウ調整シヤウトシテ居ラレルカ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 只今野澤サンノ御質問ハ馬政課長ニ御名指デアリマスガ、私カラ一ツ御話シ申上ゲテ置キマス、先程私ガ從來飼料トシテ取扱ハレタモノガ工業原料ニ使ハレ、其ノ結果飼料ノ資源ニ影響ヲ及ボシテ居ルト

云フヤウナコトヲ申上ゲマシタガ、其ノ一例ハ米糠ノヤウナモノデアリマス、是等ノモノハ廣ク馬、牛ニ使ハレテ居ツテ、飼料ノ重要ナ資源デアアルコトハ確カデアリマス、之ニ影響ガアレバ飼育ニ骨ガ折レル、最近實際ニ於テ相當ノ値上リヲ見テ居ルモノデアリマスカラ、其ノ點ノ御注意ヲラウト思ヒマスガ是等ニ對シテハ之ニ代ルベキ所ノ飼料ヲ豊富ニ供給スルヨリ外、方法ガナイダラウト考ヘテ居リマス、飼料ノ點カラ言ツテ、細

カイ點ハ私此處デ申上ゲ兼ねルト思ヒマシガ、是ノ同類ニ屬スル分ノ飼料ト致シマシテハ變ノ如キモノガアリマス、又米糠ヲ工業ニ使ツテモ、其ノ米糠ノ滓ト云フモノガアルノデアリマス、是等ハ彼此派用シテ行クト云フコトニ依ツテ、私ハ補ヒガ付イテ行クト考ヘテ居リマス、先程申上ゲマシタ一部ノ濃厚飼料ノ代用ト致シマシテ、貯藏法ノ改善ヲスルコトニ依リマシテ、其ノ榮養分ノ損失ヲ少ナクスルト云フコトヲ圖ツテ行キマスレバ、粗飼料ヲ以テ飼フ所ノ大家畜ニ於テハ、相當濃厚飼料ノ補給ガ出來得ルト考ヘテ居リマス

○野澤委員 飼料問題ニ付キマシテハ希望ヲ述ベテ、私ハ打切ルコトニ致シマス、御承知ノ通り農家經濟ノ支出部面ノ大部分ヲ

占メルモノハ二八・八％ノ所謂肥料、二三・四％ヲ占メル飼料デ飼料ハ重大部面ヲ占メデ居ルノデアリマス、特ニ此ノ飼料ハ外國カラ輸入スル、外國カラ輸入スルト云ヒマシテモ、主ニ滿洲ナノデアリマス、ソレハ「アイルランド」方面カラ來ル飼料モアリマ

ス、主ニ滿洲デアリマス、滿洲ハ御承知ノ通り「ブロック」ノ經濟關係ニ依リマシテ、特ニ日本内地ハ相當ノ犧牲ヲ拂ツテ居ル立場ニアルノデアリマス、況シテ日本内地ノ農家ノ生産力ヲ萎縮スルヤウニナツテハイカナインデアリマス、特ニ飼料問題ハヤハリ農家ノ生産力ニ關係スル大問題デアリマス、デアリマスカラ當局ニ於カレマシテハ、ソナコトノナイヤウニ一ツ御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス、岸局長ノ誠意アル御答辯ニ信賴致シマシテ、益々飼料統制法所期ノ目的ノ完璧ヲ期スルヤウニ一ツ善處ヲ願ヒタイト思ヒマス、大臣ガ見エタヤウデアリマスカラ——委員長、大臣ハ何時頃マデオ居デニナラレマスカ

○大石委員長代理 午前中デス
○野澤委員 ソレデハ大臣ニ御所見ヲ御伺シテ置クコトニシマス、飛越エマシテ第三點ノ日滿支蒙ヲ貫ク大陸馬政計畫ニ付テデアリマス、大臣ハ本會議ニ於キマシテ、非

常ニ眞面目ナ御答辯ヲ下サイマシタ、特ニ日滿支蒙ヲ貫ク馬政計畫ニ付テノ私ノ質問ニ對シマシテ、斯ウ云フ御答辯ヲサレテ居ルノデアリマス「日滿兩國ヲ通ジテ此ノ計畫ヲ立デマシタ際ニハ、蒙疆及北支ト云フモノノ生産狀態ヲ考慮ノ中ニ入レテ、此ノ計畫ヲ立デテ居ルノデアリマス」ト申サレテ居リマス、併シ「尙ホ多少研究スベキ點ガアリマシタ爲ニ之ヲ除イタノデアリマス、」

ト云フ御答辯ヲ得テ居ル譯デアリマス、大臣ハ農林行政各方面ノ總テヲ御存ジニナツテ居ラレルノデアリマスガ、私達モ農林省ノ管轄デアリマス此ノ馬政計畫ノ審議ニ當ツテ居ルダケデアリマシテ、他ノ方面ハ能ク知リマセスガ、此ノ馬政計畫ノ兩法案ノ審議ニ當ツテ、當局カラ渡サレマシタ資料文獻等ヲ見マスルト、遺憾ナガラ私ノ眼ガ惡イ加減カドウカ知リマセスガ、日滿ダケノ馬政計畫ハ眼ニチヨロ／＼觸レルノデアリマスガ、蒙支ニ關シテハ私ノ肉眼ニハ片鱗ダモ發見シ得ナイノデアリマス、然ルニ大臣ハ本會議ニ於テ、只今ノヤウナ答辯ヲサレテ居ルノデアリマスガ、何カ是ニハ根據ノアルコトト私ハ存ズルノデアリマス、此ノ際大臣ノ答辯サレマシタ内容ノ點ニ付キマシテ、御發表願ヘルナラバ非常ニ質疑

ヲスル上ニ於テ好イ參考ニナルト思ヒマス
カラ、御發表願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今御尋ノ點デアリマス
ガ、蒙疆北支ノ馬政計畫ト内地ノ馬政計畫
トノ聯關ニ付キマシテハ、相當研究モ致シ
テ居ルノデアリマス、唯此ノ計畫ニ斯ク々々
ノ計畫ヲ以テ進ムノデアアル、斯ウ云フコ
トニ付テ明記スルコトヲ致シテ居リマセヌ
ノハ、御承知ノ如ク北支蒙疆ノ點ニ付キマ
シテハ、未ダ總テノ點ニ付テ所謂蒙疆政府、
維新政府、是等ト第三國トノ關係モアリマ
スルシ、又其ノ他種々ナル角度ニ於テ是等
ノ政府ト内地トノ交渉、協定ト云フモノニ
付キマシテ、今日之ヲ明ニスルト云フ事柄
ガ、果シテドウ云フモノデアラウカ、未ダ
之ニ對シマシテ斷案ヲ下シ得ナイノデアリ
マシテ、其ノ計畫等ニ付キマシテ茲ニ申上
ゲルコトノ出來マセヌコトハ、甚ダ遺憾デ
アリマスケレドモ、已ムヲ得ナイコトト考
ヘルノデアリマス、唯北支蒙疆地方ニ於ケ
ル所ノ馬政計畫ニ付テ、内地ノ馬政計畫ト
絕對ニ衝突スルガ如キ事柄ハ致サナイ心組
ニ於テ計畫ヲ立テ、話合ヲ致シタノデアリ
マシテ、要スルニ雙方協力シテ、即チ日滿
支三國ノ經濟提携ヲ如實ニ現ハス、其ノ意
味ニ於キマシテ此ノ馬政計畫ニ於テモ亦三

國間ニ於テ協調ヲ圖ツテ行キタイト、斯様
ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○野澤委員 ドウモ大臣ニハ専門家デナイ
關係デモアリマセウケレドモ、甚ダ答辯ニ
對シマシテハ遺憾ニ感ズルノデアリマス、
勿論國際的ノ關係モアリマセウシ、支那ニ
對シマシテモ、マダ完全ニ統一政權ガ確立
シタ譯デハアリマセヌカラ、或ハ此ノ政府
トノ間ニ於ケル種々ナル計畫ヲ立テルコト
ニ付キマシテモ、確固タル方針ガ確立シ得
ザル困難ノ點モオアリニナルコトハ、吾々
萬々承知モ出來ルノデアリマス、併シ今回
ノ馬政計畫ト云フモノハ、東亞協同體ノ建
設ト云フ大キナ目標ニアルト思フノデアリ
マス、即チ「ソビエト」及ビ第三國ノ對象トシ
タ馬政計畫デアルト思ヒマス、所謂第二「イ
ンターナショナル」ノ勢力ヲ背景トシテ居ル
「ソビエト」、或ハ英米佛等ノ歐米資本主義ノ
支那侵略ニ對スル對策、何レニ致シマシテ
モ、支那ヲ中心トシテ總テハ何事カ起ラン
トスル——支那事變以上ノ事變ガ起ラン
スル前提トシテノ大計畫ト吾々ハ觀テ居ルノ
デアリマス、又大石君ガ言ハレマシタケレ
ドモ、私ハサウアツテ然ルベキモノデアラ
ウト思ヒマス、又サウデナクテハコシナ大
馬政計畫ヲ立テル必要ハナイト思ヒマス、

シテ見マス此ノ東亞協同體、即チ日滿蒙
支ヲ貫ク此ノ東亞協同體ノ建設ノ指導者、
所謂其ノ政治的、經濟的、文化的ノ指導者
トシテ立ツテ行ク日本ガ、日滿蒙支ニ東亞
協同體制ヲ確立セントスル計畫ヲ立テルコ
トハ當然デアリマシテ、其ノ内容ヲ今日話
セナイト云フ譯ハナイト思フノデアリマス、

特ニ私ガ昨年滿洲ノ地ニ視察旅行ニ參ツタ
折ニ、滿鐵會社ノ畜産部ヲ訪レマシテ、蒙古
馬ノ件ニ付キマシテ意見ヲ徵シタノデアリ
マス、其ノ際ニ滿鐵ニ於ケル畜産部ノ責任
アル技師ノ曰ク、ドウシテモ將來滿洲支那
ニ於ケル馬政計畫ヲ立テントスルナラバ、
純血種デアアル蒙古馬ニ「アングロノルマン」
カ、サモナケレバ「ハクニー」ノ如キ半血
種ヲ掛合ハセタモノヲ作ツテ行クノデナク
テハ、將來ノ大陸馬政計畫ノ意義ヲ成サナ
イト云フコトヲ私ニ言ハレタノデアリマス、
私ハ御尤モニ感ジタノデアリマシタ、ソレ
程ハツキリ滿鐵ノ畜産部アタリデ言ウテ居
ルノニ拘ラズ、苟モ此ノ大馬政計畫ヲ立テ
ル時ノ御大デアリマス農林大臣ガ、マダ
蒙疆支那ニ關シテハ、國際的ニモ幾多波紋ヲ
及ボスベキヤウナ傾向ガアルカノ如キ言辭
ヲ弄サレルト云フコトニ對シマシテハ、私
ハ遺憾ニ存ズルノデアリマス、此ノ馬政

計畫ハ東亞協同體建設ノ前提的一環デア
ル、何モ私ハ怖ジケルニ當ラナイト思フノ
デアリマス、ドウカ私ハ一ツ農林大臣ノ
忌憚ナイ御意見ヲ賜リタイト思ヒマス、
尙ホ實ハ此ノ文獻資料ニ、蒙疆支那ニ關係
セル馬政計畫ノ關聯事項ガ一ツモ見受ケラ
レマセヌノデアリマスカラ實ハソレハマダ
纏ツタモノガナイト仰シヤルナラバ、私ハ
結構デゴザイマスカラ質問ヲ打切りマスケ
レドモ、ナイ譯ハナイト思ヒマス、蒙古馬

ダケデモ宜シウゴザイマス、私ハ蒙古馬ノ
關係ニ付テ、モツト知識ヲ得テ置カナケレ
バ、大陸ノ馬政計畫ハ論議ヲ進メル譯ニ行
キマセヌ、ドウカ蒙古馬ダケニ關シテデモ、
大臣デナクテモ結構デアリマスカラ、責任
者ノドナクデモ宜シウゴザイマスカラ、一
ツ御意見ノ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス
○櫻内國務大臣 先刻カラ申上ゲマス通り、
蒙疆北支ニ於ケル大體ノ馬政計畫ト云フモ
ノト見合セテ、今回ノ馬政計畫ヲ立テテ居
ルト云フコトダケハ、前々申上ゲテ居ル通
リデアリマス、今ノ御話ノ專門ノ問題ニ
付キマシテハ、私ヨリハ馬政課長、若クハ
其ノ他ノ政府委員カラ申上ゲタ方ガ適當ト
思ヒマスカラ、政府委員カラ申上ゲマス
○栗林説明員 便宜私カラ陸軍側ノ見地ニ

於テ御説明申上ゲマス、日滿ノ馬政國策ヲ立テラレマシテ、是ガ圓滿ナル遂行ヲ期スル爲ニハ、當然北支及ビ蒙疆ノ馬産ト云フコトヲ、考慮ニ入レナケレバナラナイト云フコトハ明デアリマス、左様致シマシテ此ノ日滿ニ互ル馬政國策ヲ立テマスル際ニ、只今農林大臣閣下ノ御説明ガアリマシタ通り、北支及ビ蒙疆ノ馬産ノ状態ト云フコトヲ、十分考慮ニ入レマシテ、立テラレマシタコトハ申スマデモナイコトデアリマス、併シナガラ實際問題ト致シマシテハ、北支及ビ蒙疆ノ状態ト云フモノハ、軍當局ニ於キマシテモ、マダハツキリ致シテ居ラナイノデアリマス、是ハ折角出先ノ軍ガ、占據地域内ニ於ケル馬産ノ状態ヲ調査ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、今回ノ事變ノ爲ニ著シク馬ガ減ツタト云フヤウナ状態モアリマス、又蒙疆地方ニ於キマシテハ、蒙古人ノ生業ト致シマシテ、蒙古馬ヲ多數飼養致シテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ馬産状態ハ全ク原始的ノモノデアリマシテ、直チニ之ヲ如何ニ改良スルトカ、如何ニ増殖スルトカ云フヤウナ方策スラ立タナイヤウナ原始的ナ状態デアルノデアリマス、デアリマスルノデ、是等ノ根本問題ヲ解決スルノニハ、ソレ等ノ状態ヲ尙ホ一層徹底

的ニ調ベテヤル必要ガアルノデアリマス、所ガマダ治安ノ状態等モ御承知ノ通りデアリマスノデ、是ハ治安ノ回復ニ伴ヒマシテ、又産業ノ開發ニ伴ヒマシテ、漸次此ノ調査ノ歩ヲ進メテ確タル成案ヲ得タル後ニ、日本及ビ滿洲ヲ通ジタ所ノ馬政國策ニ即應スル如ク、現地ニ於キマシテモ、又支那統一政府ニ於キマシテモ、適切ナル馬政計畫ヲ立テラレルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○野溝委員 私ハ日滿蒙支ヲ貫ク大陸ノ馬政計畫ニ付キマシテハ、率直ナ僞ラザル御答辯ヲ聽キマシタカラ、希望ダケ附シテ其ノ點ハ打切ルコトニ致シマス、蒙古ノ馬モ滿洲ノ公主嶺ニ於キマシテ、蒙古馬ヲ中心ニ彼處ノ種畜場デ相當研究ヲサレテ居ルノデアリマス、私ハ其ノ研究發表ヲ見テ、相當將來ハ望ノアルモノト認識ヲ致シテ來マシタ、近イ機會ニ於キマシテ、至急其ノ方モ調査ヲサレマシテ、此ノ蒙古馬ノ血種ト申シマセウカ、此ノ土產種ヲ生カスヤウニ、馬政計畫ヲ樹テラレンコトヲ希望シテ置キマス、續イテ大臣ニ今一點御聽キシタイト思ヒマスガ、大臣ハ昨日同僚諸君ノ牧野問題ニ關スル質問ニ對シマシテ、非常ニ誠意アル御答辯ヲ願ヒマシタ、近イ機會ニ於キ

マシテ何トカ實現サレルモノト云フ風ニ、私ハ受取ツテ居ルノデアリマス、併シ此ノ機會ニ今一應私カラ意見ヲ附シテ、質問ヲシテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通り先程モ申シマシタガ、馬政計畫ヲ樹テラレテ居リマシテ、年々馬ガ減ツテ來ルノデアリマス、其ノ減ツテ來ル理由ヲ政府其ノ他カラノ文獻ニ依ツテ、色々調ベテ見マシタ所ガ、減ル原因ハ牧野ニアリマシタ、農林省カラ御渡シ下サイマシタ昭和十二年度ノ農林省發表ノ統計ダケ、參考ニ申上ゲテ置キマス、公有牧地ハ減ラナイノデアリマス、是ハ政府ガヤツテ居ルカ、サモナケレバ公法人ガヤツテ居リマスカラ是ハ減リマセス、併シ林牧混淆地ガ靚面ニ減ツテ居ルノデアリマス、是ハドウシテ減ルカト申シマス、林牧混淆地ハ、ドウニデモ林業ノ施業案ニ依リマシテ好キ自由ニ出來ルノデアリマス、デスカラ林牧混淆地ハ減ルノデアリマス、統計ヲ見ルト林牧混淆地ノ減ル理由ガ能ク分ルノデアリマス、昭和十二年度ノ農林省ノ發表ト覺エテ居リマスガ、昭和十一年度ノ林牧混淆地ハ二千百「ヘクタール」デアリマシタ、ソレガ昭和十二年ノ林牧混淆地ハ千六百四十「ヘクタール」、一年ニ四百五十「ヘクタール」減ツテ居ルノデア

リマス、此ノ四百五十「ヘクタール」減ルト云フコトハ、實ニ大問題デアリマシテ、是ダケ減ルト云フコトハ、地方ニ於ケル飼育者ハ高い飼料ヲ買ツテ、舍飼ナドスルト云フコトニナルノデアリマシテ、勢ヒ馬ヲ手離サナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、昨日大石君カラモ力説サレマシタケレドモ、ドウカ此ノ混牧林ダケデモ此ノ際一ツ何トカシテ開放シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、特ニ私ハ外國ノ馬産状態ヲ大臣閣下ニ申上ゲテ置キマスガ、亞米利加、「ソビエト」、英吉利或ハ佛蘭西等々ノ馬政ノ状態ヲ見マス、馬ハ減ツテ居ナイ、年々非常ニ殖エテ居ル、最新ノ精巧ナ武器モ出來マシタケレドモ、ソレモ尙且ツ馬ハ段々増産ノ傾向ニアルノデアリマス、ソレハ何處ニ原因ガアルカト云フト、牧野ガ十分保有サレテ居ル、佛蘭西ノ如キニ於キマシテハ牧野面積ガ千百三十九万二千「ヘクタール」、英吉利ノ如キニ於キマシテハ千四百一十一万三千「ヘクタール」、「ソビエト」露西亞ノ如キニ於キマシテハ三億九千七百三十二万四千「ヘクタール」、亞米利加ニ於キマシテハ二億六千四百「ヘクタール」、斯ウ云フ状態デアリマス、馬ノ頭數トノ比率關係ヲ見マス、何レモ日本

アタリハ問題ニナラナイ、例へば佛蘭西ノ馬ノ頭數ハ、ドノ位カト云フト二百八十一万頭、「ソビエト」ガ一千五百四十二万九千頭、英吉利ガ百一十二万二千三百三十六頭、亞米利加ガ一千六百三十三万五千頭、日本ハドウカト云フト、日本ノ牧野面積ハ百七十一万六千「ヘクタール」、馬ノ頭數百四十三万一千九百二十頭、斯ウ云フ狀態デアリマス、此ノ「パーセンテージ」ナド申上ゲマスルト面倒ニナリマスカラ省キマスガ「パーセンテージ」カラ見マス、各國共十分ニ牧野面積ガ保有サレ、確立サレテ居ル、斯カル點カラ見テ日本ノ馬產計畫ト云フモノガ、餘程考ヘ直サナケレバナラヌト思フノデアリマス、特ニ私遺憾ニ思フ點ハ、林牧混淆地ガ年々減ツテ來ルコトデアリマス、一年間ニ四百五十「ヘクタール」モ減ツタノデハ此ノ大馬產計畫ナドハ私ハ見込ハナイト思フ、而モ今度ノ森林法改正ハドウ云フ内容デアルカト云フト農林大臣御承知ノ通りリ私有林ニ對スル完全ナル施業案ノ實施デアリマス、民有國營ノ前提ノヤウナモノデアリマス、サウナツテ來ルト益、以テ林牧混淆地ナドハ益、減リハシナイカト思フ、森林法ノ改正ニ依ツテ是モ施業地ダ、アレモ施業地ダト云フコトニナツテ參リマシタ

ナラバドウナリマスカ、人間トシテ勢ヒ公經濟ヨリ私經濟ノ方ヲ重シズルノハ人情ノ常デス、國防計畫ナドハ是ハ公ノ經濟デアツテ、ドウシテモ私經濟ノ經濟觀念ト觀念ガ違フ、ソレデハイカス、公ケノ經濟觀念ヲ持タナケレバイカヌト言ツテモ、ソコハ人間ノ淺マシサデ、中々ソナナ氣ニハナレナイ、ソコデ之ヲドウシテモヤラナケレバナラスト云フコトデアレバ、強制的ニ權力ヲ以テ、是ハ國防計畫上必要ノコトデアル、是ハ國家百年ノ計ヲ樹テル上ニ於テ必要ノ計畫デアルト云フノデ、ヤラナケレバナラヌコトニナル、ソレヲヤル御信念ガアルナラバ、山林局長モ呼ビ、畜產局長モ呼ビ、馬政局長官モ呼ンデ、サアドウダ、此ノ通り完全ナル一元の統制ヲヤツテ行カナケレバナラス、馬ノ頭數ハ是ダケダ、森林ニ付テハ建築用材、薪炭材トシテ是ダケ要ル、ドノ縣ニ於テハ建築材、薪炭材ガドレダケ出來ル、斯ウ云フヤウニシテ、一切各方面ノ生産、配給ノ關係ヲ十分調べテ、サウシテ其ノ上ニ立ツタ綜合計畫ノ方針ヲ立テナケレバナラヌト思フノデアリマス、大臣ハ同僚ノ質問ニ對シマシテ、セメテ混牧林地ダケデモ何トカシタイト云フヤウナ、意思表示ヲサレタカノ如ク、私ハ聽取ツタノデアリマスガ、

此ノ際私ハ意思表示ヲ具體的ニ御示シ願ヒタイト思フノデアリマス、以上具體的ナ實績、具體的ナ計數ヲ示シタ以上、大臣トシテモ相當考慮ヲシテ貰ヘルコトト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ大臣ノ所見、林牧混淆地ニ對スル所見ダケデ結構デゴザイマスカラ、承ル次第デアリマス

○櫻内國務大臣 只今ノ御質疑ニ對シテハ、タビ／＼本席ニ於テモ申上ゲマシタ通り、ドウシテモ放牧採草地ト云フモノガナケレバ、馬產ノ増殖ヲ圖レナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ極力其ノ方策ヲ講ズル考デアリマスガ、國有林ノ開放其ノ他ニ付キマシテハ、前會以來申上ゲマス通り、此ノ問題ニ付テハ十分ニ研究考慮ヲ致シタイト云フ風ナ考ヲ持ツテ居リマス、今具體的ニ斯ク／＼スルト云フコトヲ申上ゲマスマデニ至ツテ居リマセヌノデ、是ハ申上ゲ兼ねマス、畜產局長、山林局長、馬政局長官其ノ他ヲ綜合シテ、之ニ對シテノ國策ヲ定メルト云フ御意見ハ、是ハ當然ノコトデアリマシテ、私共農林當局ト致シマシテハ、全體のニ見テ、總テノ方面ニ於テ萬違算ナキヲ期シマスト共ニ、此ノ馬政計畫ノ如キ國防上ノ見地カラ申シテモ、産業上ノ見地カラ申シテモ爲サナケレバナラ

ヌ、ドウシテモ實行シテ貫徹シナケレバナラス問題ニ付キマシテハ、徹頭徹尾其ノ目的ヲ貫徹スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○野溝委員 大臣ノ言ヲ信賴シテ、近イ中ニ實行ニ移サレルモノト云フ風ニ取ツテ、差支アリマセヌカ、是ダケ御尋致シマス

○櫻内國務大臣 只今申上ゲマス通り、私ハ誠心誠意其ノ實行ヲ期シタイト思ツテ居リマス、併シナガラ之ニ對シテハ御承知ノ通り、相當ナ研究モ要シ、調査モ要スルノデアリマスカラ、今直チニイツ何日カラ之ヲスルト云フコトダケハ申上ゲ兼ねマス

○大石委員長代理 ソレデハ休憩シテ、午後一時ヨリ開キマス

午後零時四分休憩
午後一時十分開議

○大石委員長代理 午前ニ引續イテ開會致シマス——野溝君

○野溝委員 ソレデハ午前ニ引續キマシテ質問致シマス、四ツニ分ケマシタ質問要項ノ中、日滿蒙支ヲ貫ク大陸馬政計畫ニ付テノ質問ハ終リマシタ、又牧野ト馬政計畫ニ關スル質問モ大體終リマシタ、第一ノ馬ノ増産ニ伴フ生産農家ノ生活安定ニ關シマシテノ質問ノ中、價格構成ノ點ト飼料ノ點ダケ終リマシタノデ、今度ハ其ノ中ノ購入資

金簡易融通ノ點ニ付キマシテ、一言質問シテ見タイト思ヒマス、同僚ノ質問ニ對シマシテ、政府ハ種牡馬ノ點、種牝馬ノ點ニ對シマシテ助成金ヲ交付スルト言ハレテ居ルノデアリマスガ、其ノ助成金ヲ交付スルト云フ内容ヲ見ルト、極ク僅カデアリマシテ、是デハ多クノ農家ガ馬ヲ飼育スルコトガ、困難デハナイカト感じテ居ル點ヲ申上ゲテ置キマシタ、尙ホソレニ敷衍致シマシテ申上ゲ置キタイコトハ、御承知ノ通り馬ヲ飼育スル農家デモ、中農以上ノ方々ハ自分デ馬ヲ購入スル能力ガアルノデアリマスガ、中農以下ノ方々ダト、中々購入シ得ル能力ガナイノデアリマス、特ニ馬ノ値段モ段々上ツテ來マスシ、三百圓、四百圓ト云フヤウナ纏ツタ金ハ、農家ニハ中々ナイノデアリマス、デアリマスカラ、勢ヒ馬ヲ買フ場合ハ牛馬商カラ買フト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ場合三百圓、四百圓ノ纏ツタ金ハ拂ヘマセヌノデ、長野縣ノ如キニ於キマシテハ、春夏秋ノ養蠶ノ上簇期ニ拂フト云フコトニシテ居ルノデアリマス、ソレモ中々思フヤウニ支拂ヘナイデ、其ノ金利ガ嵩マツテ、却テ困ツテ居ルト云フヤウナ實情ニアルノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマシテ、此ノ大馬產計畫ヲ

ヤル上ニ於キマシテモ、農家ガ馬ヲ買ヒ得ル力ガナイト云フコトニナリマス、是ハ慮憂スベキ問題デアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ、政府ノ御意見ハ、助成金ダケニ依ツテ此ノ馬政計畫ヲ遂行ヲ期シ得ルヤウナコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、ソレ以外ニ、例ヘバ産業組合ガ牛ヲ購入スル場合ニ、其ノ資金ヲ融通シテヤルヤウニ、馬ヲ購入スル場合ニ於キマシテモ、政府ニ於キマシテ、其ノ購入資金ヲ簡易ニ融通シテヤルヤウナ御考ハアリマスカドウカラ、御尋シテ置キタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 只今御話ノ馬ノ購入資金ノ融通ニ付キマシテハ、支那事變發生以來ノ徵發馬補充ノ爲ノ購入等ニ付テハ、關係農業團體等デ融通ヲ致シテ參ツタコトモアリマス、尙ホ畜産組合、産業組合等ヲ通ジマシテ、政府ノ低利資金モ若干ダケハ從來モ融通サレテ居ルノデアリマシテ、今後モ必要ニ應ジテ是ガ融通サレルコトト思ヒマス、尙ホ産業組合中央金庫ニ於キマシテモ、馬ノ資金ヲ融通シテ見タラドウダト云フ御話ガアリマシテ、近ク數日前モ中央金庫ニ於テ關係者ガ集リマシテ、其ノ範圍方法等ニ付テ打合ヲ致シテ居ルノデアリマス、私共ト致シマシテモ御話ノヤウニ、飼育者ノ方

ノ便宜ヲ餘程考慮致シマシテ、出來ル限り其ノ便宜ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○野澤委員 私等ノ痛切ニ感じテ居ル點ニ付キマシテ、只今政府當局ノ御答辯デハ、善處ヲサレテ居ルコトヲ聽イテ、洵ニ嬉シク感ズル者デアリマス、併シ唯單ニ善處スルト云フダケデナクテ、ドウシテモ私ハ牛ヲ購入スル資金ヲ産業組合デ融通スルヤウニ、此ノ際ソレヲ實行ニ移シテ戴クヤウニシテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、御承知ノ通り唯單ニ是ハ國防馬政計畫ト云フコトデナクテ、産業馬政計畫ヲ兼備シテ居ルノデアリマシテ、生産力擴充、特ニ農村ニ於ケル農産物ノ生産力擴充ト云フコトニ付キマシテハ、勞力ガ不足デアリマシテ、畜力利用ニ依ツテ生産力ヲ擴充スルト云フコトガ、過小農制ノ我國ニ取ツテハ最モ必要ナコトデアリマス、左様ナ譯デアリマシテ、特ニ過小農制ノ耕作農民ニ必要ナ馬匹ト云フノガ、今回ノ中半血種デアリマス、「アングロノルマン」種デアル此ノ中半血種デアリマス、今回ノ馬政計畫ハ、此ノ點デハ能ク考ヘテ立案シテ下サツタモノト思ツテ、私ハ感謝シテ居ル次第デアリマスケレドモ、感謝シテ居ルダケデ、ソレガ實行ニ移サレル場合ニ、是ガ本當ニ飼育者

ノ安心ヲスルヤウナコトニナラナイト、感謝ガ却テ逆ニナルヤウナ事ニナルノデアリマシテ、馬政局長官ハ御存知カドウカ知レマセヌガ、私ハ馬ノ飼育者ニ付キマシテモ、色々悲慘ノ事實ガアルノデアリマス、東北方面ハ私ハ學生時代ニ於テ能ク内容ヲ知ツテ居ルノデアリマス、卑近ナ例ヲ申上ゲマスレバ、長野縣木曾地方ハ馬小作ト申シマシテ、妊娠シテ居ル馬ヲ預カルノデアリマス、サウシテ仔馬ガ生レルト七割ハ馬主、所謂馬地主ニ持ツテ行カレ、アトノ三割ノ餘リ扶持ヲ頂戴スルト云フノガ馬小作デアリマス、サウ云フ狀態デアリマシテ、其ノ馬小作ハ馬ニ子供ヲ生マセテ、ソレヲ驪市場ニ出スマデニハ、中々容易ナラヌ費用ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、サウシマスト馬地主ノ方ハ餘程好イ利潤ニナルノデアリマスガ、馬小作ノ方ハ算盤ヲ彈イテ見ルト、手ニ付クノハ何モナイト云フコトニナル、ソレモ昔ノ如ク混牧林地ガ相當ニ開放サレテ居ル時代、田圃ノ畔ナドニ於テモ自由ニ馬ヲ飼育出來テ居ル當時ハ、ソレデモ宜カツタノデスガ、段々畦畔爭ヒマデモヤカマシク叫バレルヤウニナツテ來タ今日ニ於キマシテハ、馬小作ハ中々引合ハナイ、最近ニ於キマシテハ馬小作ノ人々ハ、馬地主カラ頼

マレモイヤダト云フコトニナツテ來テ居ル事情デアリマス、コンナコトニナルト結局先程カラ申シマシタ通り、馬ノ増産計畫モ暗礁ニ乗上グルコトニナルデアリマス、馬政局長官カラ先程善處サレルト云フ御言葉ハ頂戴シタノデアリマスガ、ドウシテモ此ノ際資金ノ融通ニ付キマシテハ、十分考慮シテ戴キタイノデアリマス、何モ借り放シト云フ譯デアリマセス、ソレヲ借りテ償還スルノデアリマス、其ノ償還ハ長期デアルガ、特ニ擔保物件ヲ取ツテ居ル、馬ハ家畜保險制度ガ確立シテ居ルノデアリマス、資金ヲ融通シテモ私ハ決シテソナナ危險ナコトハナイト思ヒマス、是ダケノ馬政計畫ヲ立テタノデアリマスカラ、政府ハ其ノ資金ヲ出シテ然ルベキデアル、又其ノ資金ヲ出ス位ノ一ツノ迫力ガナカタナラバ、到底此ノ大馬政計畫ヲ遂行スルコトハ出來ナイ、私ハ斯様ニ信ジテ居リマス、此ノ意義アル馬政計畫ニ對スル資金ノ融通ニ付キマシテ、モツト熱意アル當局ノ御答辯ヲ願フテ置キタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 只今ノ馬小作ノ問題ニ付キマシテハ、地方廳ノ主任官等ヨリモ相當切實ナ要求ガアルノデアリマシテ、御話ノヤウニサウ云フ境遇ニアル者ノ利益ヲ増進

シ、馬ノ生産ヲ増加スルヤウニ致シタイト思ツタノデアリマス、尙ホ馬ノ購入等ノ問題ニ付キマシテ、一部ノ助成ヲ爲スノ途モアル譯デアリマス、尙ホ資金ノ融通ト云フコトニ付キマシテハ、是マデ金融關係ト致シマシテハ、馬ノ價格ガ安定ヲ缺クト云フヤウナ點カラ、餘程難色モアツタノデアリマスガ、今回ノ馬政計畫ノ建前カラ申シマスト、馬ニ對スル需要ガ廣範圍ニ多量ニ起ツテ來タノデアリマシテ、斯様デアレバ價格ト云フモノモ、隨テ安定スルコトガ豫想サレルト思フノデアリマス、其ノ點カラモ資金ノ融通ハ比較的容易ニナルコトト思ヒマス、尙ホ先程申上ゲマシタヤウニ、中央ノ金融機關等ニ於キマシテモ、今回ノ馬政計畫等ニ鑑ミマシテ資金ノ融通ノコトニ付テハ、特ニ心配シテ居ラレルノデアリマスカラ、御希望ノヤウナ點ハ比較的速ニ實行ニ移サレルヤウニナルノデハナイカト考ヘマス

○野澤委員 長官ノ御答辯ニ依リマシテ資金ノ融通ニ對スル全貌ガ明ニナツテ來マシテ、ソレデハ此ノ資金融通ノ必要ハ長官御自身強ク御認メニナツテ居ルモノト認メテ差支ゴザイマセス

○荷見政府委員 差支ゴザイマセス

○野澤委員 ソレデハ近イ機會ニ於キマシ

テ、馬政計畫遂行ノ線ヲ強化スル意味ニ於テ、資金融通ノ方法ヲ講ゼラレルモノト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○荷見政府委員 講ジタイト思ヒマス

○野澤委員 有難ウゴザイマシタ、其ノ點ハソレデ質問ヲ終リマス、最後ニ馬産ノ分布調整ト指導網ノ確立ニ付デアリマス、本會議ニ於キマシテモ質問ヲ致シテ置イタノデアリマスガ、今日マデノ日本ノ馬產地ハ、大體ニ於キマシテ東北、北海道ガ四割乃至五割ノ生産ヲシテ居ルト云フコトハ、統計ニ示サレテ居ル通りデアリマス、併シ今回ノ馬政計畫ニ依リマスト、大體是ハ有畜農業ニ適スル馬種デアリマシテ、勢ヒソレハ全國的ニ普通化サレルモノト思ヒマス、又普通化サレナクテハナラナイモノト思フノデアリマス、其ノ普及徹底ヲ圖ルニハ馬政關係ノ指導機關ノ綜合統一ガ、最モ必要デアルト私ハ思ヒマス、具體的ニ申上ゲルナラバ馬政ノ綜合計畫性ガ必要デアルト私ハ思ヒマス、然ルニ政府カラ御示シニナリマシタ資料ヲ見マスト、軍馬資源保護法案ノ第八條鍛鍊馬競走ノ點ニ、其ノ片鱗ガ現レテ居ルダケデアリマシテ、外ニハ馬政上ニ於ケル各機關ノ綜合計畫ガ、現レテ居ラナイヤウニ見受ケラレルノデアリマス、第八

條ニ於キマシテハ鍛鍊馬競走ハ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ畜産組合聯合會云々ト云フコトガ書イテアルダケデアリマシテ、是ダケデハ甚ダ物足ラナイ感ジガスルノデアリマス、此ノ馬政計畫ヲ遂行スルニハ、唯頭ノ方ダケデ大キナ計畫ヲ立テモ駄目デアルト思ヒマス、何ト云ツテモ下ノ生産者、飼育農家ガ其ノ氣持ヲ持タナケレバ駄目ダト思ヒマス、ソレト聯關ヲ持ツテ居ルノガ各地方ニアル畜産組合團體デアリマス、又其ノ指導ヲシテ行クベキモノハ人的資源デアルト思ヒマス、人的資源ハ此ノ場合ニ於キマシテハ獸醫師ダト思ヒマス、所謂生産者、飼育者、畜産組合、ソレカラ獸醫師會——上ノ方ヘ行キマシテハ馬匹協會トカ色々アリマスガ、兎ニ角直接馬産計畫ノ實踐ノ衝ニ當ルベキモノハ、今ノ生産飼育者ト獸醫師ト畜産組合デアルト思フノデアリマス、此ノ綜合計畫ト云フモノニ對シマシテ、政府ハ如何ナル御所見ヲ御持チニナリマスカ、其ノ一點ヲ御聽キシテ置キタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 今回ノ馬政計畫ニ伴フ人的指導機關ノ擴充ノ問題ニ關聯致シマシテハ、各種馬出張所ニハ貸付ノ種牡馬ノ増加ニ伴ヒマシテ、十分デアリマセスガ、指

導ノ設備モ若干増加スルコトニ相成ツテ居
リマス、又地方廳ノ地方馬事團體等ニ對シ
マシテモ、人的施設ヲ充實致シタイト云フ
考デアリマス、ソレカラ昨日申上ゲマシタ
ヤウニ、軍馬資源ノ保護關係ニ於キマシテ
モ、相當ノ施設ヲ致ス積リデアリマス、是
等ハ大體ニ於テ馬政局ノ統轄ノ下ニ、地方
廳ナドデモ各方面ノ機關ト相關繫シマシ
テ、御説ノヤウナ目的ヲ達スルコトニナル
カト考ヘマス

○野澤委員 當然其ノ綜合計畫化ガ行ハレ
ナケレバ、此ノ軍馬資源保護法ノ目的ヲ達
スルコトハ出來ナイト思ヒマスカラ、政府
ニ對シマシテモ私ハ是以上質問ハ致シマセ
ヌ、ドウカ只今申シマシタヤウナ人的資源、
所謂指導機關デスカ、畜産組合、生産飼育
者ト云フ此ノ關係ヲ能ク考慮ニ入レテ下サ
イマシテ、此ノ調整ヲ有機的ニ執ツテ載ク
コトヲ希望致シマシテ、私ハ質問ヲ打切り
マス、最後ニ今回ノ私ノ質問ニ際シマシ
テ、政府當局ハ第一ノ問題タル飼料ノ問題
ニ付キマシテハ、蘇ラ飼料統制品目ノ中ニ
入レルト云フコトト、ヨリ一層飼料ノ廉價
配給ヲ行フト云フコトヲ言明サレタコト、
牧野ニ付シマシテハ國有林始メ林牧混淆地
ニ對シマシテ、至急各ノ機關ノ動員致シマ

シテ、此ノ開放ヲスルト云フ意思表示ヲサ
レタト云フコト、只今馬政局長官ニ依ツテ
馬小作制度ヲ是正スル爲近イ内ニ馬購入資
金ノ簡易融通化ヲ圖ルベク努力スルト言ハ
レタコト、此ノ三ツノ言明ヲ得タコトハ、
私ノ非常ニ満足スル所デアリマス、私ハ以
上ヲ以テ質問ヲ打切りマス

○大石委員長代理 遠山房吉君——御出席
ガアリマセスカラ次ハ通告順ニ依リマシテ
永田良吉君

○永田委員 東北地方ノ主産馬地ノ先輩ノ
方カラ、詳シイ御質問ガアリマシタカラ、
其ノ要點ハ盡キテ居ルト思ヒマスガ、私ハ
特ニ日本ノ南方ノ關係カラ、マダ九州方面
ノ人ノ質問ガナイヤウデアリマスノデ、斯
ウ云フ方面ノ立場カラ少シ違ツタ角度ヲ以
テ、御尋シタイト思フノデアリマス、ドウ
カ其ノ御積リデ御聴取アラシコトヲ御願致
シマス、第一ニ是ハ極ク簡單ナ問題デアリ
マスケレドモ、中等程度ノ獸醫科ハ慥カ今
年限リ廢止ニナルト思フノデアリマス、是
等ハ從來ノ日滿ヲ中心トシタヤウナ程度ニ
於テハ——無論馬ノ醫者モ人間ノ醫者ト同
ジヤウニ、高等專門學校程度ニシナケレバ
ナラヌト云フコトハ、當然ノ問題デアリマ
ス、但シ現況カラ考ヘテ、日滿カラ漸次北

支、中支ノ方ニ、日本ノ色々ナ勢力ガ及ブト
云フ狀態カラ考ヘマシテモ、ヤハリ中等學
校程度ノ獸醫科ノ廢止ト云フコトハ、少シ
早過ギハシナイカ、之ヲ考ヘ直シテモウ暫
ク之ヲ存續シテヤツタラドウカト思フノデ
アリマス、是ハ無論先ニ御話ニナリマシタ通り、
從來ノ計畫デハ高等專門學校程度ニスルノ
ガ必要デアリマスケレドモ、範圍ガ非常ニ廣ク
ナツタ場合、高等專門學校程度デハ如何ナモ
ノカ、ヤハリ高等專門學校アタリヲ終ツタ人ノ
俸給ハ高イシ、中等學校程度デアレバ、各
町村トカ色々ナ地方ニヤル場合ニハ、幾分
カ安イ月給デ技術員モヤレルノデアリマス、
斯ウ云フ經濟的ノ立場カラ見テモ考ヘナケ
レバナラヌシ、中等學校程度ノ獸醫科ヲ今
年限リデ打切ルト云フコトハ、モウ少シ私
ハ考ヘル餘地ガナイカト思フノデアリマス、
是ハ無論文部當局トノ關係モアリマスケレ
ドモ、此ノ機會ニ農林或ハ陸軍方面カラ見
ラレタ御感想ヲ一寸承ツテ置キタイト思ヒ
マス

○伊藤政府委員 只今永田サンナ御質問ノ
アリマシタ中等學校ノ獸醫科ヲ、十三年度
限りデ廢止スルコトニナツテ居ルノハ、少
シ早過ギハセスカト云フヤウナ御質問デア
リマス、最近ノ獸醫師ノ現狀カラ見マスレ

バ、御話ノヤウナ風ニモ考ヘラレルト思フ
ノデアリマスガ、既ニ獸醫師トシマシテハ
相當高級ナ技術ヲ要スルト云フノデ、政府
ニ於キマシテハ十三年度限りデ之ヲ廢止ス
ルコトニシテ居ツタノデアリマス、隨テ現
在其ノ後繼者タル入學者ハ、モウ既ニ中等
學校ニハ居ラナイノデアリマス、之ヲ更ニ
存續致シマスレバ、三年後ニナラナケレバ
卒業者ハ出ナイ譯デアリマス、一方文部省
ノ方デハ此ノ獸醫師不足ノ現狀ニ應ズル爲
ニ、最近獸醫學科ノ新設或ハ既設ノ收容人
員ノ増加等ニ依リマシテ、著々其ノ準備ヲ進
メテ居ルノデアリマシテ、明年度以降ハ相當
多數ノ獸醫ガ出ル計畫ニナツテ居リマス、
大體待遇ノ點カラ言ヒマスレバ、今御話ノ
ヤウナコトモアリマスケレドモ、數ノ上カ
ラ言ヒマスレバ、サウ不足ヲ來スヤウナコト
ハナイノデハナイカト思ヒマス、尙ホ滿洲
ニ於キマシテモ獸醫師不足ノ現狀ニ鑑ミマ
シテ、講習等ニ依リ簡易ニ其ノ卒業者ヲ出
スコトヲ計畫致シテ居リマス

○永田委員 御丁寧ナ御答辯デ満足致シマ
シタガ、滿洲方面等ニ付テ簡易ナ方法ヲ講
ズルト云フコトデアリマシテ、安心シタ譯
デアリマス、是ガモット支那マデ伸ビルト
スレバ、ヤハリ其ノ簡易ナ方法ガ滿洲ノミ

ナラズ、北支カラ中支那方面ニ及ブヤウナ
コトガアリハシナイカ、サウ云フ點ニ於テ
日滿支共通ノ立場カラ考ヘテ、モウ少シ具
體的ニ申シマス、再ビ中等程度ノ簡易ナ
モノヲ復活スル必要ガアリハセスカト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、モノニ
ハ臨機應變ノ處置ト云フモノガアルノデア
リマスカラ、必ズシモ廢止シタモノヲ復活
スルカラ當局ノ責任デアルトカ、何トカ云
フコトハアリマセス、實情ニ應ジテ活殺自
在ノ計畫ヲ講ズルコトガ、最モ國政ニ忠實
ナコトデハナイカト思フノデアリマス、斯
ウ云フ意味ニ於キマシテ地方ノ實情ニ依リ
マシテハ、高等專門學校程度ノ者ヲ要セズ
シテ、普通ノ中等學校程度デ十分間ニ合フ
コトガアルト思フノデアリマス、尙又一遍
ニ多數ノ技術者ヲ要スルトカ、色々經濟上
ノ關係等カラ考ヘテ、再ビ中等學校程度ノ
モノヲ附加スルノ必要ガ起リハシナイカト
私ハ思フノデアリマスカラ、斯ウ云フ際ニ
於テハ、從來廢止シタカラ云々ト云フ、サウ
云フ固イ意味ニナラヌヤウナ態度ヲ以テ、
善處サレンコトヲ希望シマシテ、此ノ中等
學校程度ノコトノ質問ハ、是デ止メマス
○小笠原委員 一寸關聯シテ御尋シマスガ、
只今ノ獸醫ノ問題デアリマス、今度ノ馬政

計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、衛生方面ノコト
ガ伴ハナケレバナラス、隨テ獸醫ノ配置其
ノ宜シキヲ得ナケレバナラスト云フコトハ、
勿論ノコトデアリマス、現在ノ所デハ、畜產
ヲ主トスル地方デモ、獸醫ノ配置ガ不足ヲ
來シテ、非常ニ不便ヲ感ジテ居ルノミナラ
ズ、官廳方面デモ非常ニ獸醫ノ配置ニ困ツ
テ居ルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、併
シ只今ノ御答辯ニ依リマス、高等ノ學術
ヲ受ケタ者ガ、今度ハ多數出ラレト云フ
コトヲ伺ツテ居リマスケレドモ、是ハ實際
ニ今度ノ要求ニ應ジテ、ソレノ配置セラ
レルヤウナコトノ程度ニナルノデゴザイマ
セウカ、ソレカラモウ一ツ私ガ伺ヒタイコ
トハ、此ノ獸醫ノ中ニ、今マデ中等程度ノ
者ガ何カ學術的ノ缺陷デモアツテ、ソレガ
今日マデヤツテ居ルコトニ對シテ不便ヲ感
ジタト云フヤウナコト、或ハ今日陸軍トカ
馬政局カラ見タ上ニ於テ、適當ナラバト云
フヤウナコトノ御考ヲ持タレテ居ルノデゴ
ザイマセウカ、其ノ點ヲ一ツ、同時ニ獸醫
ト申シマシテモ御承知ノ通り、牛馬ニ對ス
ル大動物ノ獸醫モアリマス、或ハ又犬トカ
猫トカノ獸醫モアリマス、ヤハリ獸醫各其
ノ目的ハ違フノデアリマス、殊ニ實際ニ病
馬ノ治療ニ當ツテ、治療ト學術研究ヲスル

獸醫、是モ亦各目的ヲ違ヘタ方面ニ行ツテ
居ルノデアリマスガ、何レノ方面モ勿論是
ハ必要デアアルノデアリマス、然レニ大動物
ニ直接接スル獸醫ハ、ヤハリ馬產地カラ出
テ、少年時代カラ牛馬ニ接シテ居ル、サウ
云フ地方カラ出タ獸醫ガ非常ニ歡迎サレテ
居ルノデアリマス、同ジ馬產地デアリマシ
テモ、高等程度ノ獸醫トナルト、相當ノ年
限ヲ要スル、巨額ノ學費ヲ要スルト云フノ
デ、馬產地地方ノ相當ノ資產家ノ家庭ノ者
デナケレバ、入學ヲスルコトガ出來ナイ、
資產家ノ家庭トナルト、ヤハリ牛馬ニ接ス
ル機會ガ薄イ、本當ニ青少年時代カラ牛馬
ニ接シテ居ル者ハ、ヤハリ中學程度ノ、簡
易ニ入學シ卒業ノ出來ルモノガ、一番第一
線ニ立ツテ奮闘スルニ都合ガ好イ、隨テ今
マデノ中等學校ノ卒業生ノ獸醫ト云フモノ
ハ、非常ニ馬產地各方面ニ於テ歡迎サレテ
居ルノデアリマス、ドウモ此ノ連中ガ卒業
シテカラ、一方ハ實際ニ當リ、一方ハ學術
ノ方ノ研究ニ當ツテ奮闘シテ居ルガ、非常
ニ有效ニ今日働イテ居ルヤウニ吾々考ヘテ
居ルノデアリマス、實際吾々ノ地方トシテ
ハ、一線ニ立ツテヤツテ居ルノデアリマス、
又政府ノ方デモ、ソレノ中等學校ノ人々
ヲ有效ニ配置スルコトモ、見受けラレテ居

ルノデアリマス、隨テ是カラ高等程度ノ者
バカリ獎勵シテ、此ノ中等程度ノ者ヲ廢シ
タト云フコトハ、是ハ第一線ニ立ツ者ガ實
際不足ヲ來タスコトニナルト云フコトハ、
非常ニ明ニナツテ來ルノデハナイカト考ヘ
ラレルノデアリマス、此ノ點ニ付テ、アナ
タ方ノ方デハ御心配ハセラレテナイノデア
リマスカ、ソレカラモウ一ツ、本當ニ馬事
普及關係ニ當リマシテモ、農村ノ普通以下
ノ家庭ノ連中ハ中等程度ノ獸醫ニナツテ、
農村ニ在ツテ農村ノ生産者ト共ニ馬産改良
ニ當ル、此ノ連中ノ今日マデノ指導ガ大イ
ニ與ツテ今日ノ馬産ノ振展ヲ來シタ、謂ハ
バスノ道ノ大功勞者デアルト私ハ考ヘテ居
ルノデアリマス、是カラモ斯ウ云フ指導者
ノ手ヲ經ナケレバ、假令政府ノ方ニ何人役
人ガ居ツタ所デ、直接實際農村ノ指導ニ當
ル斯様ナ人々ノ手ヲ經テヤラナケレバ、今
度ノ馬産方針ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌ
ト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、何レノ
方面ニシテモ、此ノ中等學校程度ノ獸醫ト
云フモノハ必要デアアル、ソコデ馬政局並ニ
軍部ノ方面ニ於テ此ノ第一線ニ立ツ獸醫、
即チ馬ノ治療ニ當ル人ハ中等學校程度ノ者
デナケレバナラスト云フコトヲ、痛切ニ御感ジ
ナサレテ、是ガ復活ニアナタ方ノ方モ、ソレ

ゾレ御手配アルベキ筈デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ滿洲方面ノ關係ヲ見マス、鼻疽疫等ガ蔓延シテ居ルガ、之ヲ治療スル研究ガマダ出來テ居ラヌ、隨テ滿洲方面ノ移民地邊リニ於テハ、之ガ爲ニ非常ナ惱ミヲ持ツテ居ルノデアリマス、大膽大計畫ヲ爲シテ、滿洲ノ移民地ニ對シテ此ノ内地馬產ヲ移植スルト云フコトノ目的ニ出タノデアリマスガ、此ノ方面ノ治療ハ感染シナイ中ニ之ヲヤルト云フノデアリマスガ、併シ獸醫ノ配置ノ徹底ヲ缺イタナラバ、徒ニ結果ニ於テ病氣ノ爲ニ斃レルモノガ澤山アルト云フヤウニナル、斯様ナコトニナルト、此ノ目的ノ遂行ハ出來スト思フノデアリマス、サウ云フ御心配ハアリマセヌカ、滿洲邊リデ、一時的ニ一寸間ニ合ハスダケノ獸醫ヲ拵ヘルト云フヤウナコトヨリモ、中等學校程度ノ獸醫ノ方ガ遙ニ有效デハナイカト思フノデアリマス、今日滿洲ノ方デハ、適當ナ滿洲獸醫ト云フヤウナモノヲ、設ケヨウト云フ計畫デアルトノ今御話デアリマスガ、此ノ獸醫ノ資格ニ付テ、内地ノ馬產地方面ノ中等學校卒業程度ノ獸醫ヲ使フノカ、ドツチニナルノデアリマスガ、私今初メテ承ツタノデアリマスガ、サウ云フコトヲ一

寸伺ツテ置キタイト思ヒマス
○伊藤政府委員 獸醫ノ卒業生ノコトニ付キマシテハ、御手許ニ畜産局カラ資料ヲ配付シテ居リマシテ、相當多數ノ者ガ出ルコトニナツテ居リマスノデ、近キ將來ニハ、專門學校以上ノ者ガ相當多數出ル積リデアリマス、次ニ中等學校程度ノ卒業生ガ、御話ノヤウニ從來日本ノ馬產方面ノコトニ非常ニ貢獻致シタコトハ、其ノ通りデアリマシテ、御尤ト思フノデアリマスガ、只今マデ進シテ參リマシタノハ、專門學校程度ニシヨウト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、先程申上ゲマシタコトデ御諒承ヲ御願シタイト思ヒマス、尙ホ滿洲ニ馬ヲ移植スルノニ、病氣ニ罹ツテ困ラナイカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、今回滿洲ニ馬ヲ移植スルニ付キマシテハ、移植地デアリマス移民地ニ於キマシテ、鼻疽等ノ清淨區域ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、在來馬ノ鼻疽ガ蔓延シナイヤウ方法ヲ講ズルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、大體右御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
○小笠原委員 先刻ノ永田君ノ御質問ニ對シ、滿洲獸醫ト申シマスガ、サウ云フ方面ニ對シテ御答ニナツタヤウデアリマスガ、其ノ獸醫ヲ今度滿洲國デヤラレル、ソレト内

地ノ中等學校程度ノ獸醫トノ比較ヲ承リタイノデアリマス、其ノ御答辯ガナカツタヤウデアリマスガ……
○伊藤政府委員 先程私ハ聞嚙ツタコトヲ御參考ニ申上ゲタノデアリマス、何年デアルカハ只今ハツキリ覺エテ居リマセヌ、御必要ガアリマスレバ調べテ申上ゲタイト思ヒマス
○小笠原委員 サウスルト滿洲獸醫ト云フノハ、マダ未定ナモノデスカ、アルコトヲ仰セラレタノデスカ、今假定ト云フノハ、豫想ハマダナイノデスカ、ソレヲハツキリドウカ御知セ願ヒタイノデアリマス
○中尾説明員 一寸説明員カラ申上ゲマス、滿洲ト朝鮮ニ於キマシテ今マデ獸醫ト致シマテハ、内地ノ學校ヲ卒業シマシタ者、或ハ内地デ試験ニ通ツタ獸醫バカリヲ、向フカラ内地ヘ來テ採用シテ居ツタノデアリマス、然ルニ最近ニナリマシテ朝鮮及ビ滿洲國ニ獸醫ノ學校ガ出來マシテ、漸次養成スルヤウニ至リマシタ、其ノ數ハ滿洲ト朝鮮ノ區別ハ私持ツテ居リマセヌデスケレドモ、昭和十二年デ百八十名、十三年デ三百九十名、昭和十四年デ四百名ト云フ數ノ養成ヲ致シマス、デスカラ獸醫ノ少イ所ニ内地カラ採ツテ行クト云フコトハ、漸次少クナリマシ

テ、向フデ大體ニ於テ自給自足シテ行クヤウニナルト思ヒマス、唯高級ナル獸醫、幹部ニナル獸醫ハ内地ノ大學、專門學校ノ卒業生ヲ採ツテ行キマスケレドモ、併シ下方ノ第一線ニ立ツ獸醫ト致シマシテハ、朝鮮ナリ滿洲ニ於テ學校ヲ出タ者ガ、採用サレルコトニナルト考ヘマス、隨ヒマシテ獸醫不足ト云フモノハ、斯ウ云フ點カラ言ヒマシテモ、相當緩和サレルト考ヘテ居ル次第デアリマス
○小笠原委員 私ノ伺ツタノハ、滿洲獸醫ト云フモノノ學校ガオアリニナルト云フコトハ、今初メテ分ツタノデアリマスガ、ソレト日本ノ從來アツタ中等程度ノ獸醫ト云フモノノ對照ヲ、私ハ伺ツタノデアリマス、其ノ方ノ御答辯ガナカツタヤウデアリマスカラ、ソレヲハツキリサシテ戴キタイト思ヒマス
○中尾説明員 私ハ滿洲ニ於キマスル講習會ノヤウナモノ、斯ウ云フ意味ニ諒解シテ居リマス
○小笠原委員 サツキ學校ト仰シヤツタノデスヨ
○中尾説明員 學校ノ話ハサツキ申シマシタ通りデアリマス、學校ノ話ハ私ガ説明シマシタ通りデアリマス

○荷見政府委員 私ハ只今マデノ御問答ヲ拜聴致シテ居リマシテ、滿洲ニ於テモ、御心配ノ獸醫ノ供給ト云フコトニ付テハ、施設ヲ講ジテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノガ、施設トハ何ゾヤト云フ内容ノ問題ニ立入ツタノデアリマス、其ノ點ニ付テハ伊藤政府委員カラ取調ベテ御説明ヲ申上ゲルト云フコトニナツタノデアリマスガ、ソレハ後ノ機會ニ申上ゲマス

○小笠原委員 ソレナラバソレ宜イデス
○富吉委員 質問應答ノ中ニ於キマシテ、獸醫ノ問題ニ付テ色々質疑ガアリマスルガ、是ハ此ノ大キナ馬政計畫ヲ實行シテ行ク上ニ於テ、相當委員諸君デモ御心配ノ餘リ、斯ウ云フコトガ繰返サレテ居ルノダト思フノデアリマスルガ、私モ此ノ中等程度ノ獸醫科廢止ト云フコトニ對シテ、少シク不安ヲ持ツテ居ル一人デアリマス、ト申シマスルノハ、人間ガ病氣ヲ致シマスルト、人間ノ身體ハ金ニ換ヘ難イノデゴザイマシテ、假令ドシナニ貧乏シテ居リマシテモ、或ハ豫算ガナクテモ、其ノ醫療ハ十分ニ徹底的ニヤルノデアリマスルガ、残念ナル哉、馬ハ動物デアリマスル爲ニ、百圓ノ馬ガ五箇月モ六箇月モ病氣ニナルト、ソレヲ治療スルト云フコトハ不可能デゴザイマスノデ、

大體見限りヲ付ケテ田舎デハ養生致シテ居ルヤウニ、私共百姓ト致シマシテ經驗致シテ居ルノデアリマス、ソコデ農村ニ居リマスル獸醫ノ生活狀態、收入狀態ヲ見マス、是ハ別ニ統計モ持ツテ居リマセヌケレドモ、私ノ見マシタ所デハ、東北、北海道ニ於キマスル馬産ノ先進地ハイザ知らズ、私共ノ地方ニ於キマシテハ獸醫諸君ノ生活ガ非常ニ惡イノデアリマス、即チ馬ノ治療ニ依ツテ得ル收入ガ、現在ノ生活トノ間ニ非常ナ喰違ヒヲ生ジテ居リマシテ、大抵獸醫ハ村ノ畜産組合ノ囑託ニ依ツテ給料ヲ受ケルトカ、ソレナラバ宜シイガ、其ノ外ニ或ハ生命保險ノ代理店ヲヤルトカ、或ハ外交員ヲヤルトカ云フ狀態ニ依ツテ、辛ウジテ生計ヲ營ンデ居ル獸醫ヲ、私共非常ニ數多ク知ツテ居リマシテ、オ醫者サンノ如ク、メキメキト金持ニナツテ、裕福ナ生活ヲシテ居ルト云フヤウナ者ハ、私共遺憾ナガラ殆ドマダ見受ケナイノデアリマス、斯ノ如ク獸醫師ノ生活ハ、其ノ商賣ガ餘リニ現在ノ社會ニ於テハ引合ナイ商賣デアリマスルノニ、果シテ高等專門學校ノ卒業生ヲ澤山出シテ、大分其ノ點ニ付テ當局ハ御樂觀ニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、之ヲ田舎ノ獸醫師トシテ畜産ノ衛生ノ任ニ當ラシメル御自信

ヲ、御持チデアリマスカドウカ、是ハ東京デ御考ニナリマシタセイカモ知レマセヌケレドモ、國家ノ爲トハ申シナガラ、是等ノ多クノ卒業生諸君ガ農村ニ居付イテ、果シテ眞ニ百姓ノ物言ハヌ動物ノ相手トナツテ行キ得ルカ、現在ノ中等學校ヲ出タ技手デモ、多ク農村ノ所謂獸醫師ノ生活ガ餘リニ良クナイ爲ニ、警察ノ獸醫ヲ志願シタリ、其ノ他ノ方面ニ轉業致シテ居ルヤウニ私共ハ見受ケル、成程數字ノ統計ノ上ニ於テハ、澤山ナ卒業生ガ出テ參リマスルガ、是ガ果シテ農村ニ居付イテ、眞ニ此ノ馬政計畫ノ樞軸ヲ成ス畜産衛生ノ業務ヲ遂行シテ行キ得ルト云フ御見込ガ、事實オアリニナリマスカ、是ハ大抵農村ノ出身——農村ニ於キマスル地主ノ息子ガ中等學校ヲ出テ、頭ノ良イノガ高等專門ノ學校ニ居マスルガ、是等ハ殆ド田舎ニハ居付カナイデス、高等專門學校ヲ卒業シテ田舎ニ居付イテ居ルノハ、醫者ガタツタ一ツ、其ノ醫者モ實ハ自分ノ生レタ所ガ餘リ邊鄙デアルト、其處ニハ歸ラズニ殆ド町デ經營シテ居ルノガ現狀デス、結局、農村ニ居付カセヨウトスルナラバ、此ノ馬政計畫ガ眞ニ農民ヲ潤スモノデアルカ、或ハモット獸醫師ノ方面ニ關シテ居付カセル何等カノ助成的大補助的ナ計畫

ガオアリニナラナケレバ、是ハ結局机上ノ空論ニ終ルト、私ハ懸念スル者デアリマスルガ、先ヅ此ノ點ニ關スル御意見ヲ承ツテ見タイト思フ
○荷見政府委員 御話ノ通りニ、最モ必要ナル人間ノオ醫者デスラガ、中々邊鄙ナ所ニハ居付カヌ、斯ウ云フ御話デアリマスレバ、ソレヨリ程度ノ變リマスル獸醫ガ、居付カナイト云フコトガアリ得ナイト云フコトヲ私ハ考ヘマセヌ、唯先般來政府委員ノ方カラ御答辯ヲ繰返シテ申上ゲテ居リマスノハ、中等學校ノ程度ノ獸醫ノ卒業生ト云フモノガ、獸醫師タル資格ヲ有セザルヤウニナリマスナラバ、非常ナ獸醫ノ不足ヲ來スノデナイカト云フ御質問ニ對シマシテ、先般來農林省ノ方カラ差上ゲマシタ調査資料ノヤウニ、相當數ノ帝國大學、官立專門學校、私立專門學校、公立農學校獸醫科等ヨリ、多數ノ獸醫ノ資格ノアル者ガ卒業スルヤウニナルノデアリマシテ、是等ノ數ガ或ハ需要ヲ滿タス分トシテハ相當デアラウ、之ヲ分布セシムルカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ馬産ノ關係デアリマスノデ、必ズシモ獸醫其ノモノヲ目標ト致シマセヌデモ、馬ノ重要性カラシテ馬ニ對スル、或ハ先般來御話ガアリマスヤウニ、國家ノ各施設ナリ或ハ取引價格ノ問題ナリ、色々重

要性ガ増シテ参リマスレバ、之ニ對スル待遇ト云フヤウナモノモ、相當ニ向上セラレルデアリマセウカラ、田舎ヘマデ行互ツテ馬ノ衛生ニ改新ヲ爲シ得ルコトニナルダラウト、私ハ考ヘルノデアリマス、是ハ何ノ施設ニ致シマシテモ、醫者ノ配當マデ國家ガ直接ニ金ヲ出シテヤツテ行クト云フコトハ、中々困難ナコトト思ヒマス、併シソレヲ不必要ナコトトハ思ツテ居リマセス、私共モ力ノ許ス限り將來トモ若シモ獸醫ノ不足ノ爲ニ、馬ノ衛生ガ非常ニ害サレル、或ハ馬政計畫ノ遂行ニ困難デアルト云フコトデアリマスレバ、困難ヲ排除スルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○森田委員 私モソレハ相當重要ナ問題ト思ヒマス、一寸横取りスルヤウナ恰好デスケレドモ、關聯シテ伺ヒタイト思ヒマス

○大石委員長代理 屢、此ノ事ヲ御論及ニナツテ居リマスカラ、成ベク簡單ニ願ヒマス

○森田委員 實ハ本會議デモ其ノ點ニ關スル質問ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、何レ機會ガアラウト思ツテ居リマシタ、ソコデ問題ハ何遍繰返シテモ同ジモノニナルカモ知レマセスガ、此ノ大キイ前提ヲ農林省ノ方デ忘レテ居ルデハナイカト思フノデス、大キイ前提ト云フノハ何カト云フト、

實際私等ノ方デハ、相當馬ヲ産スル所ニ生レタ者デ、片手間ニオ醫者サンヲヤツテ居ル、ソレダカラ獸醫トシテ立ツテ行クノデス、ソコヲ御忘レニナツテ、獸醫師ヲ拵ヘサヘスレバ何處ヘデモ行クダラウト云ツタヤウナコトヲ、農林省ハ御考ニナツテオ居デニナルデハナイカト思フ、ソレトモウ一ツハ東北地方ノ民度ノ低イ馬產地カラ、容易ニ高等農林學校ナドヘ入ル者ハナイノデス、恐ラクハ都會邊リニオ居デノ方デ、別ナ學校ヘ入レナイヤウナ方ガ專門學校ノ方ヲ望ンデ、農林學校ノ獸醫科ヘ向イテ行クデハナイカ、學校ヲ卒業スレバ依然トシテ都會ノ方ヘ集中サレテ農村ヘ行キツコナイ、ソコガ私等ノ非常ニ憂ヘル所デアリマス、デアリマスカラ、程度ノ高イコトハ私等モ贊成スルノデスケレドモ、程度ガ高イカラト云ツテ、オ醫者サンガ馬ノ居ル所ニ居ナイト云フコトニナツタラ、何ニモナラヌコトニナル、ソコヲ現實ニ立脚ナサレテ、今マデノ農學校ノ卒業生ヘ二箇年位ノ專攻科ト云ヒマスガ、サウ云ツタヤウナモノヲ臨時デ宜イノデスカラ、一ツノ講習所見タヤウナ形デ拵ヘテ、其所ヲ出タ者ニ特別ナ計ヲヒデ獸醫ノ免許狀ヲ、便法トシテ與ヘ得ルト云フヤウナコトニデモシテ行カナイト、

馬産計畫ニ基ク獸醫ノ不足ト云フコトハ、今日カラ明ニ豫見スルコトガ出來ルト思フ、其ノ豫見シ得ルモノヲ今此ノ案ヲ通ストキニ漠然トシテ置クト云フコトハ、私等トシテハドウモ承服致シ兼ねル所ガアルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ獸醫ノ不足ヲ豫見シ得ル、ソレヲドウ云フ風ナ形デ補充ナサラウトスル御考ガアルカ、ソレヲ具體的ニハツキリサシテ置イテ戴キタイト、斯ウ思ヒマス

○荷見政府委員 是ハ前々カラ繰返シテ申シマスル以上ニ、私ノ御答辯ハ出デナイノデアリマスガ、大體數ニ於テハ只今申上ゲタ通り、ソレカラ分布情勢ニ於キマシテハ、昭和十三年十二月十九日現在ニ於キマスル數ガ相當アリマス、北海道ガ千三百七十八名、青森ガ五百四十七名ト云フ風ニ、各府縣共相當數ガゴザイマス、ソレガ地元ニ落著クカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ御話ノヤウニ相當ノ教育ヲ受ケマシタモノガ、待遇ガ非常ニ惡イト云フト、惡イ所ハ落著キニクイト思ヒマス、ソレカラ是ハ馬政ノ各般ノ施設ガ充實致シテ参リマシテ、馬ニ對スル重要性ト云フモノガ増シマスレバ、之ニ對シテ必要ナル獸醫ニ對スル需要ト云フモノガ起ルノデアリマシテ、其ノ需要ガ起ツテ待遇ガ好クナリマス

レバ、私ハ如何ナル田舎ト申シマシテモ、ソコニ獸醫ノ供給ト云フコトハ圓滿ニ行クダラウト思フ、要ハ馬ノ行政ト云フモノニ對スル社會ノ認識ト云フモノガ少シ高マリマシテ、ソレニ對スル待遇等ガ改善サレルト云フコトニアルダラウト思ヒマス、ソレ以上ハ中々困難ダト思ヒマス

○森田委員 簡單デス——御意見御尤デゴザイマシテ、自由ニ委シテ置ケバ自然サウナルデゴザイマセウガ、今日カラ豫見スルコトガ出來ルト思フノデス、豫見ト云フコトハ詰リ此ノ產馬計畫デ行クノデスカラ、ドウシテモ其ノ點ガ極メテ重要ナデス、豫見スルコトノ出來ルモノヲ間ニ合ハナクナツタカラト云ツテ、應急處置ヲ講ズルト云フヤウナコトハ、私ハ賢明ナ政治デヤナイト思フ、其ノ意味デ一ツ特別ナ御考慮ヲ煩ハシタイ、斯ウ云フノデス、其處ハ意見ノ相違ニナルト云フコトナラバ仕方アリマセスガ、併シ簡單ナコトデヤナイノデスカラ……

○荷見政府委員 私共モ田舎ノ地元カラ出タ人ガ能ク研究サレマシテ、地元ヘ歸ツテ獸醫ノ仕事ヲシテ、馬政ノ事ニ貢獻サレルト云フコトニ對シテハ、一ツモ異存ハナイノデアリマスガ、社會ノ教育程度、知識ノ程

度ノ増加ニ伴ヒマシテ、大體資格ヲ各般ノ方面デ引上ゲテ、獸醫ノ資格モ亦引上ゲラレテ參ツタト云フ際ニ、之ヲ今引下グルト云フコトニ付キマシテハ、或ハ考究ノ餘地ガアルカモ知レマセスケレドモ、先程カラ他ノ政府委員カラモ御答辯ヲ申上ゲマシタヤウニ、今度十三年度ノ廢止ヲ延期致シマシテモ、今一年ニ入ツテ居ル者ガナイノデアリマスカラ、數年後デナケレバ出來ナイコトニナツテ居リマス、只今申上ゲテ居ルノハ其ノ定員ト云フモノトカ、或ハ新シイ學科ト云フモノヲ、各專門學校以上ニ文部省トシテハ増加致シマシテ、之ニ對シテ異存ノナイヤウニシヨウ、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレデ私共ト致シマシテモ、若シモ是等ノ關係上將來地方ニ於ケル馬ノ衛生ト云フコトニ、不備缺陷ヲ生ズルト云フヤウナコトニナリマスレバ、出來ル限り各種ノ施設ヲ講ジテ遺憾ナキヲ期シタイト思ヒマスガ、今ノ所ハ是レ以上ハ申上ゲルコトハアリマセヌ

○大石委員長代理 永田君

○永田委員 此ノ中等學校程度ノ獸醫科ノ復活ニ付キマシテハ、他ノ諸君カラモ色々御加勢ガゴザイマシテ、大變私モ有難ク思フガ、是ハ當局ハドウ考ヘテ居ラツシヤル

カ知リマセスケレドモ、是ハ確ニ無理ガ此處ニアルト思ヒマス、ソレデ今二箇年間ハ生徒ハ居リマセスケレドモ、ヤハリ是カラ滿洲ヤ支那ニ内地ノ者ガ伸ビテ行クニハ、成タケ自分ノ郷里デ教育ヲ受ケテカラ向フニ行ツタ方ガ宜イ、サウスルニハ今ノ當局ノ説明ニ依リマス、朝鮮ト滿洲ニハ中等學校程度ノモノヲ作ツテ、向フデ生産シテ居ルカラ差支ナイト仰シヤルガ、吾々ノ立場カラ考ヘマス、日滿支ヲ共通シテ考ヘタ場合ニ、又新事態ニ對シテハ新シク茲ニ設備ヲシナケレバナラス、然ラバ又之ヲ復活スルノ必要ガアルト私ハ思フ、ソレヲ當局ノ方ガ一旦俺ノ方デ廢止ヲ決メタカラ、マア時機ヲ待テト云フヤウナコトデ、コンナ無理ヲナサルト、誰ガ迷惑スルカト言ヘバ國民ガ迷惑ヲ蒙ル、吾々ガ當局ニ斯ウシテ質問スルノハ、贅澤ニ質問スルノデハアリマセヌ、皆様方ガ確ニ地方ノ實情ト、中央ニ居ツテ政治ヲ爲サル場合ニ、何カノ行違ヒガアリハセヌカト思フカラ、サウ云フ點ヲ吾々田舎代議士ガ來テ、御參考ノ爲ニ説明ヲシテ居ル譯デアリマス、大變ウルサイコトデゴザイマセウケレドモ、將來斯ウ云フコトモ考ヘラレテ、一ツ善處サレンコトヲ希望シテ、私ハ是レ以上ハ申上

ゲマセヌ、次ハ地方競馬ノ廢止ニ付テ、今頃之ヲ言フト當局ハ、オ前達ハ昨年議會デモ皆賛成シテ居ルノニ、クダラヌコトヲ今頃質問スルナト云フ御叱リガアルカモ知レマセスケレドモ、確ニ此ノ地方競馬ノ廢止ト云フノモ、先程私ガ申上ゲマシタ中等學校ノ獸醫科廢止ト同ジヤウナ無理ガ、地方ニ生ズルト云フコトガアリマスカラ、此ノ點ニ付テ私ハ、廢止サレマシタケレドモ、百十幾ツアツタノヲ全然之ヲ廢止シタノハ宜シクナイ、ナニソレハ一部ハ地方鍛鍊競馬ノモノニ使フノダト仰シヤラレデモ、マダ全國ニ數十ノ整理サレタ地方競馬ガアル、公認競馬ヲ廢止シナイデ居ツテ、地方競馬ダケヲ廢止サレル、公認競馬ハドウ云フ目的カ私共能ク分リマセスケレドモ、是ハ都會地方デ娛樂機關トシテ盛ンニヤツテ居ル、是ハ又相當收入モアルダラウト思フ、ダガ都會ダケニ娛樂ヲ許シ、吾々農村ニ於テハ此ノ競馬ト云フモノハ一面カラ言フト娛樂機關ニナツテ居ル、此ノ娛樂機關ヲ奪ハレテハ大變產馬地ハ困ルノデアリマス、是ハ農林省カラ出タノカ軍隊カラ出タノカ知ラヌケレドモ、吾々ガ地方ノ競馬ヲ作ルノニハ、地方農民トシテ随分苦勞ヲシテ居ル、借金シタリ色々シテ漸ク斯ウ云フ地方

競馬ト云フモノヲ拵ヘテ、馬産振興ニオ五ニ努力シタノデアル、ソレヲ又今頃俄ニ廢止スル、中等學校程度ノ馬事教育モ廢止スル、サウシテ地方競馬モ廢止スル、先日モ大藏大臣ニ豫算委員會デ、色々御質問ガアツタヤウデアリマスガ、何モ彼モ之ヲ都會ニ集メテシマフ、サウシテ農村ヲ抛ツタラカシテ置クト云フコトハ、國家ノ將來ニ付テ由々シキ問題ニナル、之ニ對シテ官廳ノ方ガ確ニ、地方ニ對スル認識ニ多少缺陷ガアルト思フ、此ノ意味カラ公認競馬ダケヲ廢止セズシテ、地方競馬ノミヲ廢止シタト云フノハ、確ニ無理ガアルト思フノデアリマスガ、當局ハ飽マデ此ノ地方競馬ノ廢止ヲ其ノ儘ニシテ、何處マデモ復活シナイト云フ御意思デ居ラツシヤルカ、色々今マデ説明ガアツタヤウデスケレドモ、私ハ此ノ優勝馬ノ鍛鍊競技會以外ニ何トカ名稱ヲ付ケテ、例ヘバ軍馬鍛鍊場ト云フヤウナ名稱ノ下ニ、地方競馬ハ成タケ之ヲ廢止シナイヤウナ御工夫ハナキモノカ、此ノ點ニ付テ此ノ際今一應御説明ヲ御願スル次第デアリマス

○荷見政府委員 今回ノ軍馬資源保護法ノ

制定ニ伴ヒマス鍛鍊馬競争ノ制度ノ新設、竝ニソレニ伴フ地方競馬ノ廢止ニ付キ

マシテハ、是マデモ數回申上ゲマシタヤウニ、大體地方競馬ニ付キマシテハ從來ノ經過ニ鑑ミマシテ相當ノ貢獻モアリマスシ、又一面ノ見方ニ依リマスト非難ヲ受クベキ點モアルノデアリマス、之ヲ整理致シマシテ鍛鍊馬競走ニ統制致シマスコトガ、今回ノ馬政計畫全般ノ施行上適當ナリト認メマシテ、御提案ヲ致シタ次第デアリマスカラ、私共ト致シマシテハ地方競馬ハ之ヲ廢止スベキモノト斯様ニ考ヘテ居リマス、唯今御話ノ田舎デ馬ヲ集メテ競技スルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ優勝馬投票券ト云フヤウナモノヲ伴ヒマセヌ單ナル鍛鍊競技デアリマスレバ、之ヲ施行スルコトハ差支ナイノデアリマスカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○永田委員 私ハ地方競馬ノ廢止ト鍛鍊競技場ノ問題トハ、離ルベカラザルモノガアルト思フノデアリマス、之ヲ北海道ダケヲ三ニシテ他ノ府縣ヲ皆畫一的ニ一ツニサレタ、コ、ニ私ハ無理ガ生ズルト思フ、中等學校程度ノ獸醫科ヲ全部廢止シテ高等專門ニシタ、是モ無理ガアル、地方競馬ヲ全部廢止シテ一縣一箇所ノ優勝馬ノ競技鍛鍊場ヲ置ケバ宜イト云フ案ハ、其ノ意味カラ言フト机上ノ一ツノ空論ニナル傾向ガアル、

是ハ能ク地方ノ實情ヲ御調査ニナツテ、吾々地方民ノ實情モ斟酌サレヌト、實際御實施ノ際ニハ無理ガ生ズル、田舎ノ百姓トカ農民ハ法律ガ出來テカラ初メテ之ヲ怨ムガ、其ノ時ハモウ仕方ガナイ、ソコデ之ヲ考ヘテ見マス、北海道ハ無論澤山ノ馬ヲ産シマスカラ三箇所アルノハ御尤デアリマス、ダガ或ル地方ニ於テハ一縣一箇所デハイカヌ所ガアル、皆様方ハナニ、ソレハ地方ノ聯合組合長ガ皆來テ贊成シテ居ルト仰シヤルカモ知レヌ、聯合組合長モ俄ニ上京シテ色色ヤツタ場合ニハ多少誤解ヲシタリ、或ハ間違ヒガナイトモ限ラヌ、斯ウ云フ點カラ考ヘテ、ヤハリ私共地方ノ實情モ申上ゲナイトイカヌト思ヒマスガ、鹿兒島縣ノ如キハ大隅、薩摩ト云フ二半島デ出來テ居ル、元薩摩ニハ薩摩半島ノ谷山ニ軍馬補充部ガアツテ、是ガ廢止サレタ、サウシテ今大隅半島ニハ競馬場ガアル、ドチラガ馬ガ多イカト云ヘバ大隅ガ多イ、其ノ大隅ノ方ニハ優勝馬ノ鍛鍊場ヲ置カナイ、之ヲ行政官廳ノ都合ノ好イ鹿兒島市ニ置イタ場合、鹿兒島市ノ競馬場ガ鍛鍊場ニナツタ場合、馬ノ産地ノ大隅ノ人ハ佐多岬カラ始良郡ヲグルツト廻ツテ、馬ヲ曳イテ行カナケレバナラヌ、私共ノ馬ハ海ヲ能ク泳ギマスガ、船デ

搬ブノニハ大變骨ガ折レル、サウ云フ點ヲ實際ヤツテ見ルト私ハ確ニ無理ガ生ズルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ハマダ痒イ所ニ手ノ届カヌヤウナ感ジガスルノデアリマス、北海道ヲ三ニシテ府縣ハ全部一律一箇所ニスルト云フ所ニ無理ガアル、サウスレバ公認競馬モ全然廢止スルガ宜シイ、公認競馬ヲヤラセテ、吾々農村ニノミ不便ヲサセテ、ソレヲ平氣デ見テ居ルト云フノハ、軍部ノ立場カラ見テモ御親切ナルヤリ方デハナイト思フ、殊ニ色々東北ノ方カラ非常ニ適切ナル御質問ガアリマシタガ、軍部トサレマシテモ、農林省トサレマシテモ、此ノ產馬方面ニ付テ南九州ニ對シテ少シ御注意ガ拔ケテ居リハセヌカト思フ、吾々ノ地方ハ一面カラ云フト、戰爭ガアル場合ニハ六師團バカリデハナイ、四國ノ馬マデ鹿兒島縣、宮崎縣ハ擔當シテ居ル、サウシテ三四回ノ徵發ニモ能ク面倒ヲ見テ居ル、併シソレモ國家ノ爲デアルトオ五ハ欣ンデ之ニ從事シテ居ル、固ヨリ吾々ノ地方ハ昔カラ尙武心ノ強い、軍人ノ多イ所デアルカラ、ドンナ御無理ガアツテモ不平ハ申シマセヌ、ケレドモ其ノ民ノ心ノ苦シイ所ヲ、上ニ立ツ人ハ察シテヤルダケノ親切味ガナクテハ、イカヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味

デアリマスカラ、私共ハ北海道ヲ除イター縣一箇所ノ鍛鍊馬ト云フノニ、非常ナ不服ヲ感ズル者デアリマス、殊ニ南九州鹿兒島ノ如キハ一層甚シイ大苦痛ヲシテ居ルト云フコトヲ申上ゲタイ、是等ニ付テ當局ノ見解ト私共ハ多少違ツタ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、少クトモ斯ウ云フコトハ唯一時ノ聞棄テニシテ置クベキコトデハナイト思フ、現ニ私共ノ地方デハ此ノ二回ニ互ル六師團ト十一師團ノ徵發ガ數回行ハレタ爲ニ、村長ノ代リニ行ツタ助役ガ發病シテ死ンダ例モアリ、尙ホ四國ノ邊ニ行ツテ馬ニ蹴ラレテ死ンダ例モアリ、其ノ他色々病氣ニナツタ町村役場ノ吏員ナドモ多イ、隨分是ハ國家ノ爲ニ貢獻シテ居ツタト思フ、ダカラスウ云フ所ニハ相當ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、現ニ歴史ヲ申上ゲマスナラバ、鹿兒島縣ノ大隅半島デハ、島津藩時代ニハ鹿屋町ニ五百町歩ノ牧場ガアツタ、ソレハ今町有ニナツテ居ルガ、藩政時代ニハ牧場ガアツテ、畜産ニハ藩公モ非常ニ全力ヲ傾注シテ御獎勵ニナツタ、尙ホ其ノ頃ハ一年ニ一回勇壯ヲオ祭ガアツタ、其處ヘハ婦人マデモ馬ニ乗ツテ見ニ行ク、男女揃ウテ馬事獎勵ヲ盛ンニヤラレタ美風ノアツタ所デアアル、御維新ニナツテモ早馬ト云フモ

ノガアツテ、馬ヲ乗廻シタモノデアル、昔ノ斯ウ云フ有名ナ歴史ノアツタ所ヲ葬リ、明治ノ時代ニナツテモ一時薩摩半島ノ谷山ニアツタ軍馬補充部ヲ軍ハ廢止サレテシマツタ、私ハ此ノ軍馬補充部ヲ廢止サレタノモ大變怪シカラスト思フ、斯ウ云フ馬産ノ多イ鹿兒島縣ニ、軍馬補充部ガ一ツモナイ、唯國立ノ種馬所ガ大隅ニ一箇所アルダケデアル、斯ウ云フコトヲ考ヘテモ農林省ヤ軍部ハ、アノ南九州唯一ノ産馬地ニ對スル國家的施設ガ足ラスト思フノデアル、宮崎縣ニハ軍馬補充部ガ二ツモアル、併シ鹿兒島縣ヨリハ産馬數ガ少イ、一番産馬數ノ多イ鹿兒島縣ニハ何モナイ、茲ニ私ハ非常ニ不滿ヲ感ズル一人デアル、斯ウ云フコトニハ特ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ此ノ機會ニ申上ゲタイノハ、馬ノ年々減少シテ行ク原因デアリマス、之ニ付テハ吾モ多少聞イタコトモアルノデアリマスケレドモ、此ノ減少シテ行クコトニ向ツテ當局ハ國防上ノ見地其ノ他カラ心配サレ、斯ウ云フ大キナ馬産計畫ヲ立テタモノト思フガ、此ノ馬産ノ減少ニ付テ、其ノ原因ノ主ナルモノヲ此ノ機會ニ御説明ヲ伺ツテカラ、又改メテ御伺シタイト思フノデアリマス、質問ノ要點ガ分ラナケレバモウ一度申上ゲ

マス、此ノ馬産減少ノ傾向ハ出來ルナラバ數字的ニ言ウテ戴イタ方ガ分リ易イ、例ヘバ十年毎ニ切ツテ、今カラ十年前ニハ全國ニ此ノ位馬ガアツタ、二十年前ニハ此ノ位、現在ハ此ノ位、斯ウ云フヤウニ十年ヲ一期トシテ三段位ニ説明シテ下サレバ結構デアリマス、其ノ頭數ノ概略ト、ソレカラ斯ウ云フ譯デ減少シテ行クト云フ原因ノ主ナルモノヲ二三言ツテ戴ケバ、結構デアリマス

○伊藤政府委員 農林省デ調べ統計ニ舉ゲテアルノヲ申シマスレバ、昭和十一年ハ百四十三万一千頭、其ノ五年前ノ昭和七年ハ百五十四万一千頭、其ノ五年前ハ減ツテ居リマシテ百四十九万四千頭、其ノ前ノ大正十一年ハ百五十八万五千頭、大體斯様ナ趨勢ニナツテ居ルノデアリマス、馬ノ減少シタ原因ハドウデアアルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ各縣ニ依リマシテモ相當違フト思ヒマスノデ、簡單ニハ此處デ申上兼ネルト思ヒマス

○永田委員 此ノ減少ノ原因ガ簡單ニ申上ゲラレナイト言ハレルガ、私ハサウ澤山ハ聽イテ居リマセス、最モ主要ナルモノダケハ御承知ニナルデアラウト思フ、ソレヲ減少セヌヤウニ對策ヲ講ズル所ニ、當局ノ御苦心ガアルノデハナイカ、是ハ大事ナ點

デスカラ一二ハ種明カシヲシテ戴キタイ

○荷見政府委員 馬ノ總數ノ減少シタ原因ハ何デアアルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ御質問ニナル方ノ方ガ能ク御承知カモ知ラント思ヒマス、私共カラ見マス原因ハ非常ニ複雑デアリマシテ、各地方々々ノ經濟事情ニ因ルノデアリマセウカラ、生半可ナ却テ御惑ヒニナルヤウナコトヲ申上ゲルヨリハ、アナタ方ノ御判斷ニ御任セシタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○永田委員 私ハ親切ニ申上ゲマスガ、ソレデハ國民ハ不滿ニ思ヒマスゾ、斯ウ云フ大事ナ馬産計畫ヲ爲サルニハ、何故ニ馬ガ減ツテ行クカト云フ原因ガ分ラナケレバナラナイ、ソコデ私ハ馬匹ノ衛生ノコトヲ申シマシタガ、ソレニ對シテ流産ガ多イトモ仰シヤツタデアリマセスカ、澤山流産ヲスルナラバ、馬ノ衛生ニ關スル教育ノ方面、或ハ馬ノ醫者ノ足ラスコト、斯ウ云フ人間ノ方ニ對シテモ考慮ヲ拂ツテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ減少スル原因ハ所謂農村ノ工業化デアアル、是ハドウシテモ馬ハ今日運搬力ニ於テ自動車ヤ「トラック」ニ勝テル譯ハナイ、サウ云フ點カラ考ヘテモ今日日本ノ國ガ段々道路ガ開ケ、汽車、自動車「トラック」ガ走ルヤウニナレバ、斯ウ云

フモノト馬ガ競走出來ナイコトハ分ツテ居ル、其ノ他ニモ色々原因ハアルガ、主ナル原因ハ馬ヲ飼ツテモ引合ハナイ、儲ケガ少イ、今ノ百姓ハ馬鹿デハアリマセヌ、儲カルコトナラバ當局ガ獎勵シナイデモヤル、儲ケガ少イカラ馬ガ減ツテ行ク、私共ハ能ク知ツテ居ル、又馬ヨリモ近頃ハ牛ノ方ガ非常ニ宜イ、私共ノ地方デハ皆早イ馬ヨリモ遲イ牛ニ乗換ヘテ居ル、是ハ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ骨ト肉ノ問題デアアル、昔支那ニハ伯樂ト云フ偉イ博勞ガアツテ、死馬ノ骨ヲ千金デ買フタト云フ話モアルガ、馬ハ骨ヲ主トシナケレバナラヌガ、馬ノ骨ガ安イ、肉ノ問題カラ言ヘバ牛肉ノ方ガ高イ、私ハ此ノ間新橋ニ行ツテ牛肉ヲ買ツタガ、牛肉ノ一斤ハ百匁デアルト云フコトデアツタ、吾々ノ田舎デハ百六十匁ガ一斤デアアル、然ルニ東京デハ百匁一斤ダト云フ、幾ラデスカト聞クト二圓ダト言ハレテビツクリシタ、牛肉百匁二圓ナリト云フ状態デアリマスカラ、牛ノ仔ガ値ガ良イ筈デアリマス、ダカラ牛ノ仔ハドン／＼早く賣レテシマフ、而モ馬ト鹿ハ一年ニ一回シカ交尾シマセヌガ、牛ト云フモノハ時期ヲ嫌ハズ交尾スル、サウシテハハ早イ、而モ飼料モ馬ノヤウニ難シクナイ、又男デモ女デモ容易ニ飼ヘル、

サウ云フ農村ノ實際生活カラ考ヘテ、牛ノ方ガ馬ヨリ早く金ニナル、馬ハ近頃ハ陸軍ノ方デモ高く買ツテ戴ケマスガ、大體馬ガ三百圓四百圓ト云フノハ間違ヒダ、五百圓六百圓モシナケレバナラス、種馬ハ五千圓一万圓モシナケレバナラス、外國カラ種馬ヲ買フト一万圓モ二萬圓モ出サナケレバナラス、斯ウ云フ結果カラ日本ノ普通ノ馬モ、モット高價デナケレバナラスト思フ、斯ウ云フ點カラ言ツテ、私ハ結論ハドウシテモ軍馬ハ高く買ツテ賞ハナケレバナラスト思フ、牛ガ近頃デハ値ガ上リ、蕃殖モシ、都合ガ好イカラ、馬カラ牛ヘ乗り替ヘタコトモ、此ノ馬産減少ノ主ナル原因デナイカト思ヒマス、斯ウ云フ點ヲ當局ハモット熱心ニ御研究シテ戴カスト、折角斯ウ云フ立派ナ計畫ヲ御立テナツテモ、亦ゾロソコニ落度ガアリハセヌカト思ヒマス、當局ハ此ノ間ノ御説明ニ依リマスト、是ハ一定不變ノモノデアル、是ハ天孫降臨ノ御神勅ト同ジヤウニ萬代不易デアル、不動ノモノダト大キナ聲デ此ノ委員會言ハレタノデビツクリシタ、成程御精神ハ御不動デセウケレドモ、計畫ト云フモノハドノ政府ガナサツタ仕事モ、計畫ト實際トハ違ヒガアル、又計畫ト云フモノハ船ト同ジヤウニ、ソコニ

多少ノ變更ト云フコトガナケレバナラス、今日ドンノ戦争シテ行クデヤアリマセヌカ、海南島モ取ツタ場合ニ、日本ト滿洲ト朝鮮ノコトバカリ考ヘテ居ツテハイカヌコトハ分ツテ居ル、南ノ方ニモ進出シナケレバナラス、サウ云フ點カラ言ヘバ今日はトシタコトモ、明日ハ之ヲ改廢シナケレバナラスト云フコトガ、今日ノ事態デアリマス、斯ウ云フ事態ニ善處スルト云フコトガ政治ノ所謂妙デアル、其ノ邊ヲ顧ミナイデ、唯千遍一律ニヤツテ行カレテハ誰ガ迷惑スルカ、迷惑スルモノハ國民デアル、此ノ立場カラ考ヘマシタ場合、私ハ此ノ馬産減少ニ付テハ當局ノ方モ、モット御研究シテ戴イテ、サウシテ吾々農村ガ迷惑ヲ被ラヌヤウニ工夫サレタイト云フコトヲ希望スルモノデアルガ、此ノ馬産減少ヲ防グ爲ニ、今回ノ計畫ヲ御立テナツテ、サウシテ補助金等ニ依ツテノミ此ノ減少ガ防止サレルト御考デアリマスカ、或ハ之ヲ何トカ考ヘナケレバナラスト云フコトニ善處サレル覺悟ガアルカドウカ、其ノ點ヲハッキリ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 馬ノ減少ノ原因ニ付キマシテハ、只今御話ノヤウナコトモ一ツノ原因ト思ヒマス、尙ホ今回ノ馬政計畫ノ目的ヲ達シマスル爲ニ、補助金ノミデ是ガ出來ルカト云フ御話ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、補助金ノミデハナイノデアリマシテ、再々御説明ヲ申上ゲテ居リマヌヤウニ、或ハ制度ト致シマシテノ種牡馬統制ノヤウナモノ、或ハ牧野ノ整備ノ問題、或ハ馬ノ衛生ニ關シマスル問題、其ノ外生産ニ必要ナル種牡馬等ニ對スル助成補助施設ノ問題、或ハ先程御質問ノアリマシタヤウナ、之ニ對スル資金ノ融通ノ問題、或ハ最モ大切ナル馬ノ飼養ノ獎勵ノ問題、其ノ他舉ゲマヌレバ幾ツモアルト思フノデアリマス、主ナモノダケヲ申上ゲマシテモ、只今申上ゲマシタヤウナ程度ニナルノデアリマシテ、馬政ニ關スル各般ノ施設ガ相綜合統一サレマシテ、茲ニ馬政計畫ノ目的ヲ達成スルト云フコトニナルノダラウト思ヒマス、最初ニ申上ゲマシタヤウニ、昭和十四年ヨリ二十年度マデヲ馬政計畫ノ實施要領ノ第一期ト致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ情勢ニ依リマシテハ此ノ計畫實施要領ヲ、將來幾分變更スル必要ガアルカト思フノデアリマス、此ノ要領ノ方ハ二十年マデヲ一期ト致シテ居リマス、内地馬政計畫ニ於キマシテハ、是ハ期限ヲ附スベキモノデアリマセヌカラ、期限ヲ附サズニ恒久的ニ實行スルト云フコトハ、先刻申上ゲテ居ルノデアリマス、先

般確固不動ト申シタノモ、要スルニ内地馬政計畫ノ方針デアリマシテ、實施要領ハ御手許ニ差上ゲマシタ書面ノ中ニ、昭和十四年ヨリ二十年マデ實施計畫期ト致スト云フコトハ書イテアルノデアリマス、ソコハ御諒承ヲ願ヒマス

○永田委員 ソレデハモウ其ノ減少ノ原因ハ是デ打切リマシテ、次ニ軍馬補充ノコトヲ——是ハ軍部ノコトニ關係ガアルコトデアリマスカラ、此ノ際伺ツテ置キタイト思ヒマス、軍馬ノ補充ヲ日本内地ヤ支那方面、ソレカラ滿洲、朝鮮、斯ウ云フ所マデモ含メテ、一體今何箇所位アリマスカ、尙ホ又出張所ノ數ハドノ位カ、軍隊ノ祕密ノコトガアルカモ知レマセヌガ、馬ノ頭數ハ一箇所ニ何頭位アルカ、總數デモ宜イ、之ニ使ハレテ居ル人員、兵士ノ待遇、ソレガ第一ノ質問、ソレカラ其ノ次ニハ明治時代ニナツテ補充部ガ設ケラレテカラ、今マデノ中ニ廢止サレタノガアリハセヌカト思フノデアリマス、ソレハ何箇所位デアリマスカ、又新ニ新設サレタモノガナキヤ否ヤ、或ハ又増設トカ擴張ノ必要ハ如何認メラレテ居ルカト云フコトニ付テ、御尋致シタイト思ヒマス

○栗林政府委員 軍馬補充部ノ數ハ現在八

箇所アリマス、唯使用人員トカ經費トカ云フモノハ、只今此處デ即答致シ兼ねマス、廢止致サレマシタモノハ從來ニ箇所アルト記憶致シテ居リマス、併シ一方ニ於キマシテ新設致シマシタモノガ一箇所アリマス

○永田委員 ソレデ結構デス、外ノ數字ハ宜シウゴザイマス、私ハ今度ノ此ノ馬政計畫ニ付キマシテ、軍部トシテハ軍馬補充部ニ重點ヲ置カレナカツタコトヲ大變遺憾ニ思ヒマス、戰爭ヲスレバ馬ガ要ルノデアリマスカラ、平生ヨリ多少ノ御用意ハ爲サラナケレバナラス、今度ノ計畫ハ、是ハ實際實施サレマス、餘程地方ニハ馬ノ飼育ニ困ル點ガ多々アルダラウト思フノデアリマス、是ハオ五ニ國防ノ爲ニハ有ユル困難ヲ此ノ際忍ビマスケレドモ、將來此ノ計畫ヲヤツテ行クノニハ、皆様モ御心配セウガ、受身ノ吾々農村ニ於テモ非常ニ困難ナ事柄ダト思フノデアリマス、私ハ此ノ點カラ考ヘテ、軍自ラモ少シ考フ變ヘテ貰ハナケレバナラスト思フコトハ、此ノ軍馬補充部ノ如キハ、從來モツト此ノ内容ヲ研究調査シマシタナラバ、何カソコニ改善ノ必要ガアリハシナカツタカ、又或ハ擴張ノ必要ガアリハシナカツタカト思フノデアリマス、ソコデ今御話ノ二箇所廢止シタト云フノハ、私ハ察シマス、其

ノ時期ハ恐ラク軍縮當時ノ、アノ三箇師團廢止當時ノ前後デハナイカト思フ、又新シク一ツ設ケラレタト云フノハ、朝鮮ノ雄基デハナイカト思ヒマスガ、我ガ鹿兒島縣ノ如キハ、從來補充部ガアツタガ、ソレヲ廢止セラレテ居ル、是ハ其ノ場所ガ惡イノナラバ、薩摩デ惡カツタ大隅モ廣イ所ガアルノデアルカラ、其處ニ補充部ヲ造ツテ戴ケバ宜イ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、私モ餘リ軍馬補充部ハ地方デ歡迎シテ居ラスト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、私ハ率直ニ申上ゲマスガ、私共ノ地方ナラバ喜ンデ、町村デモ郡デモ縣デモ之ヲ歡迎シテ居ル、是ハ決シテ質問デヤアリマセヌ、質問ト御考ニナツテハ間違デス、私ハドチラカト云フト大變馬ニ惚レテ居ル、ソレデアノ邊マデ行クト大分隅ダカラ、當局ガ御分リニナラスカモ分ラヌカラ申上ゲテ置クノデアリマスガ、サウ云フ意味カラ、モツト此ノ軍馬補充部ニ對シテハ擴張ノ必要ト、尙ホ新ニ増設ノ必要ガアラウト思フノデアリマスガ、之ニ對スル軍ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○栗林説明員 御承知ノ如ク陸軍ノ軍馬補充ノ方法ト致シマシテハ、幼駒カラ育成ヲ

致シマス所ノ補充ノ方法ト、壯馬ヲ購買致シマシテ直接補充致ス方法ト、二通りアルノデアリマス、生産家ヲ保護致ス意味合ト、ソレカラモウ一ツハ眞ニガツチリシタ馬ヲ造リ上ゲルト云フ意味合ニ於キマシテ、幼駒カラ育成致シマスモノガ一番適當デアアルデアリマス、隨ヒマシテ軍馬補充部ヲ擴張スルト云フコトガ、軍ノ編制ガ擴張スルニ隨ヒマシテ、當然起ツテ來ル所ノ問題デアルト考ヘマス、サウ云フヤウナ關係カラ、先程申上ゲマシタ新設ノ一ツノ支部ト申シマスノハ雄基デハナイノデアリマシテ、北海道ニ一ツ新設致シタノデアリマス、尙ホ現在兵備ガ段々ト増強致サレマス、數字のカラ申シマシテモ多少軍馬補充ナルモノノ數ヲ、増加シナケレバナナイト云フヤウナ形勢ニハ相成リマス、併シ現在御承知ノ如ク非常ニ軍事實費等モ各方面ニ使ハナケレバナナイノデ、單ニ軍馬補充部ノ擴張ト云フ方面ニダケ使フト云フコトハ出來ナイ狀態デアリマス、補充ノ方法トシテハ最モ適切ナル方法デアリマス、ケレドモ、他ニ壯馬ヲ以テ補充スルト云フ方法モアリマスカラ、暫クノ間ハ壯馬補充ノ方法ニ依リマシテ、逐次軍馬補充部ノ擴張ニ依リマシテ、幼駒カラ補充スルト云フ方法モ考ヘ

テ見タイト思ツテ居リマスガ、差當リノ問題トシテハ昨日モ申上ゲマシタ通り、他ニ多方面ニ使ハナケレバナナイ經費ヲ此ノ方面ニ振向ケルト云フコトハ、出來ナイ狀態ニアリマス、新ニ軍馬補充部ノ支部ヲ増設スルト云フ考ハ今ノ所ハナイノデアリマス、尙ホ軍馬補充部ノ位置ニ付デデアリマスガ、是ハ色々様子ヲ考ヘテ決メラレルノデアリマシテ、某地方ニ於テ歡迎スルトカ、歡迎シナイトカト云フコトハ、勿論一ツノ要素デハアリマセウケレドモ、是ハマアボンノ參考ノモノデアリマシテ、實際ノ問題ト致シマシテハ、其ノ方面ノ馬ノ數トカ或ハ育成狀況ニ適スルヤ否ヤト云フヤウナコトガ、主ナル問題トシテ考ヘラレルト思フノデアリマス

○永田委員 吾々ハ自分ノ所ニ造ツテ呉ルト、サウ云フ皮肉ナ運動ガマシイ意味デ言ツタノデハナイノデアリマス、ケレドモ、先程仰ツシヤツタヤウニ熱モアルシ、馬ノ數ニ於テモ一番多イ、此處ニハ昔アツタノデアリカラ、アツタノヲ私ハ復活サレテハドウカト云フコトヲ言ツタマデデ、何モ今マデサウ云フ馬ニナツトモ關係ノナイ所ニ、新シク軍馬補充部ヲ造ツテ呉レト云フ、ソナ飄箆カラ駒ヲ出サウナ質問ヲシタノ

デハナイノデ、實際ニ即シタ點ニ於テ質問ヲシタ譯デア、軍全體ノ考カラ見テ、他ノ飛行機ノ方面デモ新シクドシノ費用ヲ要求シテ居ル、斯ウ云フ大キナ計畫ヲサレルナラバ、ナゼ馬ニ關係ノアル方モドシノ軍ノ首腦機關ニ之ヲ熱烈ニ要求セラレテ行カナイノカ、大藏省方面ニモ熱烈ナ御交渉ヲ爲サツテ、サウシテ斯ウ云フ方面ノ事業ハ今マデノ間ニ相當費用ヲ取ラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレ等ガヤハリ昔ノ儘ニナツテ居ツテ、擴張モサレナイデ、寧ロ現狀維持ドコロカ、大變貧弱ナ狀態ニナツテシマツタト云フコトハ私共モ聞イテ居ル、兎ニ角私ハ今度ノ馬政計畫ニ伴フテ補充部ノ方面ハ、内地ニ於テモ相當増設擴張ハ眞面目ヲ發揮スルヤウニ爲サランケレバナラヌト思フ、是ハ親切カラ申上ゲル、ドウモ陸軍ノ方ハ餘リ正直過ギルト私ハ思フ、私ハ海軍ト陸軍ト兩方研究シテ居ルノデスガ、トテモ陸軍ハ——是ハ國家ノ爲ニ有難イ、質素ヲ旨トシテ家デモ何デモ出來ル限リ在ルモノヲ使ツテ戴クコトハ有難イケレドモ、或ル場合ニハ又必要ニ應ジテ、相當ニ新シイ施設ヲ爲サレテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ軍馬補充部ノ如キ

ハ、モツト——マダ日本内地ニ一二箇所位ハ設ケラレテ、サウシテ先程私ノ申上ゲマシタ如ク地方競馬ノ廢止セラレタニ付テ不滿ガアルトカ、ソレ等色々ナ摩擦ヲ取ツテ行クヤウナ、新シイ工風モシテ戴キタイ、斯ウ云フ意味カラ申シタ譯デ、決シテ惡イ意味デ言ツタノデハアリマセヌ、其ノ御考デ多少御研究願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ、此ノ質問ハ是デ打切ツテ置キマス、次ニ飼料ノ問題ニ付テハ、他ノ諸君カラ澤山色々ナ質問ガアリマシタカラ私ハ申上ゲマセヌガ、唯之ニ對シテドウシテモ國有地ヲ開放シナケレバナラヌト云フコトハ皆ノ要求デア、吾々ハドウシテモ之ニ重點ヲ置イテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此ノ開放ノヤリ方ハ手緩イコトデハイカヌト思フ、ドウシテモ之ニハ相當大キナ計畫ヲ立テラレナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、大體牧場ト云フモノハ馬一頭ニ對シテドノ位アツタ宜イノデアリマセウカ、尙ホ又軍馬一日ノ飼料代ハドノ位ニナツテ居ルノデアリマセウカ、是モ此ノ機會ニ一寸御尋シテ置キマス

○荷見政府委員 放牧地ニ付キマシテハ、馬ノ種類、或ハ資質、竝ニ草生ヒノ良否ニ依リマシテ色々ニ差異ガアリマスノデ、一概ニ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、大體一頭ガ百五十日ノ放牧ト豫定致シマシテ、二町六反位ノヤウニ考ヘテ居リマス、尤モ是ハ非常ナ概略ノ話デアリマス

○永田委員 陸軍ノ方ノ御答辯ヲ求メマス——野砲デモ騎兵デモ宜シウゴザイマス、一日ノ飼料代ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○栗林説明員 是ハ時價ニ依ラウト思ヒマスガ、一日概略八十錢デアリマス

○永田委員 大變御丁寧ナ御答辯デ満足致シマシタ、一頭ニ對シテ二町六反歩ト云フ現狀カラ照シマシテ、日本内地ニ百五六十萬頭ノ馬ヲ保有シテ行クニハ、相當ノ官有地ヲ民間ニ貸下若クハ拂下ナケレバナラヌト思フデアリマス、此ノ點ニ付テハ農林大臣モ度々善處スルト云フヤウナ御答辯ガアリマシタガ、是ハ此ノ際餘程思切ツテ地方ニ貸下ラシナケレバイカヌ、或ハ拂下ラシテ行カナケレバ此ノ問題ノ解決ハ出來ヌト思フノデアリマス、是ハドナタカラモ質問ガアツタヤウニ、大體放牧地ガナクテハイカヌシ、又秣ガナクテハイカヌ、其ノ飼料ガ大變高イト云フコトガ非常ニ困ル點デアリマスカラ、是ハドウシテモ結論ハ國有地ノ開放ト云フコトニ、押進メテ行カナケレバナラヌカト思フノデ

アリマス、ソレデ農林省自ラモ此ノ國有地ノ開放ト云フコトニ向ツテハ、吾々ハ多年長イ間要求シテ來タノデアルカラ、此ノ機會ニ之ヲ大英斷ヲ以テ善處サレナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ點ハ度々御答辯ガアツタノデアリマスカラ、敢テ農林大臣ニ御答辯ハ求メマセヌガ、吾々ハ左様ニ熱望スルト云フコトヲ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマシテ、此ノ點ニ對スル質問ハ是デ止メマス、次ニ普通鍛鍊ト鍛鍊馬ノコトニ付テ今マデ皆御聽キニナツテ居ルノデスガ、其ノ中デ私一寸分ラヌ點ガアリマスカラ、大變諄イヤウデアリマスガ、此ノ際ニ御尋致シテ置キマス、普通鍛鍊ヲ月ニ二回ト致シマスト一年ニ二十四回デスガ、之ニ對シテ曳手ノ手數料トシテ三十五錢ヲ支給スル、又旅費ヲ出ス、一人ニ對シテ五錢トカ御支給ガアルト云フヤウナコトヲ承ツタノデスガ、此ノ點ハ當局トシテハ、農林省トシテモ軍部トシマシテモ、農民ノ立場ニ大變御同情ヲ賜ツテヤツテ戴イテ居リマスカラ、吾々有難ク思フ次第デアリマスケレドモ、本當ノ所ノ農民ノ苦痛ヲ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマスガ、大キナ聲デハ言ヘマセヌガ、是デハ農家ハ心中ニ不滿ヲ感ジハシナイカト思フノデアリマス、ソレハ如何

ナル理由デアルカヲ一例ヲ擧ゲテ申上ゲマ
スト、他ノ地方ノコトハ知リマセスガ、吾
吾ノ地方ノ鹿兒島縣ニ於キマシテ、馬力デ
ゴザイマス、馬ト人間ガ一日ドノ位稼イデ
居ルカ、是ハ荷馬車一臺ヲ持つテ馬一匹デ
家内ガ生活ヲシテ居ル、ソレガドノ位稼グ
カト申シマス、今頃デハ一日三圓五十錢
カラ五圓稼ガナクテハ一家ガ維持シテ行ケ
ナイ、ソレハ高イデヤナイカト御考ニナル
カモ知レヌケレドモ事實ナンデス、サウ云
フ譯デ三圓五十錢ハ外レナク稼ガナクテハ
ナラヌ状態ニナツテ居ル、サウシマス、一
年間ニ二十四回モ此ノ普通鍛鍊ノ爲ニ曳出
サレマス、二十四日ハドウシテモ馬ト人
ト兩方休マナクテハナラヌ、ソレニ三十五
錢ノ手数料ト五錢ノ旅費トデ四十錢貰ツテ
モ、三圓五十錢取ル人ハ三圓十錢ト云フモ
ノハ所謂御寄附デアル、サウ云フ状態ニナ
ツテハ三十七圓一年ニ補助ヲ貰ツテモ、差
引勘定ハヤハリ農家ニハマダ損失ニナリハ
セヌカト云フヤウナ見解ヲ持つテ居ルノデ
アリマス、是ガ一年ニ二十四回出テ行カナ
ケレバナラヌノデアリマスガ、尙ホ此ノ外
ニ或ハ馬匹検査トカ或ハ又豫防注射ヲヤル
トカ、色々馬ノ關係デ二十四回以外ニ、五
日ヤ一週間ハ呼出サレハセヌカト私ハ思フ

ノデアリマス、サウ云フ日數等モ加ヘマス
ト相當ナ金額ニ上リハセヌカト思フノデア
リマス、此ノ點ニ付テ三十五錢ト五錢ト云
フノハ先ヅ今ノ計畫デハアリマスガ、將來
之ニ對シテ實施ノ上、モツト困ツタナラバ
善處スルト云フ御意思ガアルヤ否ヤ、少シ
早イカモ知レヌケレドモ、是ハ聽イテ置カ
スト後デ心配デスカラ、此ノ際御尋シテ置
キマス

○荷見政府委員

只今御話ノ今回ノ豫算デ
アリマスガ、三十五錢トカ五錢トカ三十七
圓トカ云フ分ハ私共ト致シマシテモ前ニモ
申上ゲマシタヤウニ、決シテ十分ナリトハ
考ヘテ居ラナイノデアリマス、本年度ニ於
テモ出來得レバ何程カ餘計ニ増加致シタイ
希望ヲ持つテ居ツタノデアリマスガ、財政
ノ都合上此ノ程度ニナツテ居ル譯デアリマ
ス、將來モ可能ナル範圍内ニ於テハ、出來
得ル限り増加致シタイト云フ希望ヲ持つテ
居ル次第デアリマス

○永田委員

サウ云フ希望ヲ持つテ居ラレ
レバ結構デゴザイマス、是デ其ノ方面ノ質
問ハ打切りマス、次ニ鍛鍊馬ノコトニ付テ、
モウ一ツ御尋致シテ置キマス、是ハ先ニモ
一寸御話致シマシタケレドモ、北海道ヲ除
ケテ他ハ一縣一箇所ト云フコトニナルト、

ドウモ一箇所ニ入ツタモノハ宜イケレド
モ、先刻申シマシタヤウニ入ラス地方ハ、
大變困ルト思ヒマス、ソレハ普通鍛鍊トカ
何カ他ノ方法デ行カシテヤルト云フソコニ
一ツノ希望ヲ捉ヘ得レバ、大變安心ダケレ
ドモ、サウデナイト非常ニ困ル、ソレデ私
ハ何カ軍ノ方デ優等馬ヲ曳出ス——競技ノ
鍛鍊馬ハ無論一縣ニ一箇所トシテモ、大變
馬ノ頭數ノ多イ北海道ヲ除ケタ福島、岩手
ト云フヤウナ所ハ、全國デモ三四位ニアル
ノデアリマシテ、斯ウ云フ七万頭、八万頭
ノ馬ヲ持つテ居ルヤウナ縣ニ向ツテハ、三箇
所カラ直グ一箇所ニト云フヤウナ窮屈ナコ
トニサレヌヤウニシテ、例ヘバ五万頭、八
万頭、十萬頭ニ近イヤウナ馬産縣ニハ、二
箇所ヲ置クコトヲ得トカ云フ風ニ、特ニ今
少シ裕トリノアルヤウナ方法ヲ採ツテ戴カ
ナケレバ困ルノデアリマス、先程申上ゲマ
シタ私ノ鹿兒島縣ノ如キハ大島、大隅、薩
摩ヲ加ヘマス、距離ニ於テモ百七八十里モ
アル、島モアレバ半島モアル、海ヲ距テデ
集合スルニ大變困ルコトガアルノデアリマ
スカラ、斯ウ云フ特異ナ場所ニハ、北海道
ノアノ廣イ面積ニ御同情賜ルナラバ、日本
ノ南ノ鹿兒島縣ニモ多少吾々人民ノ立場ヲ
軍ノ方デ、御高配願ヘヌモノカト思ウテ居

ル、鍛鍊馬ニ對シテハ馬産力ノ強い地方ニ
ハ、二箇所置クト云フヤウニ法律ノ一部ヲ
修正スルカドウカ、之ニ對シテ當局ハ如何
ナル見解ヲ持つテイラツシヤルカ、俺ノ言
フコトハ一定不動ダ、是ガイヤデモ、議會
ヲ踏ミ潰シテモ、何デモ彼デモ此ノ通りニ
ヤルンダト云フ御考デスカ

○荷見政府委員

鍛鍊馬競走ノ各府縣ノ箇
所數ハ、是マデノ民間ニ於ケル最モ尊重スベ
キ御意見等ヲ參酌致シマシテ、其ノ他關係
ノ各分擔ノ官廳、詰リ風紀取締或ハ射倖心
ノ制壓、或ハ軍馬ノ鍛鍊ト云フヤウナ各方
面ノ擔任者ノ意見ヲ綜合致シマシテ、漸ク
決定致シタノデ、此ノ箇所數ヲ増加致スコ
トハ困難デアルト考ヘテ居リマス、但シ優
等馬投票ヲ伴ヒマセヌ、單ナル鍛鍊競技ヲ
行フコトハ箇所數ノ制限ハナイノデアリマ
シテ、而モ之ニ對シテ若干ノ賞金ヲ出シ得
ルコトニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、ソ
チラノ點デ合フヤウニヤツテ行ケバ宜イト
考ヘテ居リマス

○永田委員

其ノ普通鍛鍊ノ方デ先ヅ救ハ
レルカモ知レマセスガ、ソレヲモツト明瞭
ニ、例ヘバ優勝馬投票ヲヤルノヲ一箇所、
其ノ外ニ場合ニ依ツテハ例ヘバ普通鍛鍊馬
ヲ甲乙ト云フ風ニ分ケテ、兎ニ角折角今マ

デヤツテ來タ地方競馬デアルカラ、ソレヲ廢止シナイデ、地方ノ人々ノ満足ノ出來ルヤウニシテ戴キタイ、此ノ點ニ向ツテ此ノ機會ニ一ツ御高配ヲ願ツテ置キタイ、サウシナイト地方ニ不平ガ起リマス、他ノ地方ハ知ラスガ、鹿兒島縣ノ實際ニ即シタコトヲ申上ゲテ居ルノデ、無理ヲ申上ゲテ居ルノデハアリマセヌ、昨年地方民ガ陳情ニ來マシタガ、昨今ハ又時勢ガ變ツテ居ル、而モ失禮ナ話デスガ、地方ノ聯合會長ハ一人デ水産、煙草、馬産ナドト色々ナコトヲヤツテ居ツテ何モ分ラヌ人ガ多い、勿論中ニハ熱心ナ方モアルデセウガ、サウ云フ何モ分ラヌ人ガ東京ニ來テ陳情シテモ、當局カラハ千篇一律ノコトヲ聽カサレテ來ルダケデアル、而モ其ノ畜産會長ヤ何カハ旅費ヲ貰ツテ上京スルノダカラ、一寸モ困リハセヌガ、實際ニ困ルノハ地方ノ縣民デアリマス、事實地方ニハ今度ノ地方競馬廢止ト云フコトニ對スル不平ノ聲ト云フモノハ非常ニ高い、ソレニ付テサウ云フ何モ分ラヌ人ガ東京ニ寄集ツテ陳情シテモ何ニモナラナイ、勿論中ニハ熱心ナ方モアル、私ハサウ云フ優秀ナ畜産聯合會長ナドニハ大ニ感謝スルノデアリマスガ、中ニハ又隨分間違ツタコトヲ言ツテ居ル人ガナイトモ

限ラヌ、サウ云フ點ニ付テ御當局ノ御注意ガ足ラヌヤウニモ思フ、サウ言フト農林省ノ人ハ失禮ナコトヲ言フト仰シヤルカモ知レヌガ、私共ハ農會長デモ、産業組合長デモ何デモ、頭ノ禿ゲルマデヤツナ來テ、豫算デモ何デモ苦勞シテ來テ居リマス、幾ラ當局ノ言ハレルコトデモ、千ニ一ツノ間違ヒガナイトモ限ラヌ、サウ云フ間違ツタ所ニ皆サンガ氣ヲ付ケテ、泣イテ居ル者ノ手ヲ取ツテ助ケテ下サル所ニ善政ノ芽生ガアルト思フ、之ニハ確ニ不平ガアル、サウ云フ所ニ向ツテハ鍛鍊馬競走ガ一ツデナケレバナラヌナラ、別ニ何トカ軍事鍛鍊馬競走トカ何トカ云フ名稱デモ付ケタモノヲヤラシテ、之ヲ救フト云フヤウナ方法ヲ講ゼラレタイト思ツテ、此ノ質問ヲシタ譯デアリマス、何卒之ニ對シテ善處サレンコトヲ希望シテ置キマス、其ノ箇所數ニ付テハモツト御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ私ハ軍部ノ方ニ馬ニ關係ノアル問題ニ付テ一ツ御尋シテ置キタイト思ヒマス、今朝ノ新聞ニモアリマシタシ、昨夜「ラデオ」デモ聽キマシタガ、將校ノ轉科ノ勅令ガ發布サレタサウデアリマシテ、例ヘバ騎兵科ノ將校ガ輜重ノ方ニ轉科スルトカ、或ハ他ノ方ニ轉科ガ出來ル、是ハ又慥カ馬

ニモ及ボスヤウニ聽キマシタガ、是ハ洵ニ當然ナコトダト思ヒマス、之ニ付キマシテ考ヘタ場合ニ、日本ノ騎兵旅團ノ所在地ニ付テ此ノ際考慮ノ必要ガアルト思ヒマス、殊ニ獨立騎兵旅團ハ現在ニ於テハ慥カ岩手縣ノ盛岡ト東京近郊トシテハ千葉縣ノ習志野ニ二箇旅團、ソレカラ豐橋ニ一箇旅團、斯ウ云フ風ニ四箇旅團アルヤウニ思ツテ居リマスガ、豐橋以南ニハナイ、是ハ今ノ戰爭ノ關係カラ見テモ、亦國防ノ安全ノ點カラ見テモ、關西、九州方面ニ一ツ位ハアツテモ宜イト思フ、斯ウ申シマス、今在ル所ノ人ハ永田ハ怪シカラヌコトヲ言フ、委員會デ騎兵旅團招致ノ運動ヲヤルト御考ニナルカモ知レマセヌガ、サウデハナイ、騎兵旅團ノ在ル所ノ習志野附近ニシテ見テモ、昔ノ騎兵旅團ヲ作ツタ時ニハ大變適當ナ土地デアツタカモ知レナイガ、現在ニ於テハ牛込ノ士官學校ガ座間ニ移ツタリ、或ハ東京ノ小石川ニアツタ砲兵工廠ガ北九州ノ小倉ニ移ツタト云フヤウナ例モアルノデアリマシテ、其ノ跡地ニシテ見テモ決シテ無駄ニハナリマセヌ、例ヘバ從來騎兵旅團ガ在ツタ所ヘハ自動車學校デモ持ツテ行クトカ、或ハ毒瓦斯ノ研究所デモ持ツテ行クトカ云フヤウニスレバ、又新設部隊ガ出來ルノデ

アリマスカラ、東京附近ノ地價ノ高い所ハサウ云フ新兵器ノ方ニ向ケラレテ、騎兵旅團ノ方ハ成ベク田舎ノ方ヘ御向ケニナツタラ如何カト思フノデアリマス、是ハ兵備ノコトデアリマスカラ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、地方ノ人ノ言フコトモヤハリ參考ニシテ戴キタイト思ヒマス、斯ウ云フ點カラ見テ新時代ニ適應スルニハ即チ今日海南島ノ占領トカ、廣東ノ占領トカ、其ノ他臺灣等ノ關係カラ考ヘテ見マシテモ、馬ノ鍛鍊ト云フコトハ、獨リ寒地バカリデハイケナイ、溫熱地帯ニ對シテモ將來鍛鍊ノ必要ガアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味カラ言ヒマスルト、九州方面ニモ相當ノモノノ新設トカ、或ハ他カラ移轉ノ必要モアルカト思フノデアリマス、移轉サレタナ施設ヲシテ戴ケバ、少シモ支障ハナカラウト思ヒマス、尙ホ騎兵ノ使ヒ途ハ今マデ偵察トカ、サウ云フ方面ニ限ラレテ居ツタガ、近頃ハ飛行機ガ流行リ出シテ、騎兵ノ働キ場所ガナクナツタヤウナ氣ガ致シマス、併シ此ノ間當局ノ答辯ヲ聽クト何デモナイ、騎兵ハ騎兵トシテ使フ場所ガアルト答ヘラレマシタガ、騎兵ノ使ヒ場所モ集團的ニ使フヨリハ分散的ニ使フコトガ多クナ

リハシナイカト思フ、騎兵旅團ノ如キハ、或ハ一箇聯隊ツツ別々ニ置イテ然ルベキモノデハナイカト思フ、何レニシテモ騎兵旅團ノ從來ノモノヲ一部移動スルノハ如何ナモノデアリマセウカ、是ハ兵備ニ關係ノコトデアリマスカラ、或ハ御答辯ガナイカモ知レマセヌガ、御參考ノ爲ニ申上ゲマス、尙又此ノ國防安全ノ點カラ見テ、多少斯ウ云フ方面ニ向ツテ御考慮ガアレバ此ノ機會ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○栗林説明員 只今ノ御質問ニ對シマシテハ御答辯ハ差控ヘタイト思ヒマス

○永田委員 ソレデハ御答辯ガナケレバ、茲ニ今一ツ重ネテ御尋シタイ、此ノ騎兵ノ馬ノ用ヒ方ニ於テ、軍隊デハ乘馬用ニ、或ハ騎兵隊、輜重隊ニ用ヒラレル他ニ、野砲ノ輓馬ニ、或ハ工兵、歩兵等ノ山砲ト云フ方面、色々其ノ使ヒ途ハ澤山アルノデアリマスガ、之ヲ一ツニ統一シタ軍馬學校ト云フヤウナモノヲ、地方ニ設ケラレルコトガ必要デハナイカト思フ、是ガ若シ騎兵バカリニナルト、先程モ申上ゲタ通り、其ノ働ク範圍ハ極ク狭イ、私共ハ此ノ間自動車學校ヲ觀察ニ參ツタノデアリマスガ、アノ自動車學校ニ倣ツテ、茲ニ一ツ軍馬學校ト云フヤウナ名目ノ學校ヲ設ケテ、此處デ乘馬

ノ訓練トカ、或ハ野砲ヲ輓ク輓馬ノ訓練、或ハ駄馬ノ訓練等ヲヤツテ、サウシテ先刻申上ゲタヤウニ、兵科ガ自由ニ轉科出來ルヤウニナレバ、騎兵、歩兵、輜重兵、其ノ他ノ戰列ニウマク使ヘルノデハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味カラ將來軍トシテ、自動車學校ト同ジヤウニ、軍馬學校ト云フヤウナモノヲ造ル必要ハナイカ、斯様ナコトヲ申スト、ソシテ餘計ナコトヲト仰シヤルカモ知レマセヌガ、併シ今日時代ノ進運ニ伴ツテ、今マデナカツタ所ノ國防ノ爲ノ施設、例ヘバ飛行隊ヲ作ルトカ、或ハ電信隊ヲ作ルトカ、鐵道隊ヲ作ルトカ、或ハ又自動車學校ヲ造ルトカ、斯様ナモノガドン／＼造ラレテ行ク、斯ウ云フ傾向カラモ、特ニ軍馬ノ方面ニ於テ斯様ナ計畫ヲ立テラレルコトガ必要デハナイカ、軍馬學校——名前ハ何トシテモ宜シイガ、兎ニ角斯ウ云フ學校ヲ地方ニ五ツ六ツ御造リニナツテ、サウシテ其處ヘ新シイ兵隊サンガ入ツテ馬ノ訓練ヲヤルト云フコトニナレバ、ソコニ騎兵デモナケレバ輜重兵デモナイ、歩兵デモナイ、砲兵デモナイ非常ニ何處ヘデモ融通ノ利クヤウナ、結構ナ組織ノモノガ出來ヤシナイカト思フノデアリマス、又軍馬ニ付テハ地方ノ人々ヲ使ツテソレ／＼訓

練シテ居ルノデアリマスガ、今度新シイ兵隊ヲ取ツテオヤリニナルト云フコトニナルト、ソコニ非常ニ元氣モ出テ來テ、氣持モ大變新シクナリハセヌカト思フノデアリマス、更ニ是ハ一面カラ言フト、產馬ノ獎勵ニモナルコトデアリマス、此ノ軍馬學校ヲ將來造ツテ行クト云フコトニ付テ、何カ研究セラレタコトガアリマスカドウカ、御尋シテ見タイト思ヒマス

○栗林説明員 只今ノ點ニ付テ研究ヲシタカト云フコトニ對シマシテハ、御答ハ出來ルト思ヒマス、ソレハ陸軍ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク馬ヲ使ツテ居リマスノハ騎兵バカリデハアリマセヌ、寧ロ使ツテ居リマスノハ砲兵、輜重兵、殊ニ歩兵ガ多イト考ヘマス、騎兵ノ乘馬ノ如キハ、事實全軍ノ馬數カラ言ヒマスレバ一割ニモ足ラナイト考ヘル、ソレデアリマスノズ、馬全部ノ爲ニ特別ニ學校ヲ作ツテ、各兵種共通ノ馬ニ關スル教育ヲシテハドウカト云フコトハ、一應御尤ト存ゼラレマス、併シ其ノ様ナ施設ヲ致シマスニハ、申スマデモナク多額ノ經費ヲ要シマスノデ、差當リノ問題トシテハ、研究ハ出來ナイト思ヒマス、唯御斷リシテ置キマスコトハ、騎兵ハ騎兵、砲兵ハ砲兵、又歩兵ハ歩兵、ソレ／＼ノ實施學校ヲ持ツテ

居リマシテ、其ノ兵科特有ノ性能ニ應ズル馬ノ飼育、管理、乗御、斯ウ云ツタヤウナコトハ、十分其ノ實施學校ニ於テ研究シテ居リマスノデ、各兵綜合ノ馬ノ爲ノ教育ヲヤル學校ト云フモノニ付テハ、特別ニ今差當ツテ必要ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○永田委員 ソレデハ今一ツ……只今一部ノ答辯ガアリマシタガ、軍隊デ徵發馬ヲナサル場合、尙又今ノ軍隊ノ所要ノ馬ノ傾向デアリマスガ、其ノ比例ニ付テ例ヘバ乘馬ト輓馬、ソレカラ歩兵ナドガ使フ、何ト云ヒマスカ小格輓馬ト云ヒマスカ、サウ云フ方面ノ比例ハ約一割ト仰シヤイマシタ、ソレカラ野砲馬ガ先ヅドノ位デアルカ、其ノ他ノ所要ノ比例ノ數字ヲ御示シ願ヘレバ結構ト思フノデアリマス、尙ホ買上規定ニ付テモ騎兵ノ使フ馬ト輓馬ニ使フ馬、小格輓馬等ニ付テ、甲乙丙丁多少價格ニ差ガアルナラバ、其ノ價格ヲ御示シ願ヘレバ結構カト思ヒマス

○栗林説明員 只今ノ御質問デアリマスガ、全般ノ比率關係ヲ申上ゲルト云フコトハ、今回御承知ノ通り機密保護法案モ出來マス關係上——マダ其ノ法案ハ成立ハ致シテ居リマセヌケレドモ、既定ノ問題ト致シマシテ差控ヘタイト思ヒマス

○永田委員 ソレデハ餘リ無理ナ御尋ラシテモ御迷惑ト思ヒマスカラ差控ヘマスガ、今マデ度々他ノ議員ノ方カラモ色々質問サレ、ソレガ大事ナ所ニ入ルト御答辯ガナイノデ行詰ツテ居リマスガ、何カ適當ナ機會ニ極ク簡單ナ時間デモ宜イノデスガ、祕密會デ之ヲ御説明ヲ願ヘル機會ヲ一ツ作ツテ戴クコトヲ希望スル譯デアリマスガ、如何デアリマスカ

○大石委員長代理 デハ適當ナ時機ニ一ツ……

○永田委員 サウ云フ風ニ願ツテ置キタイト思ヒマス——ソレデハ最後ニ、此ノ間農林大臣ト陸軍方面トノ御答辯ヲ綜合シテ聽イテ參リマス、兎ニ角今回ノ案ハ、國防ト産業ノ兩全主義デヤツテ居ルト云フ御答辯デアリマシタガ、是ハ御尤ナ御答辯ト思ヒマスケレドモ、併シ私共ハ此ノ答辯タルヤ中々結構ナヤウニシテ、ソコニ無理ガアルト思フノデアリマス、ヤハリ斯ウ云フコトハ何カ主體ガナクテハイケナイ、此ノ主體ヲドチラニ持ツテ行クカト考ヘタ場合ニ、私ハヤハリ此ノ問題ハ國防上ノ見地ガ主トナラナケレバナラス、ソレニ農林省ガマル切り引摺ラレテ、仕方ナシニ國防ノ爲ニ之ニ同意シテ、サウシテ此ノ產馬計畫ヲ

立テテ無理ヲシテデモ進ンデ行ク、サウナルト一面カラ言フト、生産者側ト國防トノ間ニハ、ソコニ多少ノ矛盾摩擦ガナイトモ限ラヌノデアリマス、ソレハ今ノ時代カラ言フト、仕方ナイカラ國民ハ忍ビマスケレドモ、此ノ主體ヲ何處ニ持ツテ行クカト云フ點カラ考ヘマシテ、ヤハリ私ハ今度ノ計畫ハ、國防ガ主トナツテ參ルモノデアルカラ、軍ガ主トナラナケレバナラス、隨テ此ノ案ノ提出モドチラカト言ヘバ、アツサリト陸軍ノ方カラ御出シニナツタ方ガ宜イデヤナイカ、或ハ從來軍トシテ中間ノ官廳ヲ經ズニ、直接ヤツテ戴イタ方ガ却テ宜カツタ例モアリハセヌカト思フノデアリマス、一例ヲ申上ゲマス、民間航空ハ元陸軍ニアツタノデアリマス、ソレヲ遞信省ニ御廻シニナツテ人ノ家ニ養子ニヤツテ、今ハ外局ニナツテ多少可愛ガツテ戴イテ居ルケレドモ、確ニ工合ガ惡イ、斯ウ云フ國防ニ關係ノアル軍馬トシテノ大事ナ問題ハ、多少陸軍ノ方デ、モット力癪ヲ入レテ、サウシテ無論ハ農林省ニモ加勢ヲシテ戴カナケレバナラスコトハ分ツテ居ル問題デスケレドモ、之ニハ主體トシテハ軍ガ主トナツテ之ヲヤル、サウシテソレヲ農林省ガ援助シテ戴クト云フヤウナ形ヲ、モット明ニシテ

貫ハナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル見解ヲ今一點伺ツテ置キタイ

○荷見政府委員 私ノ答辯デ御満足デアリマスカドウカ分リマセヌガ、一應意見ヲ申上ゲマス、此ノ馬政計畫ハ今回俄然トシテ軍ノ要求ガ強クナツタ譯デハナイノデアリマス、昭和十一年ニ實施セラレマシタ第一次馬政計畫ニ於キマシテモ、國防上必要ナル有能馬、特ニ有能乘輓馬ノ充實ヲ目的トスルト云フコトニナツテ居リマシテ、是ガ施設モ農林省ニ於テ行ツテ來タノデアリマス、今回モ只今御話ノヤウニ此ノ馬政ナルモノハ勿論國防上重要ナ施設デアリマスケレドモ、一面昨日モ大臣カラ御説明ガアリマシタヤウニ、産業上ニ立脚シナケレバいかス問題デアリマス、國防ト産業ト密接不可離ノ關係ガアルノデアリマス、而シテ其所管ヲ只今ニ於キマシテハ農林省ニ置イテ、運用スルヲ妥當ト認メテ居ル譯デアリマス、其ノ程度ノコトヲ御答辯申上ゲテ置キマス

○小野委員 一寸議事進行デ發言致シタイ
○大石委員長代理 宜シウゴザイマス
○小野委員 先刻來同僚各位ノ御質問ヲ拜聽シテ居リマス、陸軍大臣ノ御出席ヲ得

ナケレバ満足ナ御答ノ出來ナイヤウナ點ガ、多々アルヤウニ信ズルノデアリマス、隨ヒマシテ貴族院方面ニ御出席ノ爲ニ御多忙デハゴザイマセウガ、本委員會ノ開會中ニ御差繰ヲ願ヒマシテ、一回ハ必ズ陸軍大臣ノ御出席ヲ願ツテ、其ノ際ニ陸軍大臣デナケレバ御答ノ出來ナイヤウナモノヲ、纏メテ各委員カラ御質疑致シタラドウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、委員長ニ於テ左様ナ手續ヲ御取運ビ願ヒマス、尙ホ其ノ際ニ質問ノ順序ヲ多少變更シテモ、陸軍大臣ニ對スル御質疑ヲ許シテ戴キタイト思ヒマス、此ノ事ヲ委員長ニ御願シテ置キマス

○大石委員長代理 只今議事進行ニ付テ小野君カラノ御發言モアリマスルシ、又永田委員カラノ祕密會ノ御要求モアリマス、尙ホ陸軍大臣ノ御都合ヲ照會致シマシテ、適當ナル時ニ御出席ヲ得テ、或ハ公開デ御説明ノ出來ナイ場合ハ、祕密會デモ要求シテ見ルヤウニ取計ラウコトニ致シタイト思ヒマス
○永田委員 只今他ノ委員ノ方カラモ御要求ガアリマシタガ、私共モ左様ニ思ツテ居リマス、又明日デモ農林大臣ト陸軍大臣ニ出テ戴ケレバ、其ノ機會ニ一二ノ質問ヲシタイト思ヒマス、又祕密ノ點ガアレバ、其

ノ時ニ御尋シテ置キタイト思ヒマス、私ノ希望ヲ申上ゲテ置キマス、又此ノ機會ニ他ノ諸君カラ關聯シテ御質問ガアレバ其ノ方カラ仰シヤツテ戴ケバ、尙ホ結構ダト思ヒマス、ソレデハ此ノ機會ニ馬ニモ直接關係ノアルコト思ヒマスカラ、私ハ軍部ノ方ニ御尋致シタイト思ヒマス、今自動車法案モ御提出ニナツテ居ル、ソレデ此ノ馬ト自動車ノ問題ハ、相當關聯ガアラウト思フノデアリマス、最近軍隊ノ機械化、機械化兵團ト云フコトヲ聽クノデアリマスガ、馬デ荷物ヲ運ビ、又馬デ戰爭スル以外ニ、今後ハ戰車デアルトカ、或ハ自動車デアルトカア云フ機械ニ依ツテ色々物ヲ運搬ナサル機會モ多イノデアリマス、此ノ自動車「トラック」戰車ノ進出ト馬ノ使途トハ、ドウ云フ關係ニナツテ行クモノデアリマスカ、此ノ點ニ對シテ、祕密ナコトハ無論御答辯ハ出來ナイカモ知レマセヌガ、大體ノ今ノ軍ノ御所見ヲ御説明戴ケレバ、結構ダト思フノデアリマス

○粟林説明員 最近戰爭資材ガ漸次増加致シマシテ、軍ノ後方ニ於キマシテハ輸送セラルル所ノ物件ガ、非常ニ殖エテ參リマシタ、之ガ爲ニ馬力ノミヲ以テ後方ノ輸送ヲ行フコトハ、殆ド不可能デアリマシテ、自

動車ガ非常ニ利用サレルコトハ明ナコトデアリマス、又鐵道等モ盛シニ利用致サレマシテ、此ノ後方補給ヲ圓滑ナラシメテ居ル次第デアリマス、又前線ニ於キマシテモ非常ニ戰面ガ擴張致シマス、少イ兵力ヲ經濟的ニ使用スル關係上、出來ルダケ速力ノ早イモノヲ戰場ニ使ヒタイ、サウ云フ關係カラ步兵ヨリモ早イ騎兵、騎兵ヨリモ早イ自動車ニ乗ツタ機械化部隊ガ、利用サレルコトハ明カデアリマス、隨ヒマシテ戰場ノ前線後方ヲ問ハズ、自動車ノヤウナ速度ノ早イモノガ使用サレル分量ガ、増加シテ參ルコトハ明ナコトト存ジマス、隨ヒマシテ軍ノ編制内ニ於キマシテモ、後方ト前線トヲ問ハズ、自動車ガ益、利用セラレルヤウニ相成ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ國軍ノ作戰致シテ居リマス所ノ方面ハ非常ニ地形ガ惡ク、自動車ガ自由ニ活動出來ル部面ガ中々得ラレナイノデアリマス、殊ニ水流沼澤ガ到ル處ニアル、又山坂ガ澤山ニアル、斯ウ云フ方面ニ於テハ、如何ニ有利ナ自動車ヲ使用セント欲シテモ、使用ノ出來ナイヤウナ狀態ニアルノデアリマス、是ハ今回ノ事變ニ於キマシテモ、其ノ事例ガ非常ニ多イノデアリマス、昔カラ南船北馬ト稱セラレテ、大體ニ於テ交通ノ宜イ北支方面ニ於キマシテモ水

流沼澤ガアリ、又山西方面ノヤウニ羊腸崎嶇ノ山嶽ガ重疊シテ居ルヤウナ所ニ於キマシテハ、自動車ヲ利用シヨウト思ヒマシテモ利用ガ出來ナイ、ドウシテモ馬ノ力ヲ利用シナケレバナライ、私モ戰場ニ參リマシタガ、戰場ノ各指揮官ハヨク口ヲ揃ヘテ申シテ居リマシタ、匪賊ハ競ツテ山ノ中ニ逃込ム、其ノ際自動車デ追ツ掛ケテハ駄目ダ、車輛部隊ヲ通ズルコトモ出來ナイ、ドウシテモ匪賊ニ徹底的打撃ヲ與ヘルコトガ出來ナクテ困ツテ居ル、斯ウ云フ場合ハドウシテモ馬ニ載セタ所ノ機關銃、步兵砲、山砲ト云フモノノ威力ガ、最後ノ決ヲ與ヘルモノデアアル、デアルカラシテ馬ノ需要ト云フモノハ北支方面ニ於テ殊ニ大デアアル、又南支方面、中支方面ハ御承知ノ如ク殆ド自動車等モ通ジナイヤウナ、所謂駄馬道バカリ多クアルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ方面ニ於キマシテハ、馬背ヲ利用シテ軍需資材ヲ運ビ、敵ニ對シテ徹底的打撃ヲ與ヘル機關銃トカ、或ハ山砲トカラ運シデ、其ノ戰果ヲ擧ゲルト云フコトハ是ハ明カナコトデアリマス、隨ヒマシテ自動車ハ戰場ニ於テ利用シタイノデアリマスケレドモ、利用ガ出來ナクテ、ドウシテモ馬背ニ依ツテ運搬シタ所ノモノデナケレバ役立たナイト云フ場面ガ

相當ニアリマスノデ、是ハ自動車モ馬モ相倚リ相扶ケマシテ、戰果ヲ全ウスルコトガ必要ノコトト相成ルノデアリマス、又北滿トカ或ハ「シベリヤ」地方ノ地形ヲ考ヘテ見マシテモ、全ク同様デアリマシテ、一步黑龍江ヲ越エテ「シベリヤ」ノ内地ニ入りマス、自動車ガ自由ニ走レルヤウナ地形デハナイノデアリマス、ドウシテモヤハリ馬ニ依ツテヨチ／＼ト運シテ行ク兵器、彈藥ガ役立ツノデアリマシテ、サウ云フ地形ニ於キマシテモヤハリ自動車ト馬ガ相倚リ相扶ケマシテ、其ノ性能ヲ互ニ補ヒ合ツテ行クコトニナルト考ヘマス、其ノ比率ガドウ云フヤウニナルカト云フヤウナコトハ、ハツキリ數字のニ申上ゲ兼ネルノデアリマスケレドモ、要スルニ自動車ガ發達致シマシテモ、又自動車ヨリモ早イ鐵道力ヲ利用致シマシテモ、戰場ニ於キマシテハヤハリ馬力ト云フモノガ非常ニ必要デアツテ、或ル指揮官ニ於キマシテハ、馬力ハ即チ戰力デアルトサヘモ言ウテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、殊ニ今回ノ事變デハツキリ致シマシタコトハ、戰列駄馬ノ能力ト云フモノガ非常ニ必要デアリマシテ、殊ニ步兵ガ此ノ戰列駄馬ヲ使用致シマシテ、最後ノ戰鬪ノ決ヲ與ヘルト云フ結果カラ見マシテ、此ノ戰列駄馬

ヲ十分ニ充實シテ置カナカウタナラバ、將來非常ニ困ルグラウト考ヘルノデアリマス、御承知ノ如ク歩兵ハ到ル處敵ヲ索メテ歩クノデアリマシテ、地形ノ惡イ所ヲ晝夜ヲ問ハズ働カナケレバナライノデアリマス、地形ノ制限ト云フヤウナコトハ全然眼中ニタク働カナケレバナライ兵種デアリマシテ、其ノ歩兵ノ戰鬥力ヲ十分ニ援助シ發揮セシメルモノハ、一ニ此ノ馬力ヲ利用致シマシタ所ノ機關銃、歩兵砲、或ハ歩兵ガ持つテ居リマス所ノ大隊砲、聯隊砲ト云フヤウナモノデアリマス、隨ヒマシテ先程問題ニナリマシタ所ノ自動車ハ勿論利用シナケレバナラスケレドモ、ヤハリ馬ヲ益、利用シナケレバナライナイト云フコトヲ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○永田委員 大變御丁寧ナ御答辯ヲ得マシテ非常ニ満足致シマシタ、私ノ申上ガ方ガ下手デゴザイマシテ、何カ軍ヲ詰問シタヤウニ御聽取ニナツタカ知レマセスガ、私ハサウ云フ意味デ言ツタノデハナイノデアリマス、ドウシテモ馬ノ必要デアルコトヲ痛感スルガ故ニ御尋致シタ譯デアリマスガ、之ニ對シテ御丁寧ナル御答辯ヲ得マシテ大變満足致シマス、詰リ私ノ申上ゲマシタノハ、馬ニ對スル施設ヲ日本國內ニ於テ

モモツト新シクシテ戴キタイト云フ熱望モ含メテ茲ニ質問シタ譯デアリマス、即チ東北デアツテモ、北海道ヤ九州方面デアツテモ、何カ馬ニ關スル新シイ國家ノ——研究所デモ、試驗場デモ、學校デモ名稱ハドウデモ宜イガ、作ツテ戴キタイ、個人個人ニ補助シテ指導ラシテ戴クコトモ必要デアルケレドモ、何カソコニ纏ツタ國家的ノ施設ヲ作ツテ戴キタイと思ヒマス、ソレハ農林省デモ或ハ陸軍省デモドラデオヤリニナツテモ宜シイガ、其ノ意味カラ地方競馬ノ廢止サレマシタ場所ナドモ何トカ之ヲ活カスト云フヤウナ方法ヲ講ジテ戴キタイト云フ意味カラ質問ヲ致シタ譯デアリマス、大體了承致シマシタカラ其ノ方面ノ質問ハ是デ止メマス

尙ホ最後ニ御尋致シテ置キタイコトハ、私ハ馬ノコトハ能ク分リマセスガ、滿洲ヤ朝鮮ノ事ハ大體數字ヲ承ツテ分ツテ居リマスケレドモ、支那ノ事ガ分リマセス、支那ハ今戰爭ノ相手國デアリマスガ、味方ノ事ハ祕密ニシナケレバナラスデセウケレドモ、支那ノ事ナラ宜カラウト思ヒマス、軍部トシテハ支那ノ事ハ常ニ御研究ニナツテ居ラレルグラウト思フノデアリマスカラ、現在支那ニ於テ馬ヲドノ位持つテ居ルカ、又支

那ノ馬ニ對シテ陸軍ノ見ラレタ批判或ハ觀測、ドチラデモ宜シイ、ソレヲ主トシ、尙ホ世界各國ノ馬ニ對スル政策ニ付テ——他ノ委員カラ質問ガアリマシテ、牧野ノ面積デアルトカ、或ハ馬ノ數等モ教ヘテ戴イテ大變助カリマシタガ、尙ホモツト各國ノ馬政策ニ付テ大要デモ宜シウゴザイマスカラ御説明ガ願ヘレバ結構ダト思ヒマス——ソレデハ時間ガ長クナリマスカラ、支那ダケデ宜シウゴザイマス、又統計的ニ御話下サルコトハシニクイデアリマセウカラ、大體何十萬頭トカ何百萬頭ト云フコトダケデモ御示シヲ願ヒタイ

○栗林説明員 支那ノ馬數全體ニ付テハ、私一寸記憶シテ居ラナイノデアリマスガ、北支方面デ調べマシタ馬數ハ、事變當初ニ於キマシテハ百四十萬頭、蒙疆地方ニ於キマシテハ六十萬頭ト稱セラレタコトヲ承知シテ居リマス、南ノ方、或ハ中支方面ハ、御承知ノ通り南船北馬ト言ハレル其ノ南船ノ地區デアリマスノデ、サウ多クノ數ノ馬ハナイト考ヘテ居リマス、只今申上ゲマシタ北支ノ百四十萬頭ノ馬數モ、事變發生以來非常ニ減少シタト云フ事實ヲ承知シテ居リマス、先程申上ゲマシタ通り、此ノ馬數等ニ付キマシテハ、現ニ出先ノ軍當局ニ於

キマシテモ現地ニ調査隊ヲ派遣致シマシテ、詳細ナル調査ヲシテ居リマスノデ、何レ細カナ事ガ分リマシタナラバ、又御報告申上ゲル時期ガアラウト考ヘマス、尙ホ蒙疆ノ馬數モ六十萬位ト申上ゲマシタガ、是モ實際的ノ問題ト致シマシテハ、中々ハツキリシタ數字ガ分ラナイノデアリマシテ、支那軍ガ調べテ居リマシタ數ハモツトソレヨリモ多イヤウデアリマス、併シ大體ニ於テ六十萬位ガ適當ナ數デハナイカト觀測シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ支那馬ノ素質デアリマスガ、是ハ滿洲ノ馬ヨリモ惡イノデアリマシテ、無論地方々々ニ依ツテ非常ニ違フノデアリマスケレドモ、私共ガ現ニ利用シテ居ル所ノ北支方面ノ馬ハ、滿洲方面ノ馬ト比較致シマシテ非常ニ惡イノデアリマシテ、殆ド北支ニ於キマシテハ軍用資源トシテ利用スルノ價値ガナイ位ノモノデアリマス、又蒙疆地方ニ於キマシテモ、同様デアリマシテ、出先ノ部隊等ハ屢、利用セントシテ徵發シタノデアリマスケレドモ、何時モ使用スルニ耐ヘナイデ、滿洲方面カラ澤山ノ馬ヲ充足シテヤルト云フヤウナ狀態デアツタノデアリマス、其ノ素質ノ如キハ非常ニ惡イノデアリマシテ、一米二三十ヲ最大限ト致シタ位ノモノデ、先程モ

一寸申上ゲマシタガ、之ヲ改良シ、増殖スル爲ニハ、ドウ云フコトヲヤルベキカト云フヤウナコトハ、是ハ十分ニ検討ヲ加ヘナケレバ出来ナイト云フヤウナ状態ニ在ルノデゴザイマス

○永田委員 有難ウゴザイマシタ、次ニ歐米各國ノ馬ノ値段ハ日本ト比較シテドノ位ニナツテ居ルカ、サウ云フコトハ無論農林省ハ世界ノ状況等ハ詳シク御調ニナツテ居ルト思ヒマスガ、之ヲ日本ノ値段ニ換算シテハツキリ聴カシテ戴キタイ

○佐々田説明員 最モ近イ相場ハ、最近種牡馬ヲ買ヒニ参リマシタ時ノ向フノ値段ヲ申上ゲルノガ一番適當デハナイカト思ヒマス、「サラブレッド」ハ御承知ノ通りピンカラキリマデアリマシテ、英國アタリデハ高イモノニナリマスレバ日本ノ時價ニ直セバ一頭五六十萬圓カラ百萬圓近イモノモアリマス、併シ普通ノ日本ニ關係ノ深イ「アングロ・ノルマン」ノ種牡馬ノ如キハ大體向フノ時價ト致シマシテ、只今四萬千法デスカラ、三千五百圓カラ四千圓位デアリマス、ソレニ輸送費ガ掛リマスカラ、コチラニ参リマスレバ相當ノ値段ニナリマス、種馬ガソレ位デアリマスカラ、普通ノモノハ固ヨリ、軍馬級ノ如キハソレヨリモ相當安イト

云フコトヲ御含ミ願ヒタイト思ヒマス

○永田委員 高イモノハ一頭ガ五六十萬圓カラ百萬圓、日本ニ入レタモノハ三四千圓ト仰シヤルガ、私共ハソナ安イモノハナカラウト思フ、モット高イヤウニ聴イテ居リマスガ、是ハ一地方ノ例デアツテ、世界各國ノ例デナイト思ヒマスカラ、其ノ各國ノ例等ヲ明瞭ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、是デハ私満足ガ出来マセヌ、只今ノ御話ハ英國ノ例デスガ、英國バカリデハナク、少クトモ英米露三箇國位ノ馬ノ平均相場ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○佐々田説明員 分ルダケ調べマシテ、後デ御説明申上ゲタイト思ヒマス

○永田委員 サウ云フコトハハツキリシタ數字デナクテ宜イ、私共ハ概念ダケノ答辯デ宜イノデス、斯ウ云フコトハ當局ハ知ツテ居ラツシヤルト思ヒマス

○佐々田説明員 馬ニモ色々澤山種類ガゴザイマシテ、別ニ日本ト取引シテ居ナイ所ノ馬ノ時價ハ、ドウモ照會デモシナイトハツキリシタコトハ申上ゲニクイト思ヒマス、只今申上ゲマシタノハ唯一例トシテ申上ゲタノデアリマシテ、英國ニ於テハ「サラブレッド」ト云ヘバ相當高イノモアリマスシ、又三千圓カラ四五千圓程度ノモノモ相當ア

ルノデアリマス、實際買ツテ参リマシタモノガ三千四百圓カラ四千圓程度ノモノデアリマスカラ、安イモノハ無論三千圓或ハ二千五百圓位ノモノモアリマス、ソレガ種馬デアリマスカラ、軍馬ナリソレ以下ノモノニナリマスレバ、マダ相當安イノデアリマス

○小笠原委員 只今「アングロ・ノルマン」ノ價格ニ付テ三千五百圓カラ四千圓位ト云フ御説明ガアツタノデアリマスガ、近頃外國デハ優秀ナ馬ハ他國ニ出サナイ方針ヲ執ツテ、優秀ナ馬ハ日本ノ手ニ入ラヌ、隨テ第三流ノ馬シカ異レナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、第一向フカラ來タ種馬ハ、今ノ規格ニ當嵌ツタ馬ハ何頭モ來テ居ナイ、必ズ三流四流ノ馬ヲ引張ツテ來テ居ル、只今ノ御話ハ其ノ三流四流ノ馬ノ値段デアリマスガ、ソコヲハツキリシナイト間違フト思ヒマス

○佐々田説明員 只今ノハ佛蘭西ノ例デアリマスガ、一昨年私ガ買ツテ参リマシタノハ、向フノ大共進會ハ大體七月ノ初ニアルノデアリマス、ソレヨリ前ニ買取ツタノデアリマシテ、決シテ残りモノトカ、惡イモノデハナクテ、寧ロ向フノ優秀ナモノヲ選ツテ買ツテ來タノデアリマス、サウ云フヤ

ウナ譯デ、寧ロ向フノ馬政長官ハ馬ヲ買ツテクレ、買ツテ呉レト申シマス、良イ馬ヲ日本ニ取ラレコトヲ非常ニ恐ガツテ居リマスケレドモ、成ベク良イ馬ヲ出スヤウニ便宜ヲ圖ツテ呉レテ居リマス、決シテ惡イモノヲ選ツテ來タノデハナク、相當良イ馬ガ多數入ツテ來テ居ルト思ヒマス、今聞キマス陸軍ノ方デ濠洲カラ買ツテ居ラレマス濠洲產洋種ノ値段ハ、向フデハ七八百圓デ御買ニナツテ居リマシテ、輸送費ヲ含メテコチラヘ來テ千五百圓程度デアリマス、是モ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○永田委員 私ノ質問ハモウ陸軍大臣ト農林大臣ニ對スル分ダケデアリマスガ、此ノ機會ニ他ノ方ノ御質問ガアレバ、一應私ノ質問ハ保留致シマシテ御譲リシテ宜イト思ヒマス

○河野委員 私ハ馬產ト畜產ノ關係ニ付テ少シク御尋致シタイト考ヘマスノデ、先程畜產ノ局長ノ御出席ヲ御願シテ置イタノデアリマスガ、委員長カラ速ニ出席サレリヤウニ御取計ヲ願ヒタイト思ヒマス

先ヅ第一ニ御尋致シタイノハ、馬政計畫ノ根幹ト致シマシテ、政府ノ今回御計畫ノ基礎トナルベキ御調査ニ付テ少シク承ツテ見タイト思ヒマス、先ヅ第一ハ、我國ノ農家は於テ馬

ヲ飼養管理致シマスノニ、大體一箇年間ノ位掛ル御見込デ御立案ニナツテ居リマスカ、ト申シマスノハ政府ノ補助額ガ三十七圓ト云フ數字ガ出テ居ル、三十七圓補助ヲシヨウト云フ其ノ基礎ハ一體何處カラ御出シニナツタノデアルカ、三十七圓補助スレバ、ソレデ農家ノ算盤ガドウ云フコトニナルト云フ御計算デアリマスカ、是等ニ付テ少シク詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 一般農家ノ飼養費ハ色々差異ハアラウト思ヒマスルケレドモ、概ネ年額百圓程度ト推定致シテ居ルノデアリマス

○河野委員 然ラバ承リマスガ、農馬ハ唯藥ヲ食ヒ草ヲ食ツテ居ルトハマサカ御考デアリマスマイ、其ノ百圓ノ基礎ハ濃厚飼料ニ付テ一體ドノ位一年ニ使ハセル御計算ニナツテ居リマスカ、承ツテ置キタイト思ヒマス

○伊藤政府委員 只今申上ゲマシタ大體百圓ノ飼養費ノ内容ハ、藁ガ日量トシマシテ八千瓦、糠ガ四千瓦、食鹽ガ六十瓦、此ノ値段ヲ申シマスレバ一日二十八錢二厘ト云フコトニナツテ居リマス、月額ハ八圓四十六錢、年額約百圓デアリマス

○河野委員 此ノ機會ニ軍ノ方ニ御尋致シ

マスガ、其ノ程度ノ餌ヲ食ハシタ馬デ軍用ノ適格馬トシテノ飼養管理ガ十分デアリマスカ、ドウデアリマスカ、ソレヲ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、——モウ一遍申上ゲマス、今農林省ノ政府委員カラ御説明ニナリマシタ一箇月八圓ヤ九圓ノ餌ヲ食ハシタ程度ノ馬ガ、一朝有事ノ際ニ軍用適格馬トシテ物ヲ言フカ言ハスカ、サウ云フ馬ヲ曳張ツテ行ツタ軍カラ大目玉ヲ頂戴スル事情ニアルト思フ、私ハ畜産組合長モヤツテ居リマスカ、サウ云フ場合ニ立合ツテ居リマスカ、サウ云フ風ナ馬鹿ガ計算ヲシテ農村ニ臨マレルコトハ、吾々トシテハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、是ハ根本カラ吾々ト認識ガ違フノデアリマスガ、此ノ機會ニ軍ノ方ノ計算ハ一體ドウナノカ、一體軍ノ馬糧ハ一日ドノ位ニナツテ居ルカト云フコトモ、參考ノ爲ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○粟林説明員 軍ノ一日ノ日糧ハ約八十錢ト申シマシタ、ソレカラ是位ノ飼料ヲ與ヘタモノデハ、軍用適格馬トシテ適當ナモノハ出來ナイノデハナイカト云フ御説デアリマシタ、勿論サウ云フヤウナ御疑問モアルト思ヒマスカレドモ、民間ノ飼養ヲ容易カラシメルト云フコトガ、今マデハ全然ナカ

ツタノデアリマシテ、是ダケデモヤツテ戴キマシタナラバ、私共ノ方トシテハ、所謂民間ノ飼養ヲ容易ナラシメ、軍用適格馬ノ充實ヲ期スルト云フ點ニ於テ、非常ナ光明ヲ認メテ居ル譯デ、喜ンデ居ル次第デアリマス、此ノ額ノ増額ヲ要求致シマシテ、將來十分ナ額ガ支給出來ルヤウニナリマスレバ、無論望マシイノデアリマスカレドモ、是ハ國家財政ノ關係カラサウ急速ニハ實現ハ出來マイト思ヒマスルノデ、只今ノ所デハ現在ノ狀態マデ立至リマシタコトヲ喜ンデ居ル次第デアリマス

○河野委員 只今ノ御話ハ無論一方的ニ、今マデナカツタモノガアルヤウニナツタノダカラ、ソレダケデモ結構タト云フ御答辯デ、一應御尤デアリマスカ、吾々ハ根本カラ觀念ガ違フノデアリマス、是ハ要スルニ我國ノ國民性カラシテ、國家制度カラ致シマシテ、徴兵令デアルトカ、國家ニ御奉公スルノダト云フ觀念カラ出發スルナラバ、只デモヤラナケレバナラス、併シ立案サレマスル基礎ハ、何處マデモ正確ニドレダケ掛ルカ、後ハドレダケ農民ノ負擔ガト云フコトヲ明確ニシテ戴カナケレバ吾々ハ困ルト云フ、甚ダ申シ兼ねマスカレドモ、一方ニ於テ一體幾ラデ飛行機ヲ拵ヘ幾ラデ買ツ

テ居ルカト云フ場合ニ付テモ、吾々ハ議論ヲシタイノデアリマス、如何ニ軍馬ノ要素ヲ此ノ際備ヘテ置カナケレバナラスト申シマシテモ、飛行機一臺作ルノニ幾ラ掛ル、馬一匹飼ツテ置クノニ幾ラ掛ルト云フコトノ計算ハ、何處マデモ正確的確ナモノデナケレバナラスト私ハ思フ、唯其ノ際ニ國家ノ財政ガ之ヲ許スカ許サスカト云フコトハ、又別ノ議論デアリマス、ソレヲ農林當局ガ一年間百圓デアア飼ヘルガラウト云フヤウナ考ヘ方デ農民ニ臨マレルコトハ、此ノ案ノ根本ノ基礎ガ私ハ違フト思フ、デアリマスカラ先程カラ議論ガアリマシタヤウニ、牛ヲ飼ヘバ幾ラ掛ル、豚ヲ飼ヘバ是々掛ル、馬ハ斯ウダト云フコトニナルノデアリマスカラ、此ノ間ニ根本ノ指導精神ヲ、ハツキリ立テナケレバイカス、ソコデ私ガ申上ゲタイノハ、先ヅ今軍ノ方デ馬一匹ニ食ハセルノニ月ニ二十何圓掛ル、一日八十錢デ三八、二十四圓掛ル、民間ノ方ハ月八圓何錢デ馬ガ飼ツテ行ケルト云フ、斯ウ云フ馬鹿ガ數字ハ斷然出ナイト思ヒマス、苟モ民間ト雖モ此ノ頃ハ幾ラ食ハシテ居リマス、其ノ幾ガ非常ニ高イ、ソコニ農民ノ惱ミガアル、ソコデ私ノ斯ウ云フコトノ認識ガ違フカ違ハヌカ存ジマセスカレドモ、是モ一

ツ質シテ見タイト思ヒマス、一體今日日本ノ農民ノ中ニ、馬ヲ飼ツテ居ル戸數ガ何軒アル、ソシテ其ノ戸數ハ一體何軒殖エル可能性ガアルカ、一戸ニ於テ馬ヲ二頭モ三頭モ飼フ家ハ割合ニ少イノデアリマス、ソコデ一體馬ノ飼養管理ヲスル希望ヲ持ツテ居ル農民ガ、一體何軒アルカ、是ガ百五十万頭政策ガ實現スルカセヌカノ根本ナンダ、ソコデ今政府カラ御提出ニナツテ居リマス何郡ノ何村ニ於テハドウダト云フ案ハ、御立デニナルコトハ御自由ダ、御自由ダガ此ノ實行ノ可能性アリヤ否ヤト云フコトハ、一方ニ於テソコニ存在致シマスル農家戸數ニ於テ、馬ヲ飼養管理スルニ適當ナル農家ガ一體何戸アルカト云フ調カラ、無ケレバナラス答デス、幾ラ獎勵サレテモ今ノヤウニ馬ヲ一頭飼フノニ百圓ダ、三十七圓補助金ヲ出セバ飼フダラウ、ナカツタモノガアルヤウニナツタノダカラ結構ダト云フ程度ノ觀念デハ、私共直接農村ニ接觸シテ居リ、第一線ニ居リマス者トシテハ、根本カラ吾吾ハ此ノ案ニ満足ノ意ヲ表スルコトハ出來ナイノデアリマス、絕對ニ軍トシテ國防資源トシテ是ダケノ政策ヲ確立シナケレバナラスト云フニハ、吾々ガ一方ニ於テ肥料ノ問題ヲ論ジマスと同様ニ、絕對ニナケレバ

ナラスモノデアリマスナラバ、絕對的ノ豫算ヲ要求サレルガ宜シイ、絕對ニ吾々ハソレヲ要求スルノデアリマス、所ガ一方ニ於テ計畫ノ基礎ガサウ云フヤウニ誤ツテ居ル、認識ガ誤ツテ居ルノデハ如何トモナリマセス、一體何時頃其ノ百圓ト云フ數字ヲ御調ニナツタノデスカ、大體私ハ此ノ計算ハマダ本當ニ出來テ居ラヌノダト思フ、一方ニ於テ馬ノ種類デアルトカ、馬ノ何トカ云フ方ハ相當ニ研究サレテ居リマスケレドモ、之ヲ農家經濟ト結付ケタ場合ニ、ソコニドウ云フ「ギャップ」ガアルカト云フコトノ研究ガ足ラヌト思フ、農家ガ一頭馬ヲ飼ヘバ、ソレニ依ツテ餌ガ幾ラ掛ル、ソレニ依ツテ出來ル堆肥ガドウ、ソレガ農業經濟ニドウ云フヤウニ影響シテ來ルカト云フコト、一方ニ於テ牛ナリ豚ナリ他ノ有畜農業ヲ獎勵マス場合ト、茲ニドレダケノ差額ガ出來テ來ル、其ノ差額ダケハ絕對ニ政府ニ於テ補償スルノダ、助成スルノダト云フダケノ根本觀念ナシニ、如何ニ獎勵ノ政策ヲ御立デニナツタ所ガ、之ヲ今日ノ農村ニ望ムコトハ無理デアル、而モ是ハ馬ダケナラ宜シイ、一方ニ於テ無水「アルコール」ヲ造ルニ必要ダカラ、安イ値段デ薩摩諸ヲ作レ、斯ウセイアアセイト八方カラ注文ヲ付ケラレテ

モ、中々サウハ行カヌ、畜産局長ガ御見えニナリマシタカラ此處デ御答辯ヲ願ヒタイコトハ、畜産局方面ニ於テハ資料擴充ノ意味カラ養豚ノ増殖計畫、乳牛其ノ他一般ノ畜肉ノ増産計畫ト云フモノヲ、御計畫ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ト馬トノ關係ニ付テ伺ツテ見タイ、一體今回ノ馬政計畫ノ根本ヲ成シテ居リマス各郡別ニ獎勵ヲサレマシタ計畫、一方ニ於テ畜産當局ニ於テ御設定ニナツテ居リマス一般畜産ノ増殖計畫ト云フモノトノ關係ハ、一體ドコマデ御研究ニナツテ居ルカ、當然一戸ノ農家ニ於テ馬モ飼ヒ牛モ飼ヒ豚モ飼フト云フコトハ不可能デアリマス、有畜農業ハソレ程多數ノ家畜ヲ必要トシナイノデスカ、其ノ場合ニ一體ドウ云フ風ニ、ソレヲ農業經濟ニ當嵌メテ行クカ、例ヘテ申セバ煙草ノ地方ニ於テ、ドウモ牛デハマジイ、馬ガ宜カラウ、又溫床ヲヤリマス地方ニ於テハ、ドウモ牛ノ堆肥デハ冷エテマジイト云フヤウナ關係ガ馬ヲ飼フ關係ト可ナリ絡ミ付イテ來テ居マス、生産地ハ別ト致シマシテ、利用ノ方面カラ言ヒマスルト、ドウシテモサウ云フ方面ヲ十分ニ考ヘテ行カナケレバナラスト思フ、是等ニ付テノ畜産當局ノ御意見ヲ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員 畜産關係ニ於ケル所ノ家畜ノ増殖、ソレカラ今回ノ馬匹ノ計畫トノ關係ヲドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ御話デゴザイマス、是ハ今河野サシノ御話ノヤウニマダトコトシマデ細カクヤツテアル譯デハアリマセヌガ、一應ノ考ノ下ニヤツテ居ル譯デアリマス、大體ニ於キマシテ私共ハ馬ハ從來ノヤウニ百五十万ヲ維持スル、サウシテ置イテ他ノ家畜ヲ殖ヤス、斯ウ云フヤウナ見當ノ下ニヤツテ居ルノデアリマス、先ヅ第一ノ基礎ハ全體的ニ見マシテ結局是ハ飼フ所ノ飼料ノ資源ガナケレバ何ニモナラナイ、如何ニ計畫シテモ困難デアル、又非常ニ澤山外國カラ乾草デモ何デモ輸入ガ出來ルト云フコトデアリマスレバ、是ハ又話ガ別デアリマスケレドモ、現在ニ於ケル所ノ貿易ノ狀態並ニ輸送ノ狀態デアリマスレバ、是ハ非常ニ餘裕ヲ持ツテ考ヘル譯ニハ行カナイ、隨ヒマシテ其ノ數量ノ主ナルモノハ國內デ自給出來ルト云フコトヲ第一番ノ趣旨ニシ、ソレカラ他ノ一部ハ日滿ニ於テ自給出來ルト云フコトラ建前ニシテ考ヘテ行ツタノデアリマス、基礎飼料デアル所ノ粗飼料ニ付キマシテハ過般來度度申上ゲマシタヤウニ、我國ニ於テハ六千七百万噸程ノ生産ガアリマシテ、現在三千

万飢程度ノ消費ヲシテ居ルノデアリマス、是ハマア地方的ニモ色々種類モ違ヒマスシ、又其ノ高ニ相違モゴザイマス、隨ヒマシテ之ヲ一樣ニ取扱フト云フコトハ出來ナイノデアリマスルガ、一應其ノ數字ヲ考ヘテ、而シテ足リナイ分ニ付キマシテハ、現在ノ粗飼料ノ利用ノ價值ヲ高クスルト云フヤウナ處置ヲ執ツテ、内容的ニ其ノ量ヲ豊富ニスル、尙ホ一面ニハ青刈等ノ栽培ヲヤツテ、サウシテ良質ノ粗飼料ノ増産ヲヤツテ行クト云フヤウナコトヲ圖ツテ行ク、サウスレバ地方的ノ足リナイ分ニ付テハ補ヒガ出來ル、ソレカラ濃厚飼料ニ付キマシテハ、從來ハ大體農家ノ副産物ヲ以テヤツテ來タノデアリマスガ、畜産ノ發達ニ伴ヒマシテ、度々申上ゲマシタヤウニ、外國カラ澤山ノ飼料ガ入ツテ來マシタ、是ガ今回色々ノ國際關係カラシテ滿洲國依存ニ重點ヲ置イテヤルト云フコトニナリマシタノデ、滿洲國ノ方ニ増産ヲシテ貰フ、吾々ガ増殖ヲ目標トシテ居ル五箇年ノ間ニ於テハ、其ノ増産ト相俟ツテ自給ヲシテ行クト云フ考ノ下ニヤツテ居ルノデアリマス、是モ飼料ノ利用ト云フ立場カラ致シマスレバ、結局牛、馬ノ如キハ粗蕪モ澤山生産サレル、又粗蕪ノ生エタ儘取得ル所ノ放牧地ノ澤山アル所ニ

重點ヲ置イテ生産ヲヤツテ殖ヤシテ行ク、ソレカラ牛ニ付キマシテ肥育其ノ他ニ於キマシテハ、肥育資源ノアルヤウナ所ニ之ヲ殖ヤシテ行ク、其ノ方面ニ於キマシテハ或ハ養豚デアリマスルトカ、或ハ養雞デアリマスルトカ云フヤウナモノト、重ナリ合ツテ居ルモノガアルト思ヒマスルガ、ソレハ何レモ生産スル所ノ飼料、或ハ農家ノ規模、或ハ生産物ノ處理ノ關係カラ、市場ノ遠近ト云フヤウナモノヲ考ヘマシテ、サウシテ其ノ立地的ノ關係ニ於テ、ドウ云フモノヲヤツテ行カウカト云フ割當ヲヤツテ進ンデ行カウト考ヘテ居ル譯デアリマス、ドウ云フ風ニ割當テテ行カト云フコトニ付キマシテハ、今案ヲ作成シテ居リマス、是ハ専門的ノ機關ノ檢討ヲ經マシテ、農林協議會等ノ議ヲ經マシテ、サウシテ地方ニ實行シテ貰フヤウニ運ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、是等ニ付キマシテモ、十分馬トノ關係ヲ考慮シテ進ンデ行ク考デ居リマス、斯ウ云フ風ナ計畫ヲ立テテ進ミマスルナラバ、私共ハ馬トノ間ニ十分ノ折合ヲ付ケテ進ミ得ルト思ツテ居リマス、飼育者ノ方カラ言ヒマスレバ、經濟ノ外ニ多少ノ嗜好ト云フコトモゴザイマスノデ、飼ハセ得ルモノト致シマスレバ馬ヲ飼育スル、又牛ヲ飼育スルト

云フコトモアラウト考ヘテ居リマス、ソレデハ大家畜ヲ牛ト馬ヲ合セテ、四百萬頭ニスルノカドウカト云フヤウナ御議論モ出ルト思ヒマスルガ、是ハ其ノ土地ノ飼料ノ急減カラ考ヘテ見マシテモ、現在自給飼料ヲ供給シテ居ル量ト云フモノハ、吾々ガ考ヘテ居ルヨリモ非常ニ少イノデアリマス、是ダケノ牛馬ヲ飼ヒマシテモ、恐ラク一日百貫カソコラシカ供給ガ出來ナイノデヤナイカ、私共ハモツト他ノ小家畜ヲ組合セテ、サウシテ飼料資源ガ許スナラバ、飼料供給ノ基礎ヲ立テルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデヤナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、是等ハ經營ノ規模、ソレカラ立地ノ關係ヲ組合セテ考ヘナケレバナラヌ必要ガアル、小家畜ト大家畜ヲ併セテ考ヘテ見マス、私共ノ豫定通りニ參リマスレバ、其ノ參リマシタ當時ニ於キマシテ、一町步當リ大家畜ニシテ一頭弱ニナルノデアリマス、此ノ一頭弱デハ或ハ足ラナイト云フ論モ出ルト思ヒマスルガ、現在ノ飼料ノ關係其ノ他ヲ考ヘテ見マスルト、ソコ等ニ於テ釣合ハヌ點ガ出テ來ルノデヤナイカト考ヘテ居リマス、細カイ點ニ於キマシテハ、是ハ地方ヲ煩ハシテ、サウシテ其ノ方ヲ専門的ニ研究シテ居ル者モアルノデアリマス

カラ、實地ニ立脚シテドウ云フ風ナ家畜ヲドウ嵌メテ行クカト云フコトヲ、實地ニ就イテ導イテ行クコトガ必要デアルト考ヘマス

○荷見政府委員 只今最初ニ御質問ニナリマシタ一般農家ノ飼育費ハ、何時ノ調べカト云フ御話ガアリマシタ、是ハ單價等ハ昭和十二年度ノ實績ヲ調査致シタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ斯様ナ飼育費ヲ以テ飼育致シマシタ馬ガ、一朝御用ニ立ツ場合ニドウデアルカ、私共ハ勿論ソレデハ不十分デアリマスカラ、今回ノヤウナ施設ニ依リマシテ馬ノ發育ヲ助ケ、健康ヲ増進シ、榮養ヲ改善スル爲ニ、財政ノ許ス限りノ助成金ヲ交付致シタイ、斯ウ云フ考デ只今ノ補助金額ト云フモノヲ決定シタノデアリマス、是ハ固ヨリ多イ方ガ宜イ、多イ方ガ宜イガ、財政トノ關係ヲ睨合シテ、斯様ニ決ツテ居ル譯デアリマス、又總頭數百五十萬ト云フ頭數ヲ、ドウ割當テルカト云フ御質問デアツタノデアリマス、是ハ只今モ他ノ政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、大體馬ト致シマシテハ、ズツト古クカラノ國內ニ於ケル總保有頭數ト云フモノヲ標準ト致シテ居ルノデアリマシテ、ソレガ時ニ依リマシテ増加致シタリ減少致シタリシテ居リマスルケ

レドモ、大體其ノ前後ノ數ヲ上下シテ居リマス、其ノ數ヲ成ベク維持スルヤウニ努メヨウト云フ意味デアリマスカラ、特別ニ之ニ依ツテ數ヲ擴大シタト云フ意味デハナイノデアリマス

○河野委員 私ノ申上ゲマスノハ、只今モ畜産局長カラ御答辯ガアリマシタ通りニ、一方ニ於テ牛デアリ、豚デアリ、養鶏デアルト云フヤウナ農家經濟ノ上ニ於テ、非常ニ有利ナ家畜ガアリマス際ニ、一方ニ於テ馬ニ對スル當局ノ認識ガ、一箇年百圓程度ノ飼養管理費デ行クドラウト云フヤウナ、根本觀念ヲ誤ツテ居ラレル計算ニ基ク政策デハ、到底現在ノ程度ハ行キニカラウ、例ヘテ申シマスレバ、地方競馬ノ問題ニ致シマシテモ、私ハ神奈川縣デアリマスケレドモ、神奈川縣等ニ於キマシテハ、地方競馬ニ依ツテ生ズル所ノ經費ヲ思ヒ切ツテ馬ノ増産ノ爲ニ使ツテ居ルノデアリマス、ソレデモ中々困難デアリマス、是等ニ付キマシテノ根本ノ認識ト云フモノハ、一體何處カラ出ナケレバナラヌガラウカ、馬政計畫ヲ茲ニ根本的ニ確立セラレマスニ當リマシテハ、一體馬ニ對スル根本ノ認識、即チ馬ハ軍用上絶對ニ必要ナモノナリ、農家ノ經營上ハ必要ナモノデヤナイト云フコトガ

正シイノカ、農家ノ經營上必要ナモノデアツテ而モ之ヲ軍用ニ供スルト云フ政策デ行クノカ、之ニ對スル根本ノ見定メヲシテ戴キタイ、吾々農村ニ居リマス者カラ致シマスト、言葉ハ過ギルカモ知レマセヌガ、農業用ニ於キマシテハ、大抵ノコトハ今日有利ナ所ノ牛デ間ニ合フ、而モ馬ヲ使用致シマスコトニ依ツテ、ドノ程度ニ一體——生産地ノコトヲ私ハ論ズルノデハアリマセヌカラ、誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、利用地ノ方面ノ立場カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、之ヲ農家ニ於テ一箇年間飼養管理致シマス場合ニ、農家經濟ノ上ニドウ云フ影響ヲ見テ居ルカト云フコトヲ、根本的ニ御檢討戴キマシテ、此ノ基礎ニ立脚致シテ、サウシテ一體サウ云フコトナラバ、今後一方ニ於テ牛ノ増産ヲヤル、豚ノ増産ヲヤル、一般家畜ノ増産計畫ヲヤル場合ニ、是ガ壓力ガ馬ノ方ニ加ツテ來ルコトヲ、御考慮ハナケレバナナルマイト思フ、サウシテ場合ニ、今モ畜産局長カラ續、御説明ガアリマシタケレドモ、私ノ問ハントスル所ハ、根本方針ガ適所適産主義、適所適飼育主義ニ、第一義的ニ馬ヲ考ヘルノカ、馬ト他ノ家畜トヲ併用シテ考ヘルノカ、コ、ニ非常ナ問題ガアルト思フ、今政府ガ最モ馬ニ適當ナ場所デ適當ニ生産ヲヤラセル、

又馬ヲ利用サセルノニ一番適當ナ農家ニハ馬ヲ積極的ニ獎勵シテ、茲ニ馬ノ百五十万頭計畫ヲ確立スルト云フ根本ノ御方針ヲ御定メニナツテ、他ノ家畜ニ付テハ姑ク此ノ獎勵ヲ見合セルト云フマデニシテ、オヤリニナラナケレバイケナイノデヤナйкаト私ハ考ヘルノデアリマス、サウシテ若シ私ノ考ヘ方ガ正シイノナラバ、補助金ノ如キモ補助ト云フノデナク、當然農村ニ與フベキモノデアル、國家ニ必要ナ資源ヲ農村ニ委託シテ居ルヤウナ御考ニナツテ戴キタイ、唯農村ガ人用ナモノヲ飼ツテ、ソレニ獎勵金ヲ出スノダカラ、惠ヲ施シテ居ルノダト云フヤウナ根本ノ御認識デハ、吾々農村ニ居リマス者トシテハ、聊カ政府ト所見ヲ異ニスルノデアリマス、ソコデ政府ハ其ノ點ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカ、今私ガ考ヘルヤウナ、馬ニ對シテ思ヒ切ツタ考ヘ方デ進ムノカ、ソレトモ馬ハ馬、牛ハ牛、豚ハ豚トソレト適當ナ所ニ適當ニ之ヲ生産サセル、飼養管理サセルト云フ程度ノ考ヘ方デ、一體此ノ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカドウカ、ソレト村別ニドウトカ、郡別ニドウトカ云フコトヲ御決メニナリマス根本「イデオロギー」ハ一體ドウナツテ居ルノカ、私ガ之ヲ御尋スル所以ノモノモ、十

二年度ノ計算ガ百圓ダ、今日一體鍛鍊馬ノ競技會ニ致シマシテモ、馬ノ曳付ニ致シマシテモ、オヤリニナリマスルコトハ、一トコロヘ馬ヲ皆集メサセレバ、馬ニ對シテ競争心ガ起ル、アンナ瘦セタ馬ヲ曳イデハ行カレナイト云フコトデ、百姓ガ皆競争シテ馬ニ競フヤルシ、飼料ヲ相當ヤル、今荷見サンガ御考ノヤウナ、サウ云フ程度ノ認識ノ百姓ハ居ラス、ソナナ馬鹿々々シイ數字ヲ聞イタラ百姓ハビツクリスル、大體政府ノオ役人ハ何ヲ考ヘテ居ルカ、サウシテ曳付ノ所ヘ來テハ偉サウナコトヲ言ツテ、オ前ノ馬ハ良イトカ惡イトカ言フ、今後ソナナコトヲ地方ヘ行ツテ言ツテモ、百姓ハサウ云フ御認識デハ言フコトヲ聽キマセヌ、是ガ根本ニ大事ナコトダト思フ、ソコデ先ヅ其ノ根本ノ考ヘ方ヲ御變ヘニナラナケレバ、大藏省ニ向ツテ豫算ヲ要求スル場合ニ腹拵ヘガ違フ、百圓ノ所ヘ三十七圓補助スル、三割七分ナリ、四割補助ヲスルト云フノダカラ、ソレハ大變好ク聞エル、他ノ六十二三圓ノモノハ他ニ利用價值ガアルカト云フコトニナレバ、農家經濟ノ上カラ見レバ、其ノ位ノ利用價值ハ他ニアラウ、ソレハ一年間ニ幾日馬ヲ使ツテドウ云フ計算ニナツテ、ドウナルト云フ計算ハ出テ來マス、

三割七分ノ補助ヲスルト云フコトニナレバ、相當ナコトニハナルガ、根本ノ數字ガソレデハ駄目ダト思フ、之ニ付テ御考直シヲナサル氣持ガアルノカ、ナイノカ、更ニ又最近ノ物價高ニ付テドウ御考ニナツテ居ルカモウ一遍御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 物價ノ段々騰貴ノ趨勢ニアルコトハ御話ノ通りデアリマス、ソレデ只今申上ゲマシタノハ、一般農家トシテノ飼養費デアリマスケレドモ、是ハ色々ナ違ヒガアルト思ヒマス、都會地附近ト或ハ農村デ放牧地ナドヲ持ツテ居ル所トニ依リマシテ、色々違ヒガアルト思ヒマス、ソレハ御承知ノ通りデアリマス、唯財政ノ關係上、此ノ程度ノ補助金ヲヤルト云フコトニナツテ居ルデアリマスガ、是ハ只今申上ゲタ通りニ、吾々トシテハ出來ルダケ之ヲ増加致シマシテ、立派ナ馬ヲ作ツテ戰ノ役ニ立テタイト考ヘテ居ルデアリマスカラ、此ノ金額ヲ決シテ多イト言ツテ居ルノデハアリマセヌ、極メテ少イケレドモ、財政上已ムヲ得ナイ、斯ウ御話ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレカラ馬政計畫トシテ、詰リ馬ノ用途ヲドウ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、軍馬トシテ役ニ立ツヤウナモノニ成タ

ケシタイノデアリマスガ、是モ産業關係ヲ無視シテハ出來ナイコトデアリマスカラ、産業上ノ基礎ト云フコトモ十分考ヘテ、兩方密接ニ結付ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、單一ニハ考ヘテ居ラス譯デアリマス

○河野委員 只今ノ御答辯ハ私ノ申上ゲルコトト少シ違ヒマス、而モ最初ノ御答辯デ放牧地等ノ御話モアリマシケレドモ、私ハ今主トシテ利用地ノコトヲ申上ゲテ居ルデアリマス、放牧地トシテ考慮サレテ居ナイ場所ニ付テ申上ゲテ居ルノデス、生産地方面ニ於テハ、馬ノ生産等ニ於テ相當ノ收益ガ得ラレル場合モアリマスノデ、是等ニ付テノ觀念ハ又別デアラウト思フ、計算モ亦自ラ違フダラウト思フ、私ハ之ヲ利用シテ居ル利用農家ノ計算ヲ申上ゲテ居ルノデス、同時ニ今御話ニナツタ藁トカ、糠トカバカリヲ馬ニ食ハシテ居ルヤウニ御考ニナルト、是ハ少シ御考ガ違ヒマス

〔大石委員長代理退席、佐藤委員長代理著席〕

其ノ程度ノ粗飼料デ今日馬ヲ飼ツテ居ル者ハ少イ、極ク特殊ナ地方ハ別トシテ、大體ニ於テ、最近ハ一般ノ人間ノ食料モ贅澤ニナツタト同様ニ、馬ノ食料モ非常ニ上ツテ

居ル、ソレデアリマスカラ最近ノ麴高ノ如キハ、馬ノ飼養管理者ニハ非常ニコタヘテ居ル、豆粕ノ値ガ上ツタリ、麴ノ値ガ上ツタコトニ對シテ、馬政當局トシテサウ云フ御考デハ、無關心デハナイカト思フ、馬ニハ糠シカ食ハサヌノダ、アトノ藁ヤ干草ハオ手ノモノダト云フヤウナ御考デオ居デニナリマス、飼養管理者ノ方カラ言フト、是ハ當局ノ認識ヲ改メテ戴カナケレバナラヌコトニナリマス、一體麴ガ此ノ値段ダツタラドウ云フ風ニ響クカ、今日農村ニ飼養管理サレテ居ル馬ニ、麴ガドノ位食ハサレテ居ルカト云フヤウニ、モウ少シ綿密ニ地方ノ實情ヲ調べ戴キタイ、今ノ御説明ニ依ルト、馬ハマルデ糠ダケ食ツテ居テ、麴ヲ食ツテ居ラヌヤウナ御計算デアルガ、ソレハ飛ンデモナイ間違ヒデアル、決シテソナモノデハナイ、是ハ餘程考ヘ方ヲ變ヘテ戴イテ、モツト〱麴ノ値上リト云フモノニ付テモ關心ヲ持ツテ戴カナケレバナナルマイト思フ、是等ハ明ニ私ハ當局ノ認識不足ナリト云フコトヲ申上ゲナケレバナラヌト思フ、同時ニ私ノ申上ゲルノハ、百圓ニ對シテ三十七圓ト云フ數字ヲ申上ゲテ居ルノデアツテ、是ガ多イトカ少イトカ――財

政ノ都合上是ヨリ出セナカツタト云フコト

ハ私モ認メル、併シナガラ財政ノ都合上出セナカツタノハ出セナカツタノデアルケレドモ、元ガ百圓ト云フモノガ三十七圓デ、ソシナニ不足ヲ言フコトハナイノデヤナイカト云フコトニナルノデスガ、ソシナ認識ハ改メテ戴キタイ、一體利用方面カラ馬ノ問題ヲ論ジマスル場合ニ、ドノ位一年間ノ飼養管理費ガ掛ルコトガ妥當カト云フ計算ニ付テ、再認識ヲシテ戴キタイ、サウ云フコトデ是ダケ實際ハ掛ツテ、是ダケ農村ニ付テ利用價值ガアルノダ、併シ是ダケノ不足ハドウシテモ出テ來ルト云フ計算ヲハツキリ示シテ、ソコニ農村ガ國家、國防ノ爲ニ必要ナモノヲ、是ダケ負擔シテ居ルノダト云フコトヲ明瞭ニシテ戴キタイ、決シテ算盤勘定ヤ義理ヅクデ私ハ申スノデハナイ、國家ノ問題デアリマスカラソレガドウ云フコトニナルノダ、サウ云フコトヲ申スノデヤアリマセヌケレドモ、往々ニシテ此ノ頃金持ガ百万圓ヲ寄附シタトカ、五十萬圓寄附シタトカ云フト、馬鹿々々シイ位ニ國家ノ爲ニ忠節ノ念ガアルヤウニ世間言フケレドモ、一體今日我國ノ農村ガ國家ノ爲ニ働イテ居ルコトハ、ソシナ程度ノ問題デヤナイト云フコトヲ吾々ハ明瞭ニシタイ、ソレデ私ハ申上ゲルノデアルガ、其ノ場合ノ

政府ノ計算ガ如何ニモ杜撰デアル、デア
カラ斯ウ云フ立法ヲセラレマス場合ニハ、
今後ニ於テハ何處マデモ百五十万ノ立派ナ
馬ヲ作レト云フコトデ、ドシ／＼施設セラ
レルデアリマセウケレドモ、施設ノ根本觀
念ニ於テ、サウ云フ風ニ違ツテ居ルノデハ
困ルト云フコトヲ、諄イヤウデアルケレド
モ申上ゲルノデアリマス、此ノ認識ヲ次ノ
機會マデニハ是非御改メヲ願ヒマシテ、サ
ウシテ明年度ノ豫算ヲ御決メニナリマス場
合ニハ、明瞭ナル數字ノ基礎ノ上ニ立ツテ
農村ノ負擔ガ幾ラ、國家ノ負擔ガ幾ラト云
フヤウニシテ、農村ニ補助ヲスルノデヤナ
イ、國家ガ負擔ヲシ、農村モ負擔ヲスルノ
ダ、共ニ負擔ヲスルノダト云フ觀念デ、
之ヲ明瞭ニ御示シ願ヒタイ、恰モ之ヲ農
村ニ對シテ災害ノ救助費カ何カヲ出スヤ
ウニ御考下サルコトハ甚ダ迷惑デアル、政
府ニ金ガナイカラ農村ニ金ヲ出シテ貰フ
ト云フヤウニ、考ヲ變ヘテ貰ハナケレ
バイカス、此ノ點ヲ明瞭ニスルト同時ニ
更ニ進ンデ御尋致シタイノハ、私ハ餘リ
此ノ方面ニ研究モアリマセヌノデ申兼ネマ
スシ、又ドウセ軍ノ方モ秘密會デナケレバ
御發表ガ願ヘナイカモ知レマセヌガ、百五
十萬頭計畫ノ中デ、我が國防上必要ナル馬

ノ頭數ト云フモノハ、成べく多イコトヲ望
マレデアリマセウケレドモ、勿論百五十
萬頭ノ中ノ何割デアルト思フノデアリマス、
ソコデ私ハ優良適格ナル馬ヲ儼トシテ保有
スルト云フコトニ、政策ヲ御變ヘニナル譯
ニハ行キマセヌカドウカト云フコトヲ御聽
キシタイノデアリマス、之ヲ申上ゲル所以
ノモノハ、先程來私ガ申上ゲマスルヤウニ、
何トシテモ農村ノ經濟ノ上カラ申シマス
ト、馬ヲ飼フヨリ他ノ家畜ヲ飼養スル方ガ
經濟デス、デアリマスカラ集中ノ馬ニ對
シテ、國防上必要ナル馬ハ是ダケ是非必要
デアル、是ダケノ馬ハ政府ガ買上ゲテ、軍
ノ方デ飼養管理シテ居レル分ハ幾ラ、其
ノ他ハ適當ナル農村ニ對シテ、飼養管理ヲ
委託サレルト云フヤウニ御考ニナル方ガ適
切デハナイカ、斯ウ云フ氣持ガスルノデア
リマスケレドモ、如何デゴザイマスカ
○佐々木説明員 私ガ代リマシテ御説明致
シマス、徵發令ノ關係カラ申シマス、十四
條ニ示サレマシタル或ル特定ノ馬以外ノモ
ノハ、徵發ノ對象ニナリ得ルモノデアリマ
ス、其ノ全部ニ對シテ色々施設ヲ致シマ
セスト、戰時必要ノ馬ノ全部ヲ「カバー」シ
タコトニナラナイノデアリマス、併シ國防
上ノ必要ト申シマシテモ、或ル順序ガアリ

マスノデ、此タビ施設ヲ致シマス軍用保護
馬ト申シマスモノハ——是ハ數字ハ一寸御
遠慮致シタイノデアリマスガ、軍用保護馬
ニ致シマス總數ハ、徵發上カラ申シマスレ
バ、極メテ重要ナルモノデゴザイマス、之
ニ施設ヲ集中致シマス譯デアリマス、併シ
ナガラ之ヲ以テ外ノモノハ全部徵發ノ對象
ニナラナイカト申シマス、是ハ先程モ申
シマシタ通り、必要已ムヲ得ザル場合ニハ徵
發ノ對象ニナルノデゴザイマスケレドモ、
一應ハ絕對必要ノモノト云フ考ヘ方カラ、
除イテ考ヘテ宜イト思ヒマス
○河野委員 私ハ其ノ點ニ付テノ認識モハ
ツキリ致シテ居リマセヌノデ、尙ホ色々
機會ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、次ニ私ガ
御尋致シタイノハ、將來日滿ヲ通ジテ計畫
云々ト云フコトニナツテ居リマス、他ノ家畜
モ無論同様デアリマスケレドモ、馬ニ付テ
生産ノ獎勵、之ニ向ツテ改良ノ施設ヲ御加
ヘニナラナケレバナラスコトハ勿論デアリ
マスガ、併シナガラ何處マデモ平時ニ於テ
利用價值ガドノ程度ニアルカ、ソコニ價額
ト云フモノガ生レテ來ルト思ヒマス、デア
リマスカラ、生産ノ方面カラ考ヘマシテ
モ、馬ノ利用價值ヲ増進セシムル、利用價
値ノ足ラナイ分ニ付テハ、政府ノ補助ナリ

特殊ノ施設ガ入用デアルト云フコトハ、申
上ゲルマデモナイト思ヒマス、然ルニ我國
ノ現下ノ事情カラ考ヘマシテ、之ヲドノ程
度マデ國內ニ保有シ、國內ニ利用價值ヲ生
ゼシメルカト云フコトニ付テハ、現在ノ種
馬其ノ他ノ關係カラ、今御示ニナツテ居リ
マス計畫ハ、主トシテ一朝有事ノ際ニ於ケ
ル利用價值ヲ深メル施設ガ多イヤウニ思ヒ
マス、所ガ平時ニ於キマスル馬ノ利用價值
ヲ増加セシムルコトハ、取モ直サズ馬ノ増
産獎勵トナリ、保有ノ數ノ増加ヲ來ス所以
デアルト思ヒマスガ、此ノ方面ニ對スル相
當思切ツタ施設ガナケレバナラスト思フノ
デアリマス、ソコデ、今日マデノ實情ニ付
テ考ヘマスノニ、例ヘバ地方競馬ノ關係等
カラ申シマス、主トシテ利用地ニ於テ地
方競馬ハ盛デアリマス、生産地ニ於テ、農
村ノ實情カラ申シマシテ、比較的ニ地方競
馬ハ收入ガ少イト云フ所ニ、或ル程度ノ調節
面ヲ私ハ見出スコトガ出來ルト思ヒマス、之ヲ
今回中央ニ於テ統制ヲセラレル其ノ施設ニ
付テモ、中央的ノ「イデオロギー」デオヤリニ
ナルト云フコトニナルト、利用方面ト生産方
面ノ關係ニ付テ、餘程當局ニ於テ明瞭ヲ御認識
ガナイトイカスト思ヒマス、從來ノ利用地方
ニ於テヤリ來ツタ所ノ施設ヲヤリマスニハ、ソレ

相當ニ經費等モ要スルノデアリマス、之ヲ一朝全國畫一的ノ獎勵方法ト云フコトニセラレマス、例ヘテ申セバ都會附近ニ於テハ各種ノ物價が高い、物資が高い、又馬ノ利用ヨリモ他ノ利用力が多いト云フ關係ニナリマスノデ、順次馬ノ利用價值ガ地方的ニナツテ來テ、本當ニ今日利用サレテ居ル適格馬ノ如キニ付テモ、或ル程度ノ變化ヲ來スデハナイカト、素人考ナガラ考ヘテ居リマス、是等ニ對スル御認識ハ如何デアリマスカ

○佐々木説明員 私カラ御説明申上ゲマス、全ク御説ノ通りデアリマス、利用ニ關スル獎勵ト、得シトスル馬ニ對スル要求トガビツタリ合フ獎勵ノ方法ガ一番宜シイノデアリマス、併シナガラ現在各方面ニアリマス地方競馬等モ、獎勵ニ關スル一ツノ施設ト云フ見方ヲ致シマスナラバ、或ル種類ノモノニ付キマシテハ、軍用ノ適格馬或ハ軍用ニ最モ良イト云フ馬ヲ得ル爲ニ、色々ノ障礙ガアルノデアリマス、然ラバ是等ヲ許シテ置イテモ宜イデハナイカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方モ出來ルノデゴザイマスケレドモ、一頭デモ多ク成ベク軍用ニ適スル馬ニ考ヘタイト云フヤウナコトカラ考ヘテ參リマシテ、此ノ利用ノ範圍ナリ、程度ナリ、或ハ

利用ノ方法ナリト云フヤウナモノニ對シテ、統制的ナ考ヲ持ツテ參ツタノデゴザイマス

○河野委員 少シ私ノ申上ゲマシタコトガ足リマセヌ爲ト思ヒマスガ、私ノ申上ゲマスノハ、地方競馬ニ依ツテ得ル所ノ資源、之ヲ利用スルコトニ依ツテ、各地方ニ於テ相當ノ馬ノ施設ヲシテ居ル、是ハ中央ニ鍛鍊馬中央會、其ノ他中央團體ニ於テ、是等ノ經費ヲ統制シテ、之ヲ全國劃一的ニ分配サレルコトニナリマス、ソコニ非常ナ變化ガ起リマス、從來ノヤウナ各府縣ノ分布率等ニ付テモ非常ナ變化ガ起ル、是ハ決シテ好イ結果ニナルマイト思フノデスガ、之ヲ實施サレタ後ニ付キマシテ、ドウ云フ御考ヲ御持チニナルカラ承リタイ

○佐々木説明員 私モ考違ヒヲ致シマシテ洵ニ恐縮致シマス、今ノ御話ノ事柄ニ付キマシテハ、色々ナ角度カラ考ヘラレルト思フノデゴザイマス、ト申シマスノハ現在地方競馬ニ依ツテ上ツテ居リマス金ノ、現在ニ於ケル馬ノ方ノ事柄ニ對スル利用價值、ソレカラ他ノ利用ノコトヲ考ヘマス場合ニ、其ノ地域以外ノ方面ニ於テソレダケノ金ガ得ラレルカ、得ラレヌカト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、隨ヒマシテ今度考ヘテ居リマス施設ニ

於キマシテハ、其ノ組合ノ實施致シマス鍛鍊馬競走ノ上リノ金ノ内カラ、一部ノモノヲ中央ニ集メマシテ、必要ナ方面ニソレヲ割イテ行カウト云フヤウナ事柄デアリマシテ、從來アリマシタ其ノ地方ダケニ特色ガアルト申シマスカ、其ノ地方ノ特殊性ニ依ツテ、必要ナモノマデモ取上ゲテ、中央デ他所ヘ持ツテ行カウト云フヤウナ考ハ更ニナイノデアリマス

〔佐藤委員長代理退席、大石委員長代理著席〕

○河野委員 甚ダ諒イヤウデアリマスケレドモ、一部ト云フ御話デアリマスガ、其ノ一部ト云フノハドノ程度ノ分デゴザイマスカ

○荷見政府委員 只今申上ゲマシタ分ハ、今回地方競馬ニ代ルベキ鍛鍊馬競走ニ依ツテ得タ金額ノ一部ヲ、中央團體ニ入レテ、サウシテ中央ノ方デハ鍛鍊馬ノ健全ナル發達、ソレカラ地方競馬ノ廢止整理等ニ努メテ居ルノデアリマスガ、之ヲ強度ニ納付致サセマス、只今御話ニ出マシタヤウナ地方ノ施設ニ、著シイ變更ヲ來スデアラウト思フノデアリマス、其ノ點ハ成ルダケ地方ノ是マデノ事情ニ、非常ナ困難ヲ生ゼシメナイ程度ニ決メタイト思ツテ居リマス、是

ハ上リ金其ノ他ノ工合ニ依リマシテ、表ノヤウナモノヲ作製シテ、取ツテ行クヤウニシタイト思ヒマスガ、其ノ具體的ノ數字ハマダ申上ゲルコトニナツテ居リマセヌ

○河野委員 申上ゲルコトニナツテ居リマセヌト云フ御答辯ハ、私ハ甚ダ遺憾デアリマス、一體サウ云フコトヲ述ベテ戴クコトガ、吾々ノ審議ニ必要デアリマス、勿論吾等此處ニ委員ニナツテ居リマス者ハ、何レモ議會内ニ於ケル馬産ニ關スル第一人者デアリマス、皆ソレノ地方ニ於テ從來馬産ノコト、一般ノ畜産ノコトニ關係ヲ持ツテ來タ者デアリマス、是ガ今此處デ公開シテ惡イトカ云フコトナラ、祕密會デモ開イテ吾等ハ伺ハナケレバナラス、併シマサカ今案ガナイ譯デモアリマスマイシ、申上ゲルコトニナツテ居リマセヌト云フヤウナコトデ、申サナイコトニシテ、アナタ方ガ勝手ニ御決メニナルト云フ筋ノモノデモナカラウト思フ、是ハ御話戴イテ、サウシテドノ程度ガ適當カト云フコトヲ、御協議ノ上ニ御進メニナルコトガ適當デアリマス、是ハ役人ダケデ決メナケレバ弊害ガアルト云フ問題ナラバ、ソレハ吾々トシテ斷ジテ承服出來マセヌ、吾々ト雖モ内ラニ於テオ前ノ所デハ幾ラ出セ、オ前ノ方ハ幾ラ出セト言ツ

テ喧嘩ガ起ツタナラバ、役人ガソレハイ
カヌ、此ノ程度デ纏メロト云フコトハ宜イ
カモ知ラヌケレドモ、是ハ役人ト民間ト協
力シテ、現在ノ實情ニ最モ適合スルヤウニ
決定スベキモノデアル、之ヲ役所ダケガ決
メテ、マダ申上ゲヌ方ガ宜イト云フサウ云フ
態度ハイカヌト思フノデアリマス、是ハ私ハ
承服致シマセヌ、今茲デ案ガ無イナラバ、
次ノ機會マデニ相談シテ來ルトカ、何トカ
云フコトデ御答辯ヲ戴カナケレバ、吾々ト
シテハ是ハ重大問題デアリマスカラ、承服
致ス譯ニハ參リマセヌ、重ネテ御答辯願ヒ
マス

○荷見政府委員 私ハサウ云フ風ニ申上ゲ
タ積リデハナイノデスガ、大體具體的ノ數
字ハ成績ヲ見ナイト分ラヌノデアリマス、
是ハヤツテ見ナケレバ分ラヌト云フコトハ
御承知ノ通りダト思ヒマス、併シナガラ今
申上ゲタ鍛鍊馬競走施行ニ差支ヲ起スト
カ、或ハ殘額ニ付テ、是マデノ各競馬場ニ
於キマシテ馬事施設等ニ使ツテ居ツタ金額
ガアルノデアリマスカラ、サウ云フモノト
モ見合セテ、大體ハ過去ノ實績カラ見マシ
テ妥當ト認メラレル賞金デアルトカ、開催
費ヲ控除シタ殘リノ中カラ納付金ヲ決メル
コトニナリマスケレドモ、決メル時ニハ、是

マデノ馬事施設ノ用途ニハドレ位、ドノ邊
ニハドノ位使ツテ居ルト云フノデ、地方的
ニ按排ヲシナケレバイカヌ、斯ウ云フ風ニ
考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ハ成績ヲ見テ
行ク内ニ、確定シテ行クコトモアラウト思
フノデアリマス、ダカラ實行セヌ内ハ一寸
決メニクイト云フコトヲ申上ゲタノデアリ
マス

○河野委員 ドウモソレハ少シ話ガ違フノ
デハナイデスカ、大體今度ノ案ヲ御立テニ
ナル時ニハ——是ハ豫算デアリマス、無論
見當ガアツテ、總テサウ云フ案ガ出來タ、
例ヘバ鍛鍊馬中央會ヲ作ツテ、ソコヘ大體
現在ノ地方競馬ノ賣上高ハ幾ラ、ソレニ對
シテ歩合ハ幾ラ、ソレヲ一體何分位地方ニ
殘シテ、鍛鍊馬中央會ニ持ツテ來ルカ、持
ツテ來テ鍛鍊馬中央會ニ仕事ヲヤラセル、
ヤラセルニ付テハ三十七圓デ宜カラウト云
フ總テ綜合的ノ案ガ出來テ居ルダラウト、
吾々ハ敬意ヲ表シテ居ツタノデス、所ガサ
ウ云フモノガナクテ三十七圓ハ百圓カラド
ウシテ出來タカ、地方カラハ競馬ヲヤツテ
見ナケレバ分ラヌ、サウ云フ認識デ斯ウ云
フコトヲオヤリニナルコトハ大膽不敵デア
リマス、ソレデ一體默ツテ三十七圓位デヨ
ク承知ヲナサツタカト思フ、ソナ程度デ

ハソレハイケマセヌヨ、吾々ガ今聽カント
スル所ノモノハ、吾々ト雖モ豫算ヲ見テヤ
ラナケレバナラヌ、明年一月一日カラ實施
スルニ付キマシテハ、來年ノ競馬ニ付テハ
明年度ノ豫算ニハ入ラナイ、明日ニモ吾々
ハ縣ノ畜産組合ノ豫算ノ審議ヲヤラウト、
實ハ先刻當局ニ相談シテ居ツタ、一體其ノ
場合ニ政府ノ方ハ鍛鍊馬中央會ニ何割位ノ
モノヲ持ツテ行ク積リデアルカ、賣上金幾
ラニ付テ最高ハ幾ラ、最低ハ幾ラト云フ率
ガナケレバナラヌ、豫想ガアルナラバソレ
ニ基イテ、大體ハ是レ位賣レルダラウ、サ
ウスレバ此ノ位ノモノハ鍛鍊馬中央會ニ出
シテ、其ノ殘リノモノハ縣内ノ施設ニドノ
位使フ、サウシテ同時ニ鍛鍊馬中央會デハ、
何ト何ノ仕事ヲ、ドウ云フ風ニナサルノダ
ト云フ御示シガナケレバナラヌ管デアル、
ソレデナケレバ唯一遍中央ニ於テ百五十萬
圓、百六十萬圓ト仰シヤツタ所ガ、仕事ヲ
スルノハ吾々デス、地方デ吾々ガドウ云フ
風ニ百姓ニ旗ヲ振ルカト云フコトガ大事デ
ス、如何ニ縣廳ノ役人サンニ、アナタ方ガド
ウ仰シヤツテ見テモ、吾々ガ地方ニ行ツテ
ヤラナケレバ、是ハ絕對ニ行キハシマセヌヨ、
ソレヲ議會ニ於テサヘ此ノ程度ノ御話デハ、
是ハ逆モ御話ニナラヌ、馬匹協會アタリノ協

議ガ調ハナケレバ、是ハ御話ニナラヌカラ、
斯ウ云フ機會ニ吾々ハ徹底的ニ御説明ヲ伺
ツテ、サウシテ吾々トシテハ十分ナル認識ヲ
得テ協力シタイ、斯ウ考ヘルノデアリマシ
テ、若シソレ等ノハツキリシタ御答辯ガナ
ケレバ、二日デモ三日デモ委員會ヲ休ンデ、
サウシテ十分御研究ノ上ニ御答辯願ツテモ
宜シイ、マダ是ハ日ヲ急イデ居ル譯デハア
リマセヌ、ドウセ貴族院ナンカ餘リ關係ナ
イノデスカラ、サウ審議ハ掛カルマイト思
フ、吾々兎ニ角常ニ第一線ニ立ツテ、此ノ
軍馬ノ補充ニ付テハ總テノ問題ニ關係スル
ノデアリマスカラ、十分ニソレ等ノ點ニ付テ
腹藏ナク腹ノ底マデ割ツタ御説明ヲ願ヒタ
イ、豫算ガ足りナケレバ私共ガ大藏省デモ
何處ヘデモ出掛ケテ談判ヲ致シマス、ソレ
デアリマスカラサウ云フ點ニ付テハ其ノ程
度マデ一ツ此ノ際ハツキリ御聽カセ願ハナ
ケレバナラヌ、同時ニ地方ノ獎勵費ニ付テ
モ、今日牛耕ノ獎勵ヲヤレバ、馬耕ノ代リ
ニ牛耕ガドン／＼代ツテ行ク、ソレデ馬ノ
利用範圍ト云フモノハ日今段々減ツテ來テ
居ルノデアリマス、サウ云フ際デアリマスカ
ラ「ガソリン」ガナクナツタナラバ、モット馬
力ヲ獎勵スル、ソレニハ馬力ノ車位只買
ツテヤルト云フヤウナコトマデヤツテヤリ

タイ、サウシテ徹底的ニ馬ノ利用價值ヲ高メルヤウニ、施設ヲシナケレバナラスト思ツテ居ル、先程來伺ツテ居リマス、マルデ根本カラ考ガ違フ、外國ノ政策ヲ吾々ハ審議シテ居ルヤウナ氣分ガスル、三十七圓位ノ金ヲ出シテ、ソレデ農家ノ馬ガ維持サレテ行クト御考ヘニナルコトハ、飛ンデモナイ考ヘ違ヒデアリマス、今マデ出シテ居ラヌト仰シヤイマスケレドモ、各府縣ノ畜産組合デソレノ出シテ居ル馬ニ對スル施設費ヲ集メテ、計算シテ御覽ナサイ、一體ドレ位出テ居ルカ、實ニ莫大ナルモノガ出テ居ル、是ハ一ツ改メテ御答辯ヲ願ヒマス

○荷見政府委員 來年ト申シマス、昭和十四年ノ地方競馬ニ付テハ、是ハ全然關係ノナイコトニナリマス、鍛錬馬ノ方ハ十五年以後ノ問題デアリマス、十四年ノ豫算ニ付テハ從來通り踏襲シテ戴キマス、ソレカラ尙ホ經費ノ納付率ニ付キマシテハ、是ハマダ實行シテ見ナイ案デアリマス、分リマセヌガ、之ヲ實行シタ場合、或ル程度變更スルト豫想シテ居ルノデアリマス、抽象的ナモノハ御眼ニ掛ケラレルダラウト思ヒマス、大體地方競馬ノ馬事施設特別會計繰入金ノ年額ヲ申上ゲテ見マス、昭和十二年ガ百八十三萬圓、昭和十一年ガ

百八十五萬圓、昭和十年ガ二百七萬圓、昭和九年ハ百九十五萬圓、昭和八年ガ五十四萬圓ト云フ風デゴザイマシテ、此ノ金額ヲ全額費シマシテモ、只今申上ゲテ居リマスル軍用馬ニ對スル飼養助成金ヨリハ、餘程少額ニナツテ居リマス、而シテ先程陸軍ノ當局カラ申サレマシタヤウニ、是マデ何モナイノデ甚ダ成績ガ悪カツタ、今度ハ出來ルダケ政府デ力ヲ入レテ良クシヨウト云フノデアリマス、此ノ程度デモ若干ハ改善サレルト思ツテ居リマス、併シ萬全トハ思ツテ居リマセヌ

○河野委員 今御話ノ中確メテ置キタイ點ハ、ソレハ昭和十五年ノ四月一日カラ鍛錬馬中央會デヤルコトニナルノデアリマス、吾々畜産組合ノ豫算ハ昭和十四年ノ四月一日カラ十五年三月三十一日マデニナリマス、昭和十五年四月一日カラト云フコトニナリマス、其ノ間ニ地方競馬ハ必ず一回位開催サレルト思ヒマス、其ノ關係ハドウナルカ、吾々ハ疑問ニ思フノデス、ソコデ當然今私ガ申上ゲタヤウニ明年度ノ畜産組合ノ經費トシテハ競馬ノ開催費ガ一回ダケ入ツテ來ルノデアリマス、ソレヲ吾々ハ懸念致シテ居ルノデアリマス、其ノ次ニ今馬車施設費云々ト云フ御話デアリマシタ

ガ、斯ウ云フコトヲ御考ヘ願ヘヌモノカト思フ、即チ最近ノ馬ノ値上リハ三十圓ヤ五十圓ノモノデナイ、馬ハ御承知ノ通り或ル年限飼養管理致シマス、牛ト違ツテ之ヲ處分スル場合ニハ本當ニ安イモノデアリマス、隨テ今日之ヲ廢馬致シマス時ニ農家ガ過去ニ馬ヲ買ツタ時ノ値段ト今日馬ノ値上リニナツテカラ廢馬致ス場合ノ金額ノ差額ヲ御計算ニナルト、ドレ位ノ數字ニナルカ、是ハ相當ノ金額ニナリマス、ソレダケデモ農家ノ負擔ハ大キナルト思フ、モウ一遍申上ゲレバ今ノ馬ノ相場デ農家ガ買入レテ、或ル程度飼養管理シテ之ヲ廢馬致シマス時ノ金額ト昔買ツタ馬ノ廢馬致シマス時ノ金額トノ間ノ開キハドレ位カ、現在馬肉ハソシニ高クナツテ居ル譯デモナイ、所ガ馬ノ値段ハ相當上ツテ來タ、此ノ農家ノ負擔ダケデモ相當ナモノガアル、是ダケデモ今御話ニナリマス所ノ二十圓ヤ三十圓デハ換ヘラレナイ農家ノ負擔ガアル、サウシテ百圓、百五十圓モ餘計出サナケレバ馬ガ買ヘナイト云フコトニナルト、之ニ對スル農家ノ負擔モ相當ニ多イモノガアルノデアリマス、是等ニ付テモ餘程御考ヘ直シヲ願ハナケレバナラス、私ハ先程來政府ニ對シテ御尋ヲ致シマシテ自分デ考ヘマス

トハ、政府ガ根本カラ考ヘ方ヲ變ヘテ戴カナケレバ旨ク行カヌダラウト云フコトデアリマス、斯ウ云フ風ナ政策ヲオ立テニナツテオヤリニナツテモ、今マデト結局變ツタコトナシニ、極端ナコトヲ申セバ地方競馬ヲ今日司法省ガ頑張ルノカ、内務省ガ頑張ルノカ、何處ガ頑張ルノカ知レマセヌケレドモ、非常時ニハ非常時ナリノ考ヲ以テヤツテ戴カナケレバナラス、ヤレ射倖心ガドウトカ、犯罪人ガ何人出タトカ詰ラヌコトニ囚ハレテ、競馬ノ監督ヲシテ、サウシテ競馬ヲ萎縮セシメルト云フヤウナ結果、馬ニ對スル觀念ヲドン／＼薄ラガセル所ノ損失ノ方ガ如何ニ大キイカト云フコトヲ、御考願ハナケレバナナルマイト思フ(拍手)是ハ軍部農林省共々大藏省ニ對シテ、ヤリ方ガ柔カ過ぎル、モツト思切ツテ肚ヲ決メテ、シツカリト認識ヲ改メサセル必要ガアル、ソレト同時ニ司法省ナリ内務省ナリニ向ツテ、競馬ニ對スル觀念ヲモウ少シ變ヘサセル必要ガアル、勿論吾々ト雖モ國法ハ儼トシテ之ヲ曲ゲルコトガ出來ナイコトハ能ク承知シテ居リマス、併シ一面ニ於テ競馬ガ今日ドノ程度ニ馬産政策上ニ於テ、役立ツテ居ルカト云フコトノ認識ヲシテ貫ハナケレバイカヌ、警保局長ノ如キ此ノ間モ此處

ニ來テ小串君ノ質問ニ答辯シテ居ルノヲ聽
イテ居ルト、競馬ノコトハチヨットモ知ラ
ヌ、競馬ノコトヲチヨットモ知ラヌ役人ガ
出テ來テ、競馬取締ヲ論ズルガ如キハ滑稽
千萬ダト思フ、サウ云フ觀念ノ人ニ馬ノコ
トヲ論ジテ貰フカラ間違フノデアリマス、
ドノ程度ニ政府ハ馬ニ付テ農民ニ對シテ要
求スルモノガアルノダト云フコトヲ、ハッ
キリシテ貰ハナケレバイカヌ、ソコデ補助
ト云フヤウナ觀念ヲ棄テ貰ヒタイ、是ハ
政府ガ其ノ一部ノ負擔ヲスル、辨償ヲスル
ト云フ觀念ニ、其ノ考ヘ方ヲ變ヘテ貰ハナ
ケレバイカヌ、此ノ觀念ガ變ヲス内ハ、ド
ウシテモ大藏省デ農家ニ補助ヲスルノダ、
競馬ヲヤラシテ其ノ競馬デ得タ所ノモノヲ
以テ補助ヲスルノダト云フ觀念デアリマス
カラ、ソコニ違ヒガ起ツテ來ル、モウ一ツ
ハ公認競馬ニ關スル觀念ト、地方競馬ニ關
スル觀念トノ相違ガ餘リニ大キイコトヲ、
吾々ハ遺憾ニ思フノデアリマスガ、一體ド
ウシテソナニ大キナ觀念的ノ相違ヲ持ツ
必要ガアルノカ、公認競馬ハ紳士トカ偉イ
人ガ關係シテ居ルカラ、アレダケ公認競馬
ニ特殊ノ待遇ヲシナケレバナラスノカ、公
認競馬カラハ國庫ニ對スル納付金ガ多イカ
ラ公認競馬ニ對シテハ、アア云フ觀念ヲ持

ツ必要ガアルノカ、地方競馬ハ何故ニサウ
云フ風ニ觀念的ニヤカマシク言ハナ
ケレバナラヌノカ、他府縣ノ馬ガ來テ
飛ンダ所デ、何ガ一體惡イノカ、地理
的ニ或ル程度ニ全國ヲ區分シテ、ソコニ
共同シテ、地方競馬ノ認識、馬ニ對スル認
識、私ノ茲ニ申上ゲル所以ノモノハ、
多少意味ハ違フカモ知レスガ、一箇所ニ數
萬ノ縣民ヲ集メテ、其ノ縣民ニ對シテ隣ノ
縣ニハ斯ウ云フ立派ナ馬ガ居ルト云フコトデ、
縣内保有馬ニ對スル競争ヲサセルコトモ一
ツノ方法ダト思フ、自分ノ縣内ダケデ一箇
年ニ六日ヤ八日ノ競馬ヲヤラセテ見タ所デ
ソナナ所ヘ出テ走ル爲ニ馬ニ餌ヲ食ハセル
譯ニハ參ラス、麥糟ヲ食ツタ馬ガ競馬ニ出
テ走ツタラ一體ソナナコトニナルカ、ソナ
馬ニ飛ベル筈ハアリマセヌ、是等ニ對シテハ
根本的ニ御考ヘ方ガ違ツテ居ルノデハナイカ
ト私ハ思フ、私ハ此ノ馬政計畫ノ根幹ニ疑義
ヲ持ツノデアリマス、甚ダ失禮ナ申上ゲヤウ
デアリマスケレドモ、五年ヲ出デズシテ此ノ
馬政計畫ハ根本カラ考ヘ直シヲシナケレバナ
ラヌコトニナルグラウトサヘ、私ハ別ノ機會
ニ言ツタコトガアル、他ノ畜産家ノ集リニ
於テ、私ハソナナ風ナ雜談ヲシタコトガア

ル位ナ認識ヲ持ツテ居ル、我國ノ馬政計畫
ニ對シテ御熱心ナコトニハ敬意ヲ表シマス
ケレドモ、農村ニ對スル根本ノ認識ノ私達
ト違フコトニ對シテ、甚ダ遺憾ノ意ヲ私ハ
表明スル者デアリマス、是等ニ付キマシテ
ハ、何レ適當ナ機會ニ——今日ハモウ時間
モ既ニ五時ニナリマスカラ、私ノ質問ハ留
保致シマシテ、農林大臣、陸軍大臣等ニ就
テ、場合ニ依ツテハ大藏大臣等ニ就テ徹底
的ニ所見ヲ述ベテ見ル考デアリマスカラ、
其ノ機會ヲ與ヘラレンコトヲ委員長ニ御願
致シマシテ、私ハ今日ハ此ノ程度デ止メマ
ス

○荷見政府委員 ソレハ利用方法ノ如何ニ
依リマスカラ、一概ニハ申サレヌノデアリ
マス、馬ニ關スル觀念ノ普及ガ、地方競馬
ヲ廢スルコトニ依ツテ弱ツタナラバ非常ニ
困ル、是ハ其ノ通りデアリマスガ、ソレニ
代ルベキモノトシテ鍛鍊馬競走ノ如キヲ認
メ、鍛鍊、競技ノ如キモ實行スルト云フ各
種ノ方策ヲ講ジテ、尙ホ利用獎勵ノ方法等
モ講ジタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソ
レカラ軍用保護馬ニ對スル補助金ヲ、競馬
ノ賣得金デヤルト云フコトハ、甚ダ怪シカ
ラスト云フ御話ノヤウニ思ヒマスガ、今回
ハ競馬ノ賣得金ニ限リマセヌ態度ヲ大藏當
局モ是認シテ居ルノデアリマシテ、是ハ其
ノ一部分ニ充テルニ過ギナイノデアリマス
カラ、此ノ點ハ御心配ハナカラウト思ヒマ
ス、ソレカラ他府縣ノ鍛鍊馬競走ニ出走セ
シムルコトガ、却テ適當ナノダト云フ御話
デアリマスガ、是ハ關係當局ノ間ニ於キマ
シテモ、馬ノ資源保持上、適當デナイト考
ヘテ居ルノデアリマスカラ、結論ダケヲ簡
單ニ申上ゲテ置キマス

○荷見政府委員 地方競馬ノ廢止、詰リ只
今ノ條文デ言フト、軍馬資源保護法第三十
三條ノ施行ハ、前々申上ゲルヤウニ、昭和
十五年一月一日ヨリト致シタイ見込ヲ持ツ
テ居ルノデアリマスカラ、此ノ點一點、ソ
レカラ馬ノ値上リガ今甚シイノデアリマシ
テ、之ヲ農家ガ購入シテ利用シテシマツタ
場合ト、馬ノ値ノ下ツテ居ツタ時購入シテ、
總テ處分スル場合ト比ベテ、其ノ損益關係
ハドウカ、ソレハ御話ノ通り高い時ニ購入
致シマシタモノノ方ガ、損失ノ大キイコト
ハ當然デアルト思ヒマス

○大石委員長代理 今日ハ此ノ程度ニシテ、
先刻小野君、永田君、小笠原君等カラ御要
求モアリ、其ノ他ノ方々ノ御希望ノアリマ
ス陸軍大臣ノ出席御都合ハ、二十日ハ午前

ハ駄目デアリマシテ、午後カラ出來ルカモ知レナイ、仍テ其ノ際ニハ委員課ヘ返答スルト云フ譯デアリマス、農林大臣ハ貴族院ノ豫算總會ノ都合上、二十日ノ午前ハ出席出來ナイ、午後カラナラ出席スルト云フコトデアリマス

〔ソレデハ二十日午後一時カラ開會シテ下サイ〕ト呼フ者アリ

○大石委員長代理 ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日ハ日曜デアリマスカラ休會デアリマス、明後月曜二十日ハ午後一時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時五十七分散會